

工 事 番 号	部 長	課 長	係 長	検 算 者	設 計 者	
設計年度	令和3年度					
施工月日	令和	年	月	日	<p style="text-align: center;">桥梁補修工事(市道須波西1号線1号桥梁外3橋)</p> <p style="text-align: center;">社会資本整備交付金事業</p> <p style="text-align: center;">三原市 須波西二丁目外</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 2px solid red; border-radius: 50%; padding: 10px; color: red; font-weight: bold;">交付金</div> <div style="border: 2px solid red; padding: 10px; color: red; font-weight: bold; font-size: 1.5em;">仕様書</div> </div>	
施工方法	請 負					
工事期間						
工 事 概 要			起 工 理 由			
桥梁補修工事 N=4橋 断面修復工 1.210m3 ひび割れ注工 2.6m 表面含浸工 47m2 舗装工 4m2 塗替塗装工 14m2 止水対策工 12.5m						

特記仕様書

第1章 総則 第1節

適用

- 1 本特記仕様書は、三原市須波西二丁目外 橋梁補修工事（市道須波西1号線 1号橋外3橋）に適用する。
- 2 本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。

・**土木工事共通仕様書（令和3年8月）広島版**

※ 土木工事共通仕様書は「広島県の調達情報」に掲載している。

<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/>

- ・その他関連規格類

第2節 情報共有システム

- 1 本工事は、受発注者間の情報を電子的に交換・共有することにより、業務の効率化を図る情報共有システムの対象である。なお、運用にあたっては「広島県工事中情報共有システム運用ガイドライン」（以下「ガイドライン」という。）に基づき実施すること。
- 2 本工事で使用する情報共有システムは次とする。
広島県工事中情報共有システム
<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/asp/index.html>
- 3 監督員及び受注者が使用する情報共有サービスのサービス提供者（以下「サービス提供者」という。）との契約は、受注者が行い、利用料を支払うものとする。
- 4 なお、工事完成時については、提出する必要がある工事成果品を電子納品すること。また、試行期間中は工事検査を紙媒体で受検することから、受注者は、工事成果品1部を紙媒体により提出すること。
- 5 受注者は、監督員及びサービス提供者から技術上の問題点の把握、利用にあたっての評価を行うためアンケート等を求められた場合、協力しなければならない。

第2章 施工条件 第1節

工程

1 施工時期・時間の制限

施工内容	工事全般
時期	全工事期間
時間	調整による
施工方法・理由	工事箇所が生活道路であるため、調整を十分に行い理解を得たうえで施工を行うこと。

第2節 用地

- 1 現場の復旧
原形復旧とする。

第3節 安全対策

- 1 交通誘導員・警戒船・保安要員
作業期間中、交通誘導員を1（人／日）見込んでいる。

第4節 工事用道路

1 一般道路

使用期間

工事施工期間

使用時間

8時～17時

工事中・後の処置

随時 清掃, 工事後 舗装欠損部補修 (工事前・後の写真により監督員と協議すること。設計変更の対象とする。)

第5節 建設副産物

1 産業廃棄物の場外保管

当該工事により発生する産業廃棄物を事業場の外 (建設工事現場以外の場所) において300m²以上の面積で保管する場合には, 保管場所を所管する都道府県知事又は政令市長に事前の届出を行うこと。また, 届出事項を変更する場合は事前に変更届を, 保管をやめたときは30日以内に廃止届を提出すること。ただし, 産業廃棄物処理業等の許可施設における保管は届出対象外とする。

第6節 その他

1 工事用機資材の仮置き

場所

受注者が責任をもって確保すること。

2 各補修工の事前調査

1) 受注者は, 橋梁洗浄後に補修図をもとに詳細計測を行い, 補修内容について発注者と協議を行った後, 施工を行うこと。

3 塗替塗装工の塗膜剥離調査

1) 受注者は, 既設の塗膜について剥離調査を実施し, 剥離に要する材料の使用量など事前に監督員へ報告すること。

4 有害物質を含む塗膜等の処分

1) 受注者は有害物質を含む塗膜殻について, 特別管理産業廃棄物として適切に処理しなければならない。

第3章 設計金額

第1節 排出ガス対策型建設機械の使用促進

土木工事共通仕様書 (令和3年8月) 『1-1-1-31 環境対策』で使用を義務付けている排出ガス対策型建設機械においては, 排出ガス対策型 (第2次基準値) 以上の建設機械の使用に努めること。

なお, 使用する排出ガス対策型建設機械について, 基準値による設計変更は行わない。

第4章 施工箇所が点在する工事の積算

本案件は, 施工箇所が点在する工事の適正な工事価格を算出するため, 参考図書に示す工事箇所と施工箇所を基に次の算定方法とする。

算定方法

(1) 工事原価

ア 直接工事費

施工数量及び施工規模等は工事箇所ごとに判断し, 施工箇所ごとに直接工事費を算定する。

イ 間接工事費

(ア) 共通仮設費

a 共通仮設費の率分

対象額は工事箇所ごとに算定し, 工種区分はその工事箇所の主たるものを適用する。

b 共通仮設費率の補正

工事箇所ごとに施工地域及び工事場所区分の補正を行う。

c 積上げ計算による部分

施工箇所ごとに必要な経費を積上げる。

(イ) 現場管理費

a 現場管理費の算定

対象とする純工事費は工事箇所ごとに算定する。

b 現場管理費率の補正

工事箇所ごとに施工時期, 工事期間, 施工地域及び工事場所区分の補正を行う。

(ウ) 中止期間中の現場維持費等の費用

a 積上げ項目

施工箇所ごとに必要な経費を積上げる。

b 率で計上する項目

対象額及び一時中止日数は施工箇所ごとに算定する。

(2) 一般管理費等

ア 一般管理費等の算定

対象とする工事原価は(1)の計による。

なお, 処分費等が「共通仮設費対象額 (P) + 準備費に含まれる処分費」に占める割合の3%を超える場合又は処分費等が3千万円を超える場合, 率計算の対象については, 工事箇所ごとに対象額を算出する。

第5章 工事保険等

第1節 法定外の労災保険の付保

- 1 本工事において, 受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。
- 2 受注者は, 建設工事請負契約約款第54条に基づき, 法定外の労災保険の契約締結したときは, その証券又はこれに代わるものを速やかに監督職員に提示しなければならない。
- 3 法定外の労災保険は, 政府の労働災害補償保険とは別に上乘せ給付等を行うことを目的とするものであり, (公財)建設業福祉共済団, (一社)建設業労災互助会, 全日本火災共済協同組合連合会, (一社)全国労働保険事務組合連合会又は保険会社との間で, 労働者災害補償保険法に基づいて契約を締結しているものとする。

第6章 その他

本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または, その内容に疑義が生じた場合は, 監督員の指示を受けること。

工事数量総括表

頁0 -0001

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
本工事費				
橋梁保全工事	市道須波西1号線1号橋梁	式	1	レベル1
現場塗装工		式	1	レベル2
塗膜剥離工		式	1	レベル3
湿式塗膜剥離工		m2	3	レベル4
橋梁塗装工		式	1	レベル3
素地調整	3種ケレンA	m2	3	レベル4
下塗	変性エポキシ樹脂系特殊塗料下塗	m2	3	レベル4
中塗	弱溶剤形フッ素樹脂塗料	m2	3	レベル4
上塗	弱溶剤形フッ素樹脂塗料	m2	3	レベル4
橋梁補修工		式	1	レベル2
断面修復工		式	1	レベル3
左官工法	ポリマーセメントモルタル 鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理有	構造物	1	レベル4
表面含浸工		式	1	レベル3
表面含浸工	シラン系含浸材	m2	8	レベル4
支柱基礎対策工		式	1	レベル4
水切設置工		式	1	レベル3
水切設置工	後付け型水切材	m	5	レベル4

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
構造物撤去工		式	1	レベル2
運搬処理工		式	1	レベル3
殻運搬	コンクリート殻	m3	0.2	レベル4
殻処分	コンクリート殻	m3	0.2	レベル4
運搬処理工		式	1	レベル3
殻運搬	鉛等含有塗膜 須波西12号1号橋梁分も含む	回	1	レベル4
殻処分	鉛等含有塗膜 須波西12号1号橋梁分も含む	式	1	レベル4
全工種共通仮設		式	1	レベル1
仮設工		式	1	レベル2
交通管理工		式	1	レベル3
交通誘導警備員		人	4	レベル4
直接工事費				
共通仮設費率分				
共通仮設費計				
純工事費				
現場管理費				
工事原価				
一般管理費率分				

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
契約保証費					
一般管理費計					
工事価格					
消費税相当額					
工事費計					
契約保証費計					

工事数量総括表

頁0 -0001

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
本工事費				
橋梁保全工事	市道須波西12号線1号橋梁	式	1	レベル1
現場塗装工		式	1	レベル2
塗膜剥離工		式	1	レベル3
湿式塗膜剥離工		m2	11	レベル4
橋梁塗装工		式	1	レベル3
素地調整	3種ケレンA	m2	11	レベル4
下塗	変性エポキシ樹脂系特殊塗料下塗	m2	11	レベル4
中塗	弱溶剤形フッ素樹脂塗料	m2	11	レベル4
上塗	弱溶剤形フッ素樹脂塗料	m2	11	レベル4
橋梁補修工		式	1	レベル2
断面修復工		式	1	レベル3
左官工法	亜硝酸リチウム水溶液混入ポリマーセメント 鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理有	構造物	1	レベル4
表面含浸工		式	1	レベル3
表面含浸工	シラン系含浸材	m2	15	レベル4
水切設置工		式	1	レベル3
水切設置工	後付け型水切材	m	8	レベル4
橋梁付属物工		式	1	レベル2

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
伸縮目地工		式	1	レベル3
止水対策工	クラック抑制	m	12.5	レベル4
構造物撤去工		式	1	レベル2
運搬処理工		式	1	レベル3
殻運搬	コンクリート殻	m ³	0.1	レベル4
殻処分	コンクリート殻	m ³	0.1	レベル4
全工種共通仮設		式	1	レベル1
仮設工		式	1	レベル2
交通管理工		式	1	レベル3
交通誘導警備員		人	6	レベル4
** 直接工事費 **				
共通仮設費率分				
** 共通仮設費計 **				
** 純工事費 **				
現場管理費				
** 工事原価 **				
一般管理費率分				
契約保証費				

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
一般管理費計					
工事価格					
消費税相当額					
工事費計					
契約保証費計					

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
本工事費				
橋梁保全工事	市道八幡町31号線2号橋梁	式	1	レベル1
橋梁補修工		式	1	レベル2
断面修復工		式	1	レベル3
左官工法	ポリマーセメントモルタル 鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理有	構造物	1	レベル4
表面含浸工		式	1	レベル3
下地処理工	高圧洗浄	m2	17	レベル4
表面含浸工	ケイ酸塩系含浸材	m2	17	レベル4
水切設置工		式	1	レベル3
水切設置工	後付け型水切材	m	21	レベル4
構造物撤去工		式	1	レベル2
運搬処理工		式	1	レベル3
殻運搬	コンクリート殻	m3	0.7	レベル4
殻処分	コンクリート殻	m3	0.7	レベル4
全工種共通仮設		式	1	レベル1
仮設工		式	1	レベル2
交通管理工		式	1	レベル3
交通誘導警備員		人	11	レベル4

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
本工事費				
橋梁保全工事	市道幸崎62号線1号橋梁	式	1	レベル1
橋梁補修工		式	1	レベル2
ひび割れ補修工		式	1	レベル3
低圧注入工法	無機系	構造物	1	レベル4
断面修復工		式	1	レベル3
左官工法	ポリマーセメントモルタル 鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理有	構造物	1	レベル4
左官工法	高流動ポリマーセメントモルタル 鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理有	構造物	1	レベル4
支保	支保耐力 40kN/m2以下	式	1	レベル4
表面含浸工		式	1	レベル3
下地処理工	高圧洗浄	m2	7	レベル4
表面含浸工	ケイ酸塩系含浸材	m2	7	レベル4
水切設置工		式	1	レベル3
水切設置工	後付け型水切材	m	2	レベル4
アスファルト舗装工		式	1	レベル3
表層(車道・路肩部)	RA(20)	m2	4	レベル4
構造物撤去工		式	1	レベル2
構造物取壊し工		式	1	レベル3

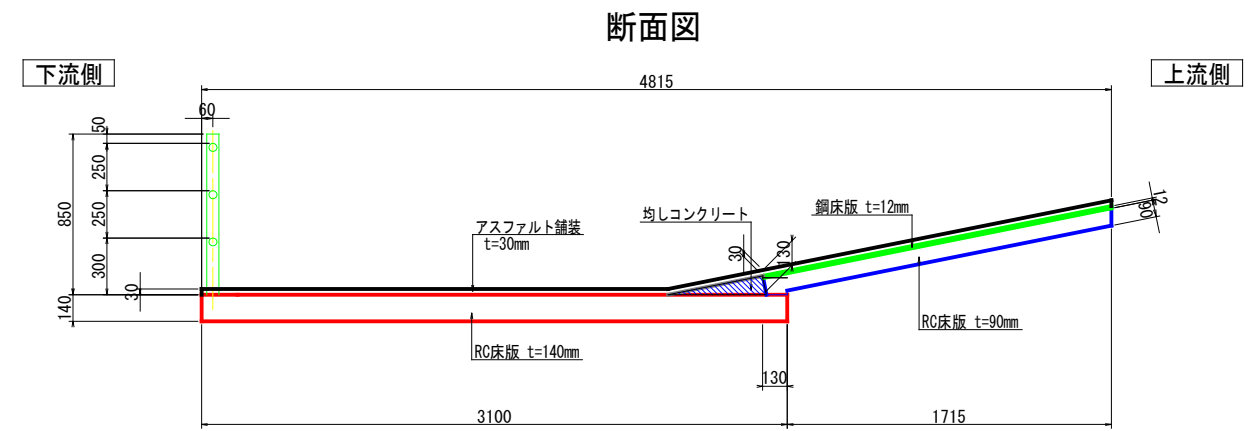
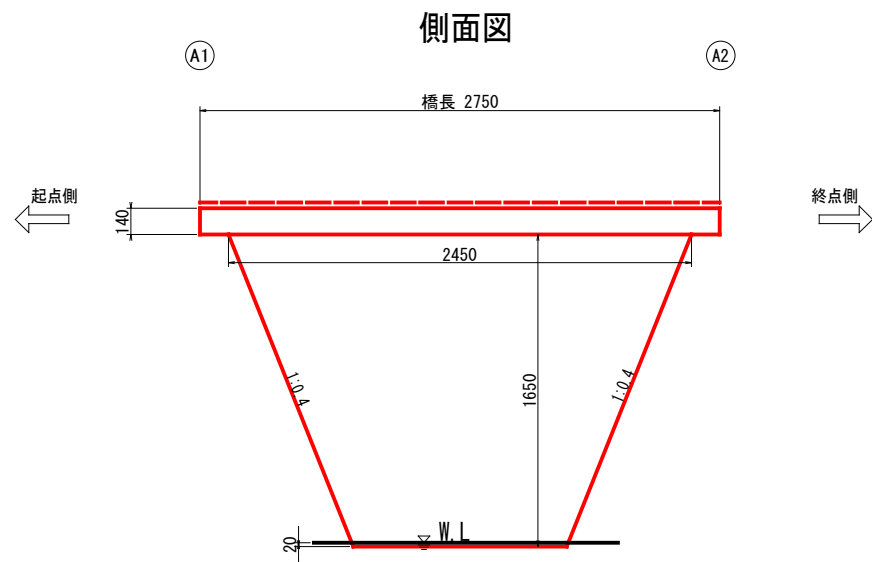
工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
舗装版切断	アスファルト舗装版	式	1	レベル4
舗装版破碎	アスファルト舗装版	m2	4	レベル4
運搬処理工		式	1	レベル3
殻運搬	アスファルト殻	m3	0.2	レベル4
殻処分	アスファルト殻	m3	0.2	レベル4
殻運搬	コンクリート殻	m3	0.3	レベル4
殻処分	コンクリート殻	m3	0.3	レベル4
全工種共通仮設		式	1	レベル1
仮設工		式	1	レベル2
交通管理工		式	1	レベル3
交通誘導警備員		人	6	レベル4
直接工事費				
共通仮設費率分				
共通仮設費計				
純工事費				
現場管理費				
工事原価				
一般管理費率分				

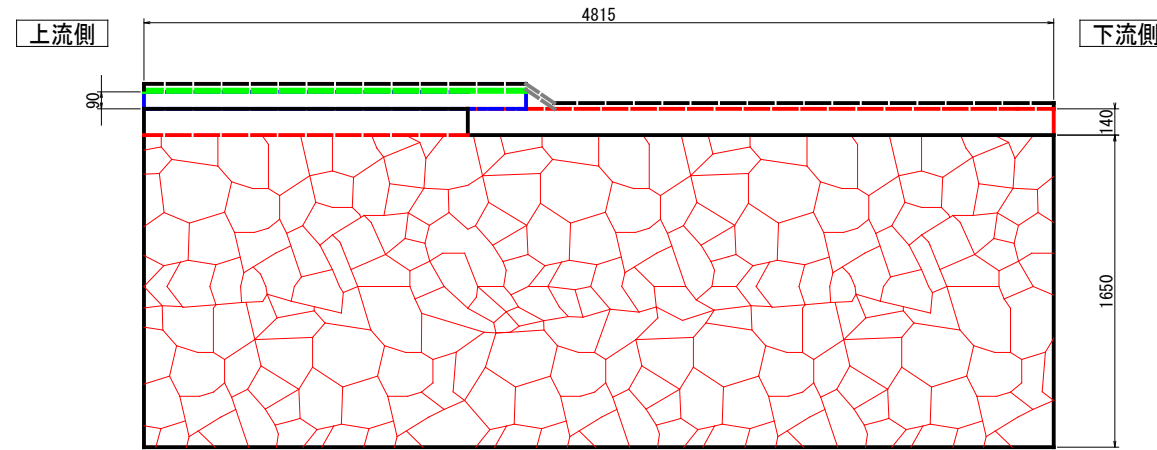
工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
契約保証費					
一般管理費計					
工事価格					
消費税相当額					
工事費計					
契約保証費計					

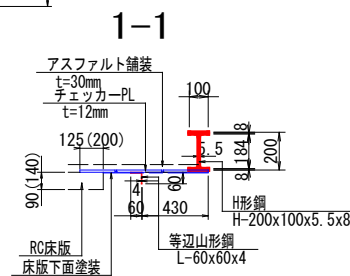
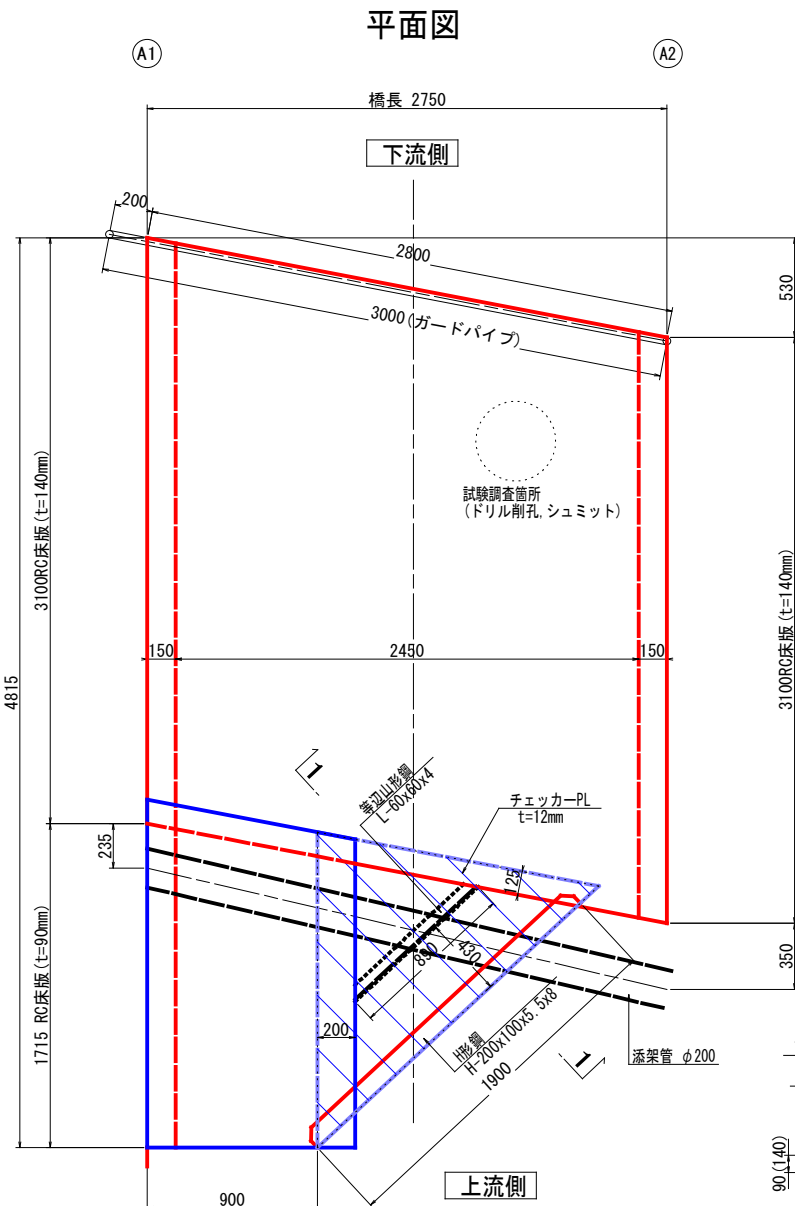
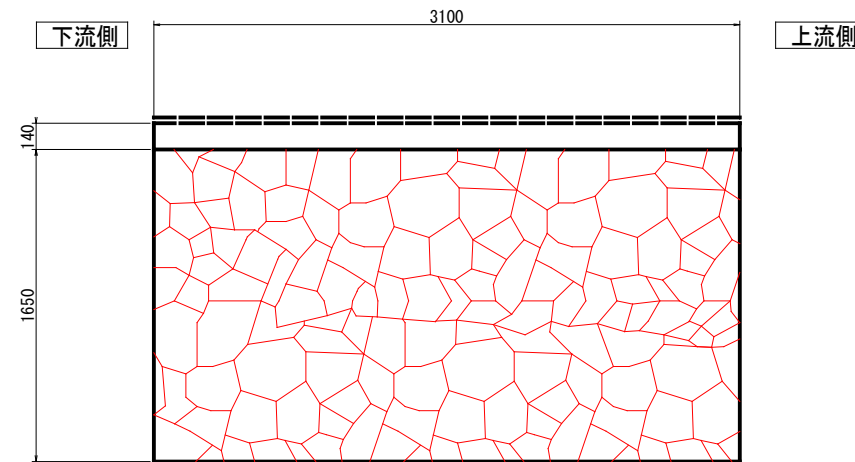
(須波西1号線1号桥梁) 既設桥梁一般図 S=1/20



A1橋台正面図



A2橋台正面図

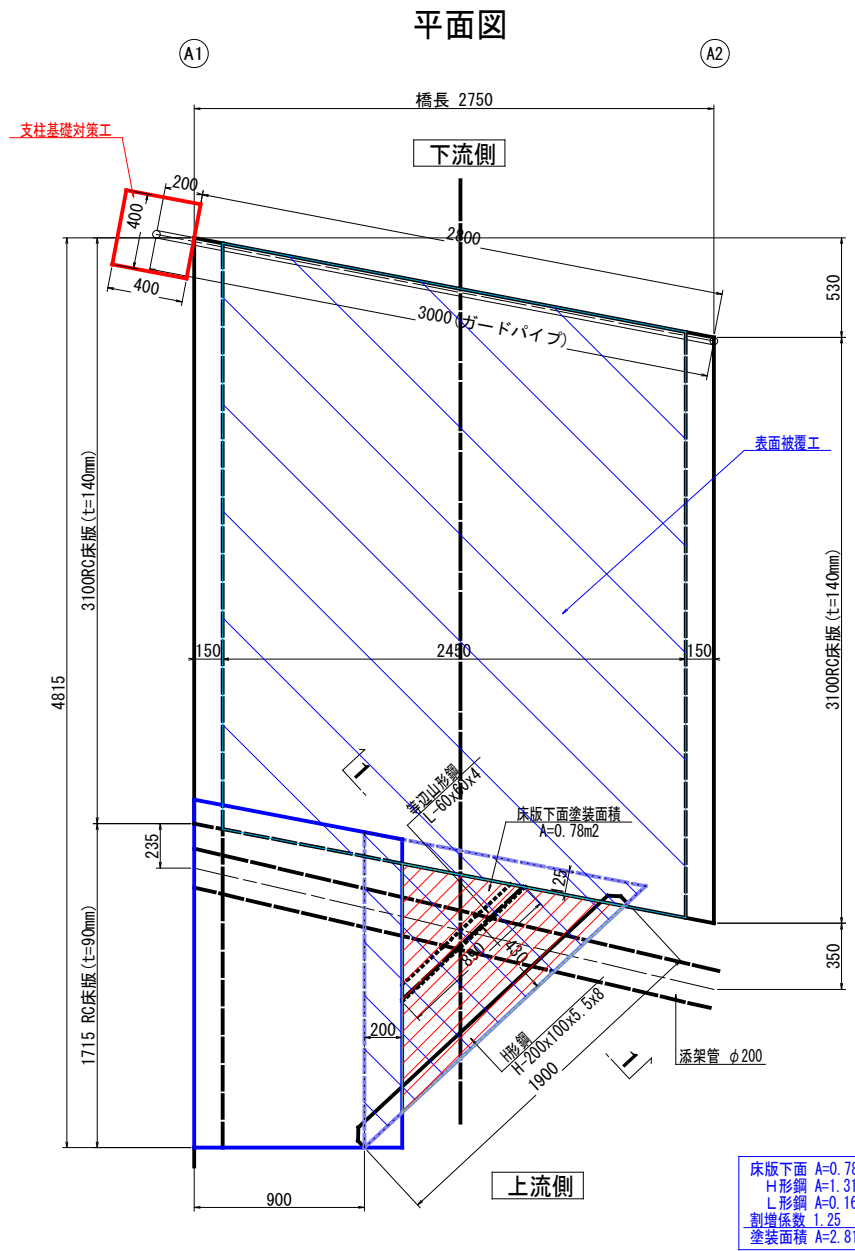
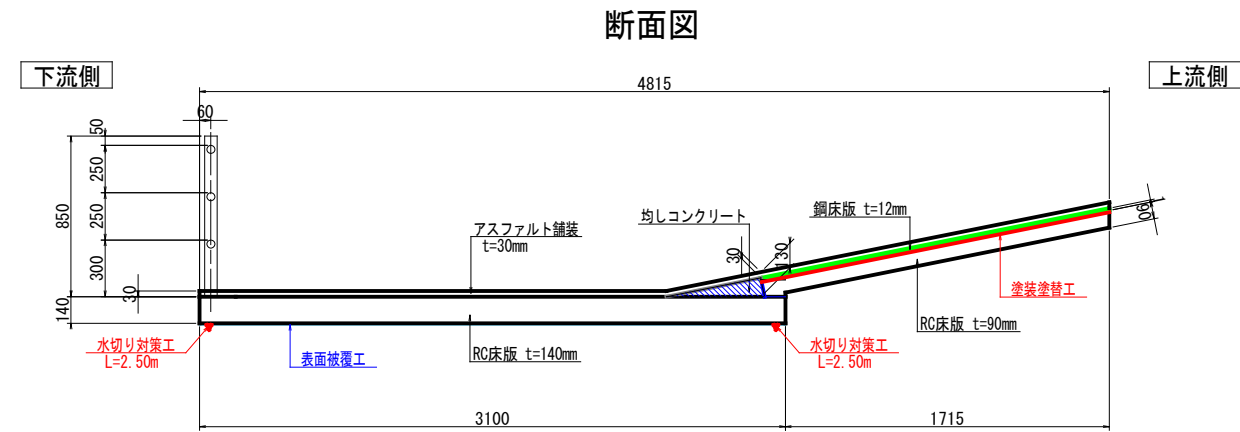
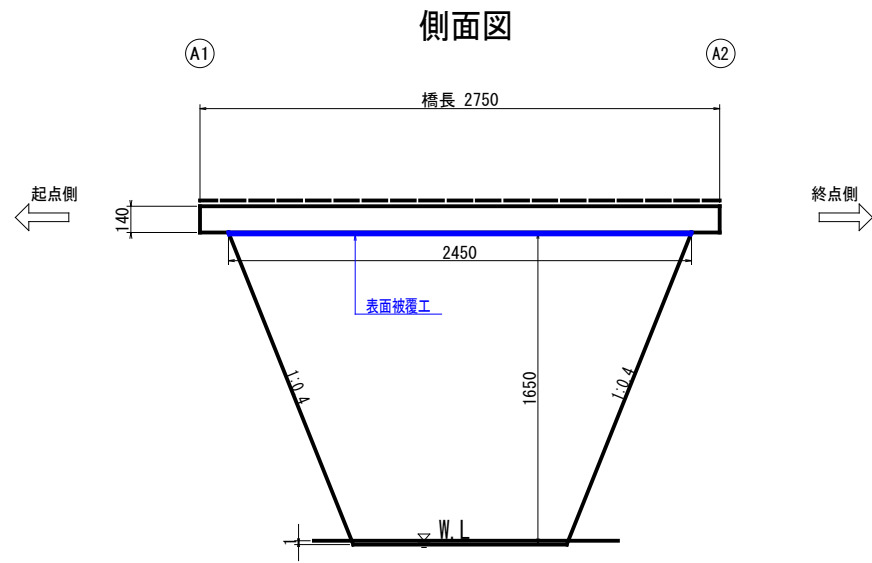


橋梁緒元	
占用	不明
構造形式	RC床版橋 (t=140mm+90mm)+鋼床版
径間数	1径間
橋長	2.750 m
幅員	4.815~3.100m (全幅)
斜角	90° 00'
平面線形	∞
舗装	アスファルト舗装
添加物	上流側: 不明φ200
下部工基礎	不明
適用指針	鉄筋コンクリート標準示方書 (S39)
架設年次	1970年

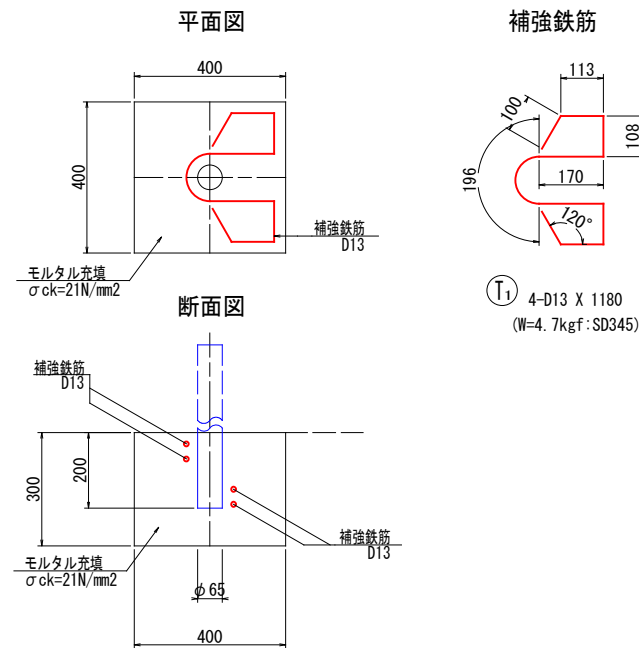
須波西1号線1号桥梁

工事名	橋梁補修工事 (市道須波西1号線1号橋梁外3橋)		
図面名	既設桥梁一般図		
場所	三原市須波西二丁目		
縮尺	図示	図面番号	1-1 / 3
三原市			

(須波西1号線1号桥梁) 補修一般図 S=1/30



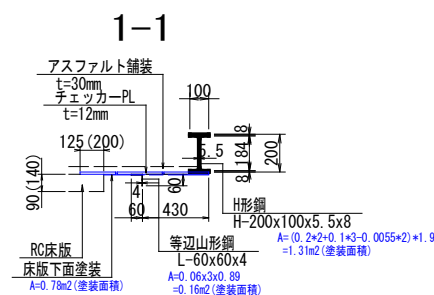
支柱基礎対策工 S=1/10



補修項目一覧表

工種	補修項目	補修部位	損傷対策	摘要
鋼床版	塗装替工	全面塗装	機能回復(防食機能劣化・腐食(有害物質含有))	Rc-Ⅲ系塗装替え
床版	断面修復工	床板下面	豆板・うき・剥離鉄筋露出	ポリマーセメントモルタル(左官工法)
	表面被覆工	床板下面	鉄筋腐食進行抑制対策	表面含浸工(鉄筋腐食抑制タイプ含浸材)
	水切り対策工	床板	伝い水に伴う損傷抑制	後付け水切材
ガードパイプ	支柱基礎対策工	支柱基礎部	支柱基礎定着不良に伴うぐらつき	支柱基礎モルタル充填

- 注記)
- 本図面は、調査結果をもとに作成した図面である。
 - 施工時には、天候に十分注意をすること。
 - 補修工事に当たり、寸法等は再度現地検測を行って確認すること。
 - はつり後、鉄筋発錆がある場合は、ワイヤーブラシ等で錆を落とし防錆材塗布する。又、必要に応じて鉄筋を交換する。その後、鉄筋背面まで隙間なくコンクリートの充填を行うこと。
 - はつり断面はフェザーエッジを形成しない様、注意すること。
 - はく落防止として必要であればメッシュ等を配置し対応すること。
 - 防錆材は塗り残しがないよう入念に行うこと。
 - はつり面に凹凸がある場合は既設コンクリート面と修復材との間に空隙が残らない様に適切な処置を行うこと。
 - コンクリートのはつり作業時において補修材及びはつり殻等の落下を防ぐよう防護すること。
 - 表面被覆材塗布前にはケレン処理、高圧洗浄などにより、塗布面を十分に清掃し、汚れやエフロレッセンスなどを除去すること。
 - 表面被覆材塗布前にはCo損傷部は事前に補修を施すこと。
 - 必要塗布量を満たすように塗布すること。
 - 塗膜かすは人体に影響する有害物質を含有するため、安全管理を徹底すること。
 - 鋼床版ケレン(3種ケレン)時は飛散しないように吸引式を用い、シート養生を講ずること。



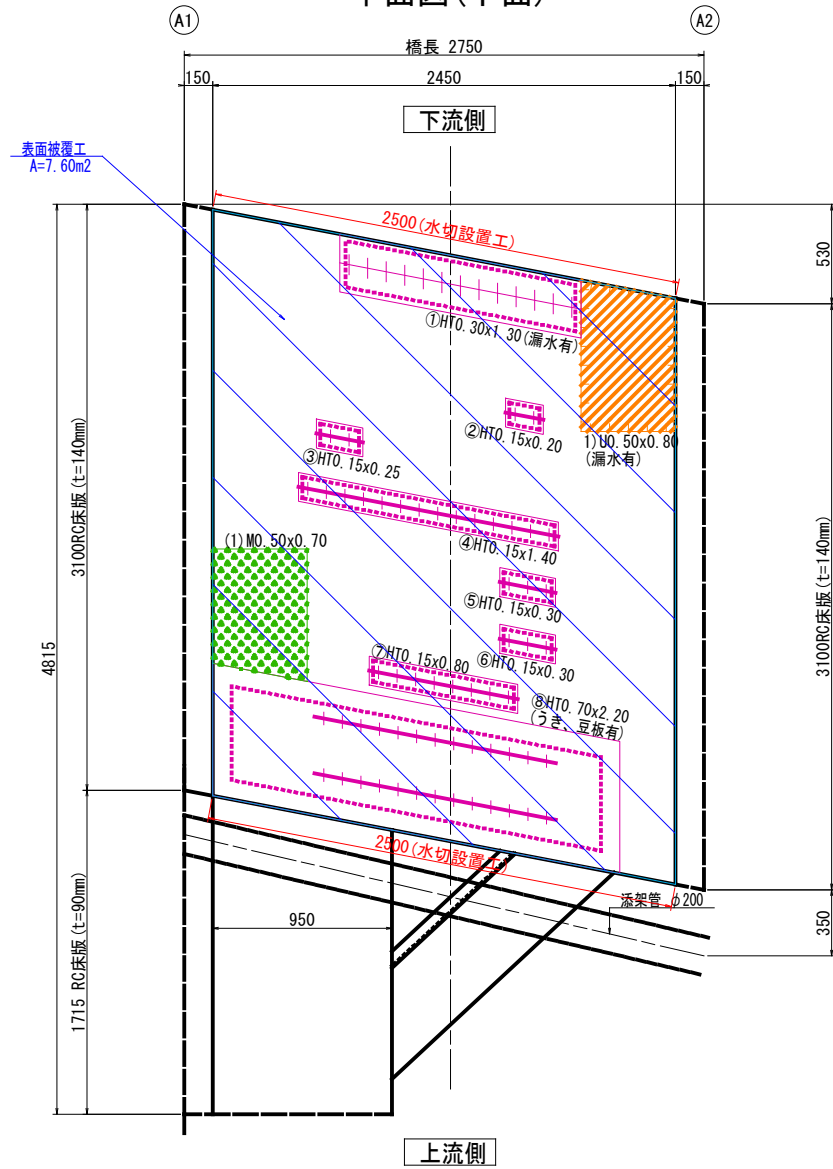
Rc-Ⅲ塗装仕様

工程	塗料名	使用量 (g/m ²)	塗装間隔
剥離剤剥離	ネオリバー泥バック橋梁用TypeⅡ		
素地調整	素地調整3種		4時間以内
下塗	弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料下塗(鋼板露出部のみ)	(200)	1~10日
下塗	弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料下塗	200	1~10日
下塗	弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料下塗	200	1~10日
中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	140	1~10日
上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	120	1~10日

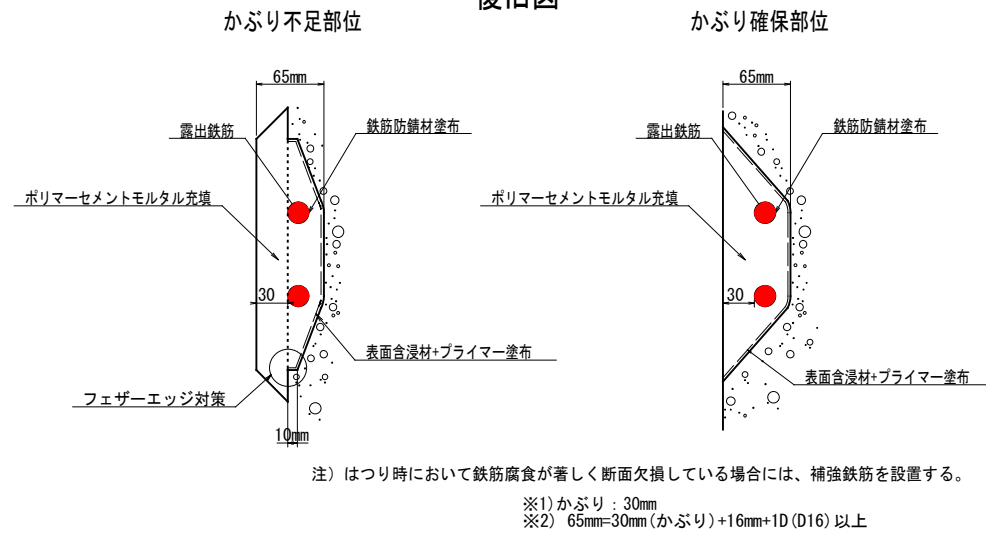
須波西1号線1号桥梁

工事名	桥梁補修工事(市道須波西1号線1号橋梁外3橋)
図面名	補修一般図
場所	三原市須波西二丁目
縮尺	図示 図面番号 1-2 / 3
三原市	

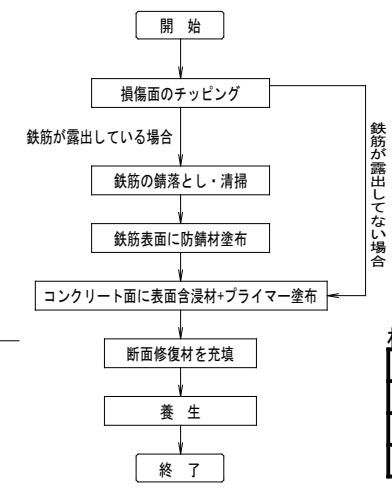
平面図(下面)



断面修復工詳細図 (参考図)
(左官工法)



施工フロー



材料表

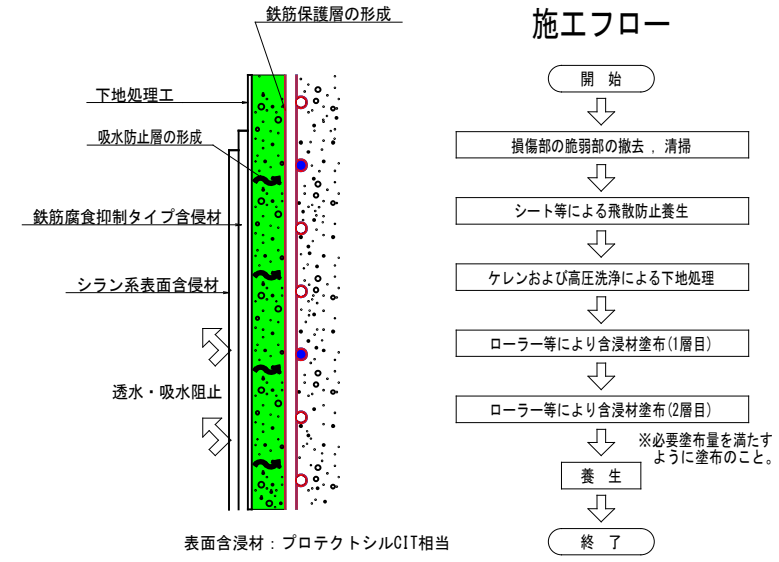
工種	仕様
プライマー	鉄筋腐食抑制含浸材
鉄筋防錆材	エポキシ樹脂系鋼筋防錆剤相当 (NE-XCO 鉄筋防錆剤品目規格適合)
断面修復工	ポリマーセメントモルタル材 (NE-XCO 断面修復材品目規格適合)

プライマー: マスターエマコC150相当
鉄筋防錆材: マスターエマコS200相当

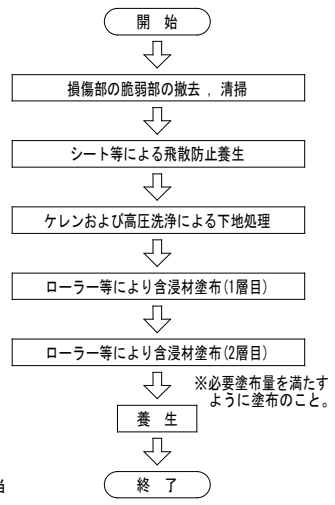
凡例

C	ひび割れ(0.2~1.0mm未満)
CY	遊離石灰を伴うひび割れ(0.2~1.0mm未満)
C	ひび割れ(1.0mm以上)
CY	遊離石灰を伴うひび割れ(1.0mm以上)
U	コンクリートの浮き
H	コンクリートの剥離
HT	コンクリートの剥離・鉄筋露出
Y	遊離石灰又はエフロレッセンス
R	漏水
T	鉄筋露出
M	ジャンカ

表面含浸工詳細図 (参考図)



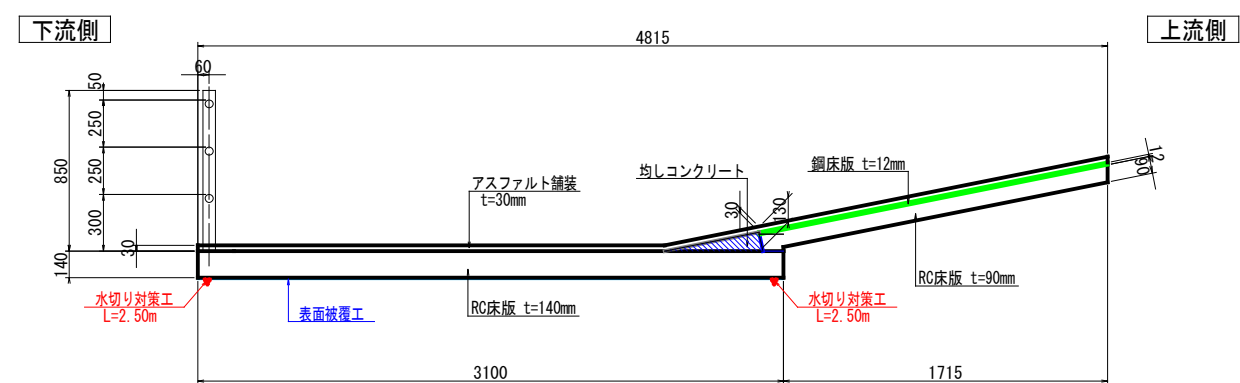
施工フロー



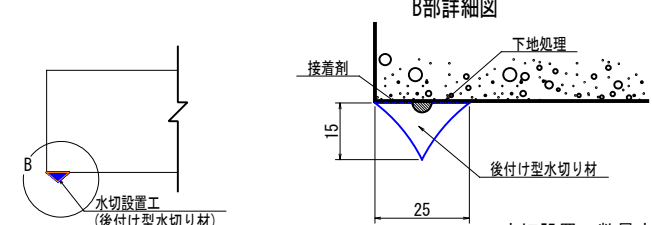
注記)

1. 本図面は、調査結果をもとに作成した図面である。
2. 施工時には、天候に十分注意をすること。
3. 補修工事に当たり、寸法等は再度現地検測を行って確認すること。
4. はつり後、鉄筋発錆がある場合は、ワイヤーブラシ等で錆を落とし防錆材塗布する。又、必要に応じて鉄筋を交換する。その後、鉄筋背面まで隙間なくコンクリートの充填を行うこと。
5. はつり断面はフェザージェッジを形成しない様、注意すること。
6. はく落防止として必要であればメッシュ等を配置し対応すること。
7. 防錆材は塗り残しがないよう入念に行うこと。
8. はつり面に凹凸がある場合は既存コンクリート面と修復材との間に空隙が残らない様に適切な処置を行うこと。
9. コンクリートのはつり作業時において補修材及びはつり殻等の落下を防ぐよう防護すること。
10. 表面被覆材塗布前にはケレン処理、高圧洗浄などにより、塗布面を十分に清掃し、汚れやエフロレッセンスなどを除去すること。
11. 表面被覆材塗布前にはCo損傷部は事前に補修を施すこと。
12. 必要塗布量を満たすように塗布すること。

断面図
1-1



水切設置工 S=1/10
(参考図)



水切設置工数量表

	上流側	下流側	計
水切り工	2.50m	2.50m	5.00m

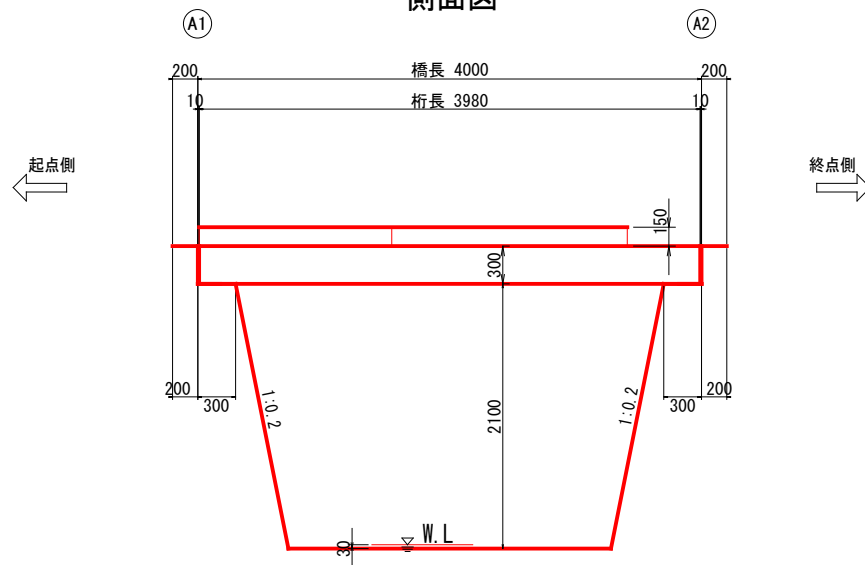
須波西1号線1号橋梁

工事名	橋梁補修工事 (市道須波西1号線1号橋梁外3橋)		
図面名	補修図		
場所	三原市須波西二丁目		
縮尺	図示	図面番号	1-3 / 3
三原市			

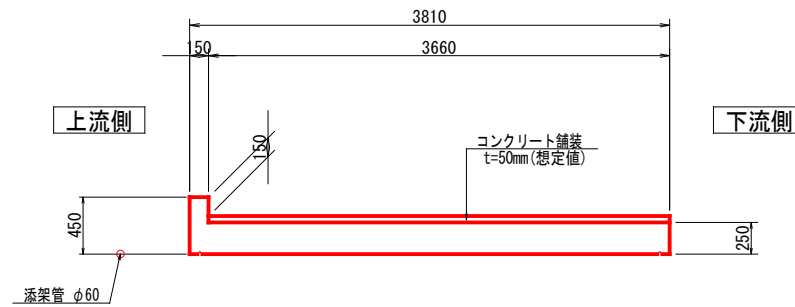
1. ディスクサンダーまたはブラシ等によるケレンを行い、コンクリート表面の塵埃、油脂等の汚れを除去すること。必要に応じてブローも併用すること。
2. 接着剤を塗った水切り材をコンクリート表面に押し付けて取り付けること。
3. コンクリート表面に汚れが残ると接着不良を起こすので、下地処理は適切に行うこと。

(須波西12号線1号橋梁) 既設橋梁一般図 S=1/30

側面図



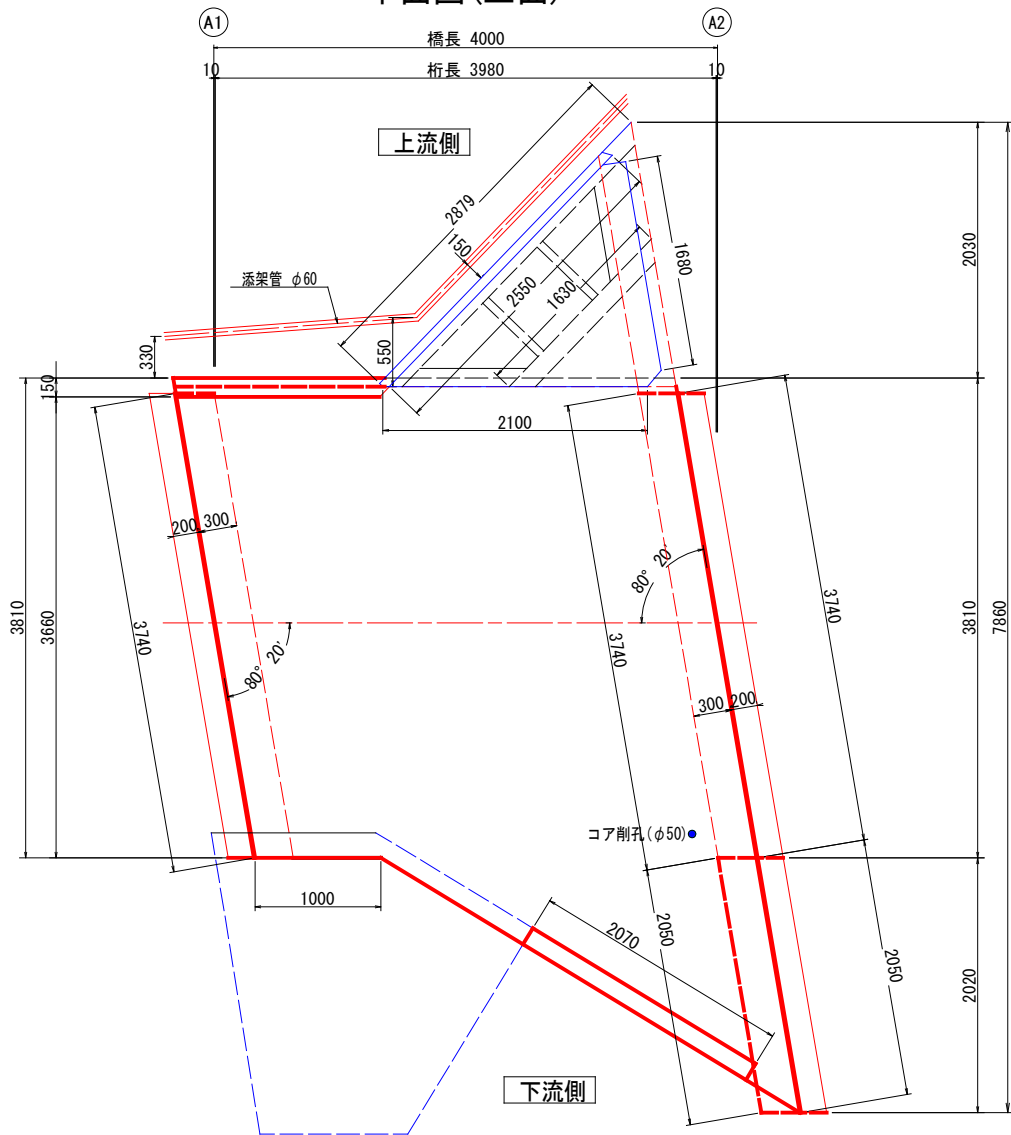
断面図



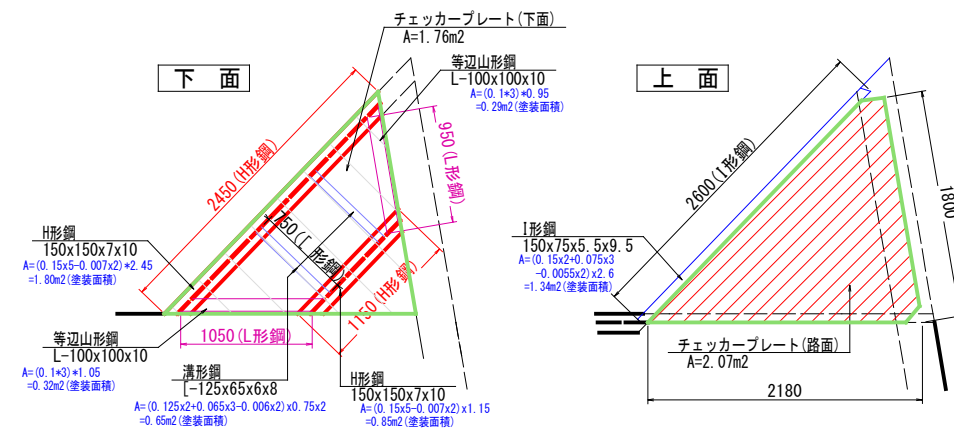
橋梁緒元

占用	不明
構造形式	RC床版橋
径間数	1径間
橋長	4.000 m
幅員	3.810m(全幅)
斜角	右 80° 20'
平面線形	∞
舗装	コンクリート舗装 t=50mm(想定値)
添加物	上流側:不明φ60
下部工基礎	不明
適用指針	鉄筋コンクリート標準示方書(S39)
架設年次	1970年

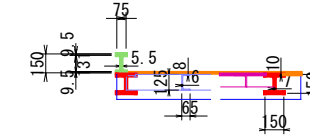
平面図(上面)



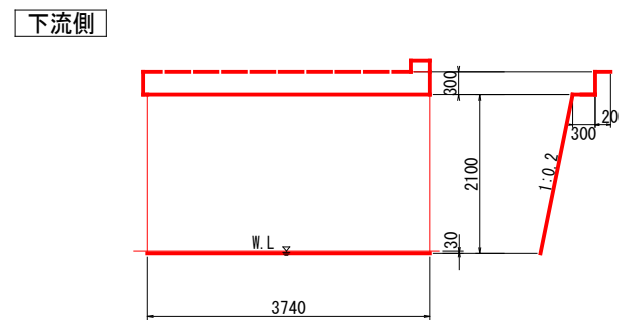
鋼床版部
平面図



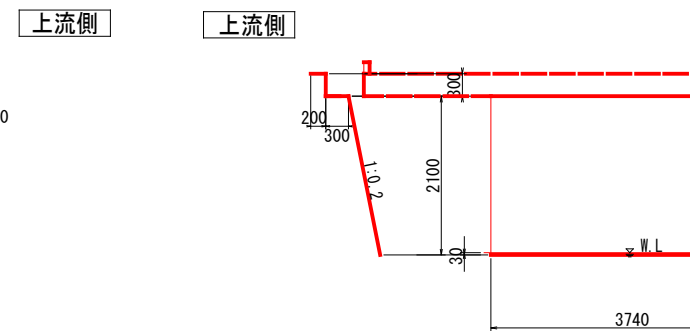
断面図



A1橋台 S=1/50
断面図



側面図



A2橋台 S=1/50
断面図

側面図

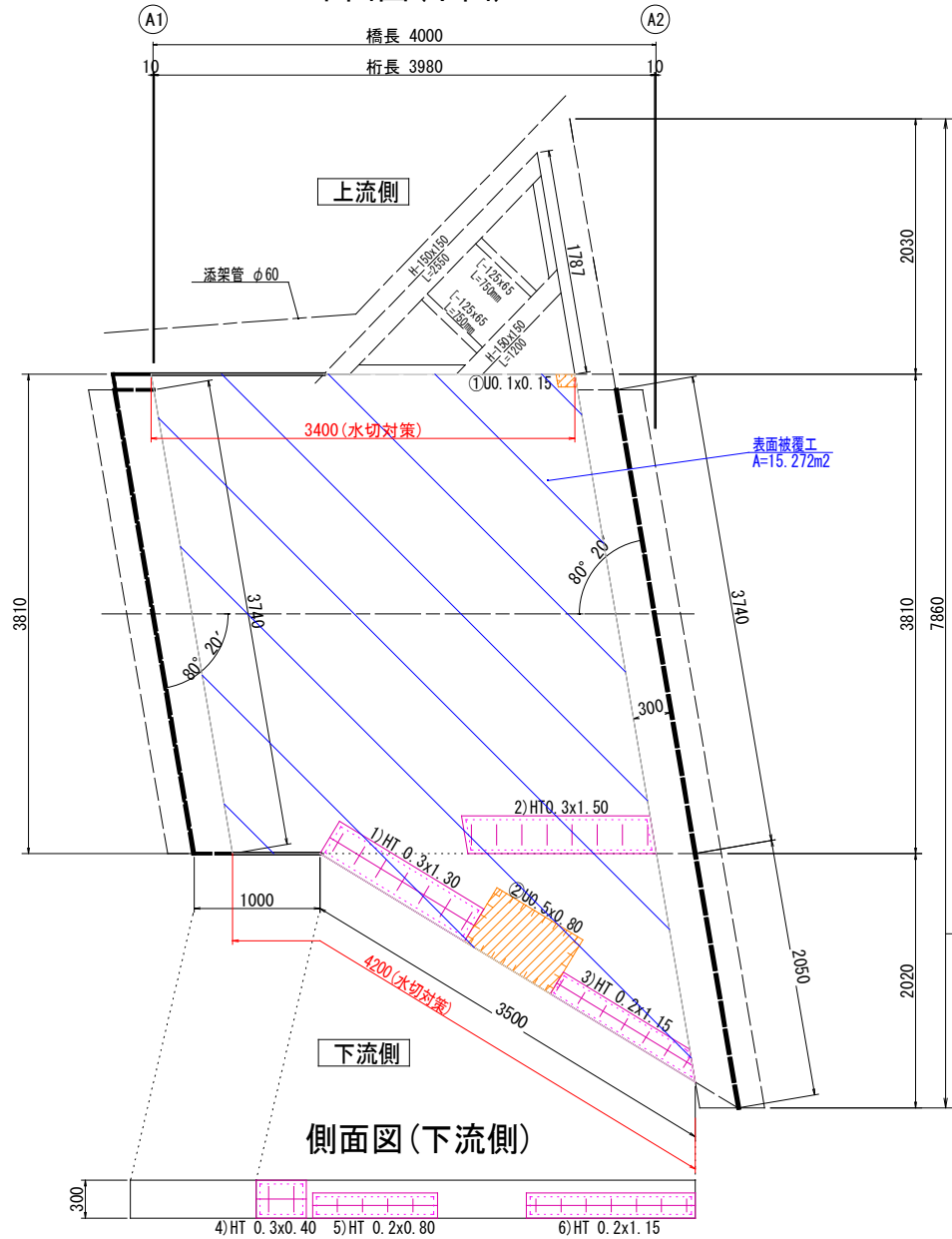
須波西12号線1号橋梁

工事名	橋梁補修工事(市道須波西1号線1号橋梁外3橋)		
図面名	既設橋梁一般図		
場所	三原市須波西二丁目		
縮尺	図示	図面番号	2-1 / 2
三原市			

(須波西12号線1号橋梁)補修図

S=1/30

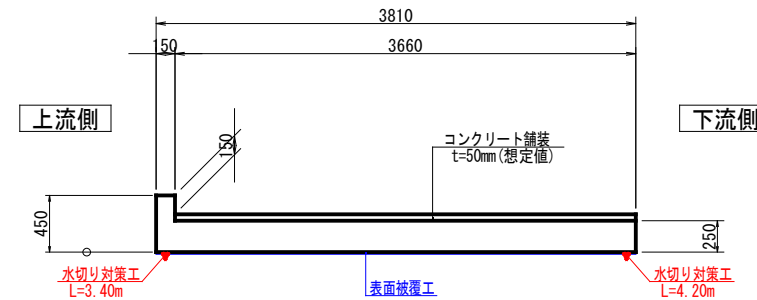
平面図(下面)



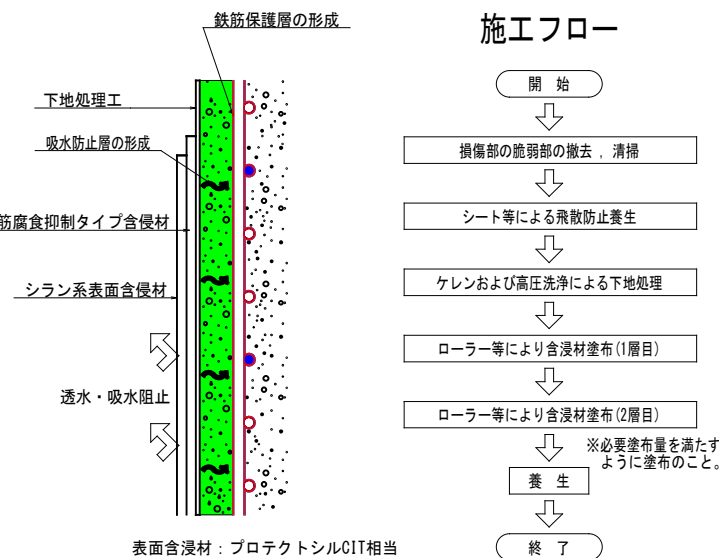
凡例

C	ひび割れ(0.2~1.0mm未満)
CY	遊離石灰を伴うひび割れ(0.2~1.0mm未満)
C	ひび割れ(1.0mm以上)
CY	遊離石灰を伴うひび割れ(1.0mm以上)
U	コンクリートの浮き
H	コンクリートの剥離
HT	コンクリートの剥離・鉄筋露出
Y	遊離石灰又はエフロレッセンス
R	漏水
T	鉄筋露出
M	ジャンカ
腐食	鋼部材腐食、塗膜はがれ

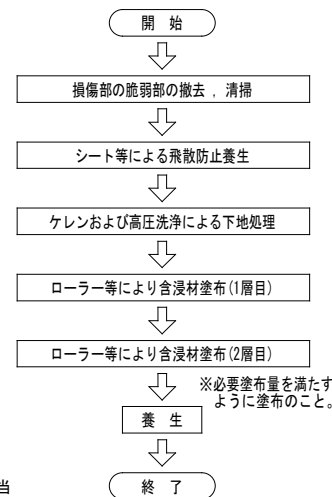
断面図



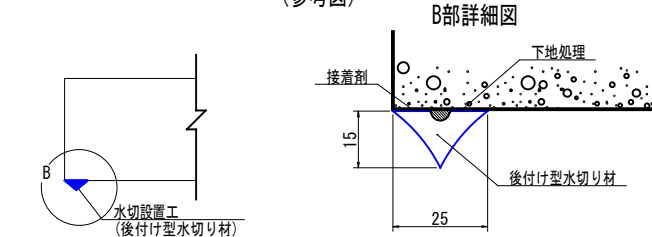
表面含浸工詳細図(参考図)



施工フロー



水切設置工 S=1/10 (参考図)



注) 含浸材は、断面修復の有無に関わらず、主桁の下面および側面全体に対して塗布すること。

- 注) 1. ディスクサンダーまたはブラシ等によるケレンを行い、コンクリート表面の塵埃、油脂等の汚れを除去すること。必要に応じてプロアーも併用すること。
 2. 接着剤を塗った水切り材をコンクリート表面に押し付けて取り付けること。
 3. コンクリート表面に汚れが残ると接着不良を起こすので、下地処理は適切に行うこと。

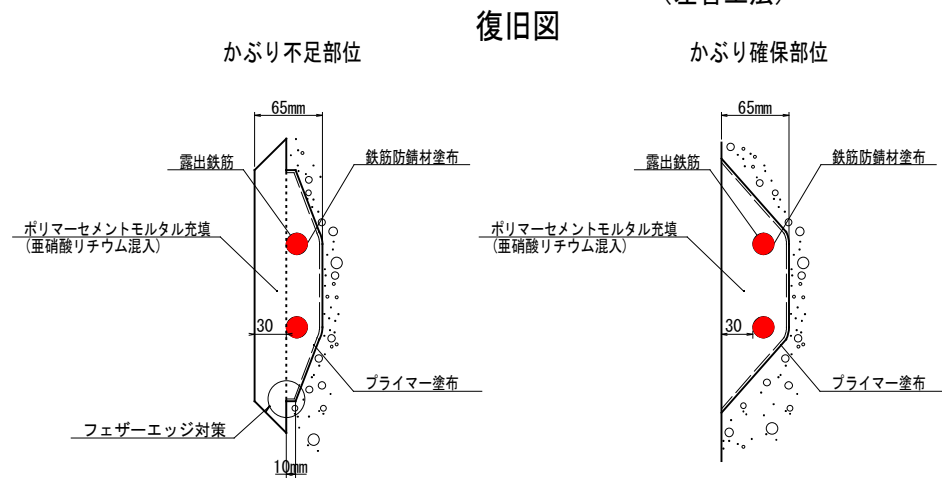
注記)

1. 本図面は、調査結果をもとに作成した図面である。
2. 施工時には、天候に十分注意をすること。
3. 補修工事に当り、寸法等は再度現地検測を行って確認すること。
4. はつり後、鉄筋露出がある場合は、ワイヤーブラシ等で錆を落とし防錆材塗布する。又、必要に応じて鉄筋を交換する。その後、鉄筋背面まで隙間なくコンクリートの充填を行うこと。
5. はつり断面はフェザーエッジを形成しない様、注意すること。
6. はく落防止として必要であればメッシュ等を配置し対応すること。
7. 防錆材は塗り残しがないよう入念に行うこと。
8. はつり面に凹凸がある場合は既設コンクリート面と修復材との間に空隙が残らない様に適切な処置を行うこと。
9. コンクリートのはつり作業時において補修材及びはつり殻等の落下を防ぐよう防護すること。
10. 表面被覆材塗布前にはケレン処理、高圧洗浄などにより、塗布面を十分に清掃し、汚れやエフロレッセンスなどを除去すること。
11. 表面被覆材塗布前にはCo損傷部は事前に補修を施すこと。
12. 必要塗布量を満たすように塗布すること。
13. 塗膜かすは人体に影響する有害物質を含有するため、安全管理を徹底すること。

水切設置工数量表

	上流側	下流側	計
水切工	3.40m	4.20m	7.60m

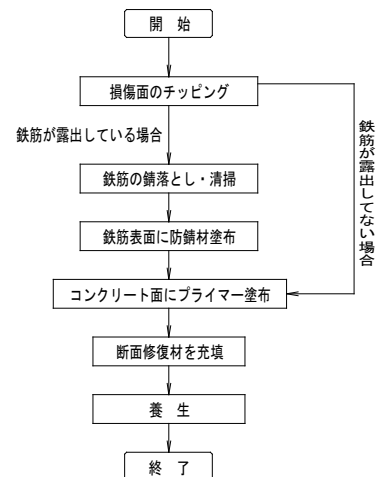
断面修復工詳細図(参考図) (左官工法)



注) はつり時において鉄筋腐食が著しく断面欠損している場合には、補強鉄筋を設置する。

- ※1) かぶり: 30mm
 ※2) 65mm=30mm(かぶり)+16mm+1D(D16)以上

施工フロー



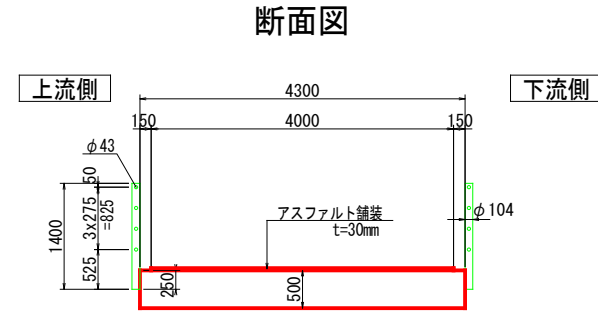
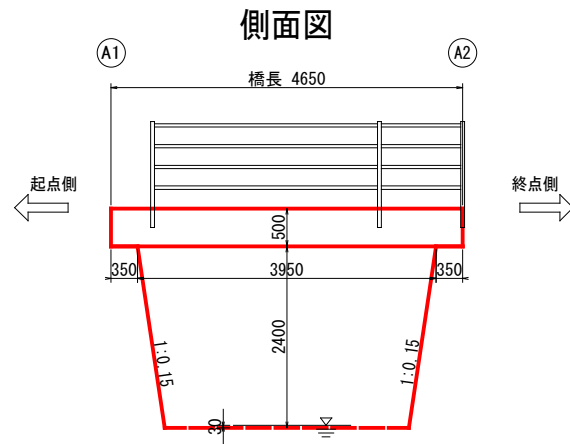
材料表

工種	仕様
プライマー	新旧打継工エポキシ系接着剤相当
鉄筋防錆材	エポキシ樹脂系錆阻形防錆剤相当 (NE-XCO 鉄筋防錆剤品質規格適合)
断面修復工	ポリマーセメントモルタル材 (亜硝酸リチウム混入)

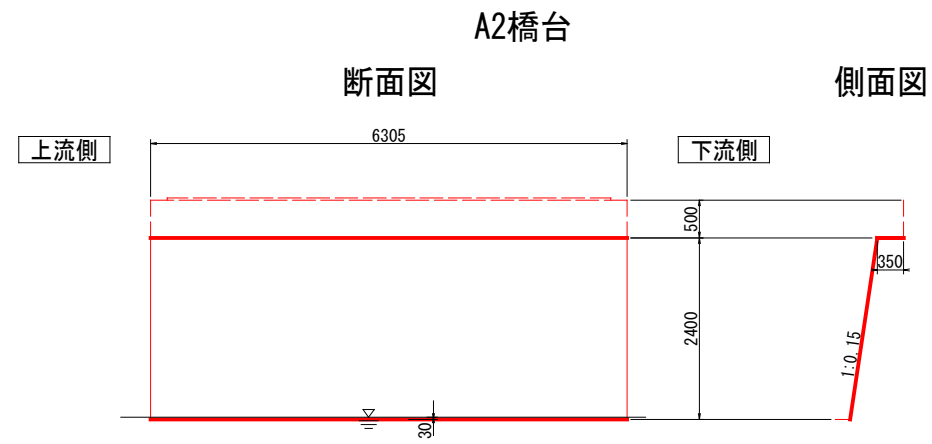
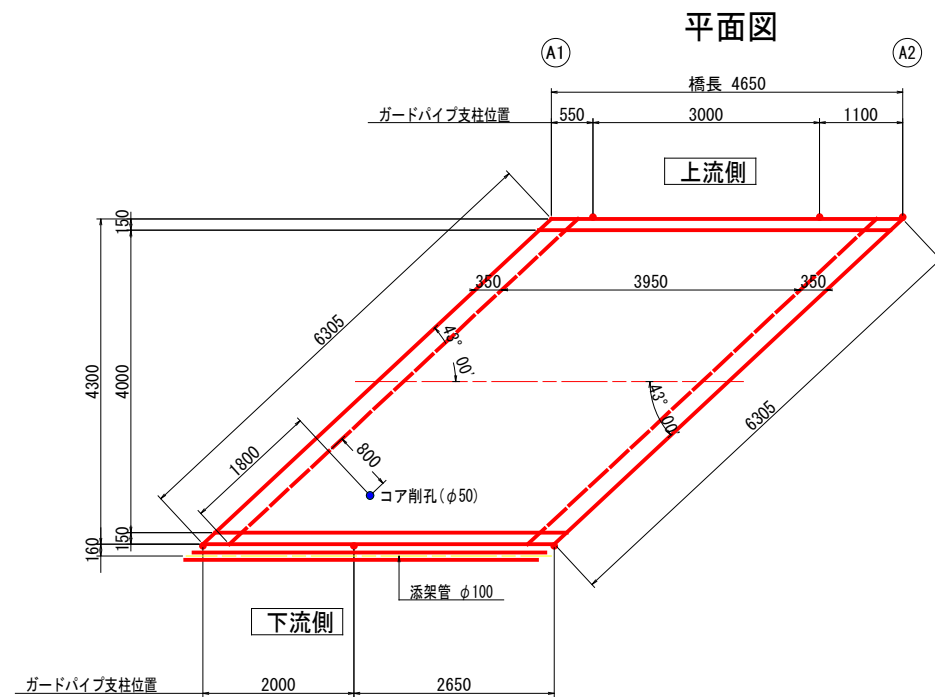
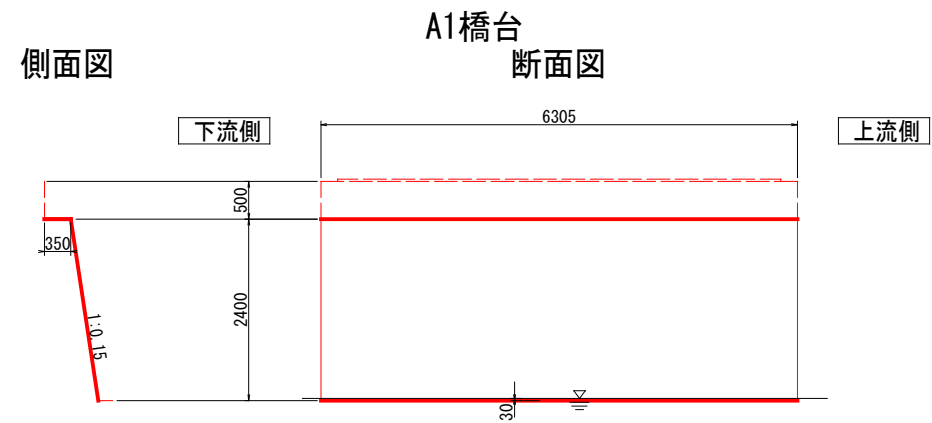
須波西12号線1号橋梁

工事名	橋梁補修工事(市道須波西1号線1号橋梁外3橋)		
図面名	補修図		
場所	三原市須波西二丁目		
縮尺	図示	図面番号	2-2 / 2
三原市			

(市道八幡町31号線2号桥梁) 既設桥梁一般図 S=1/30



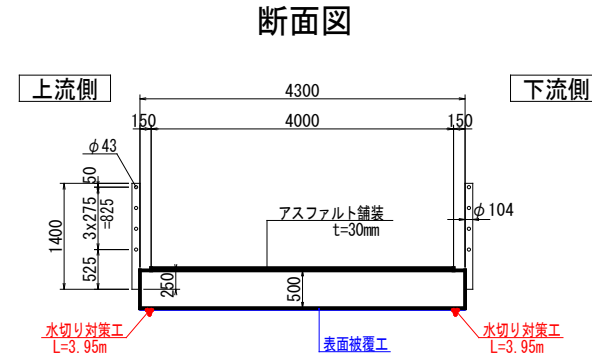
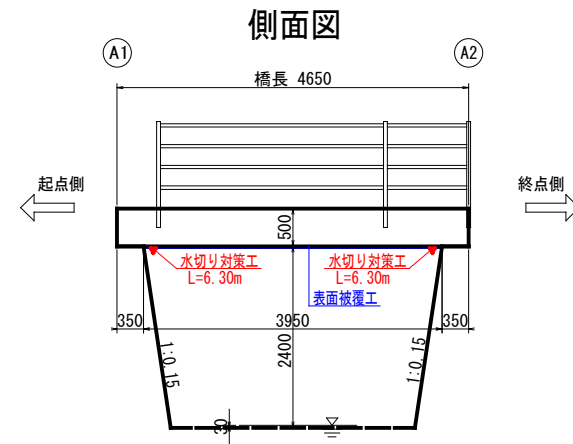
橋梁緒元	
構造形式	RC床版橋
径間数	1径間
橋長	4.650 m
幅員	4.300m(全幅)
斜角	左 43° 00'
平面線形	∞
舗装	アスファルト舗装
添加物	上流側:水道管φ100
下部工基礎	不明
適用指針	鉄筋コンクリート標準示方書 (S39)
架設年次	1975年



八幡町31号線2号桥梁

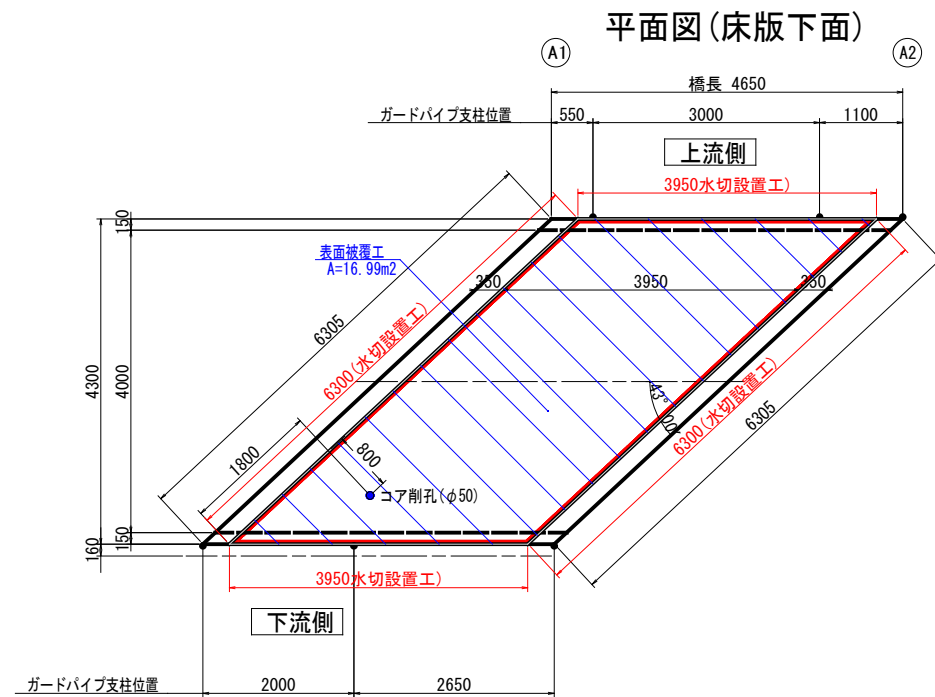
工事名	桥梁補修工事 (市道須波西1号線1号桥梁外3橋)		
図面名	既設桥梁一般図		
場所	三原市八幡町野串		
縮尺	図示	図面番号	3-1 / 3
三原市			

(市道八幡町31号線2号桥梁)補修一般図 S=1/30



補修項目一覧表

工種	補修項目	補修部位	損傷対策	摘要
床板	断面修復工	床板下面	うき・剥離鉄筋露出	ポリマーセメントモルタル(左官工法)
	表面被覆工	床板下面	ひびわれ充填(0.2mm以下)・中性化進行抑制	表面含浸工(けい酸塩系表面含浸材)
	水切り対策工	床板	氾い水に伴う損傷抑制	後付け水切材

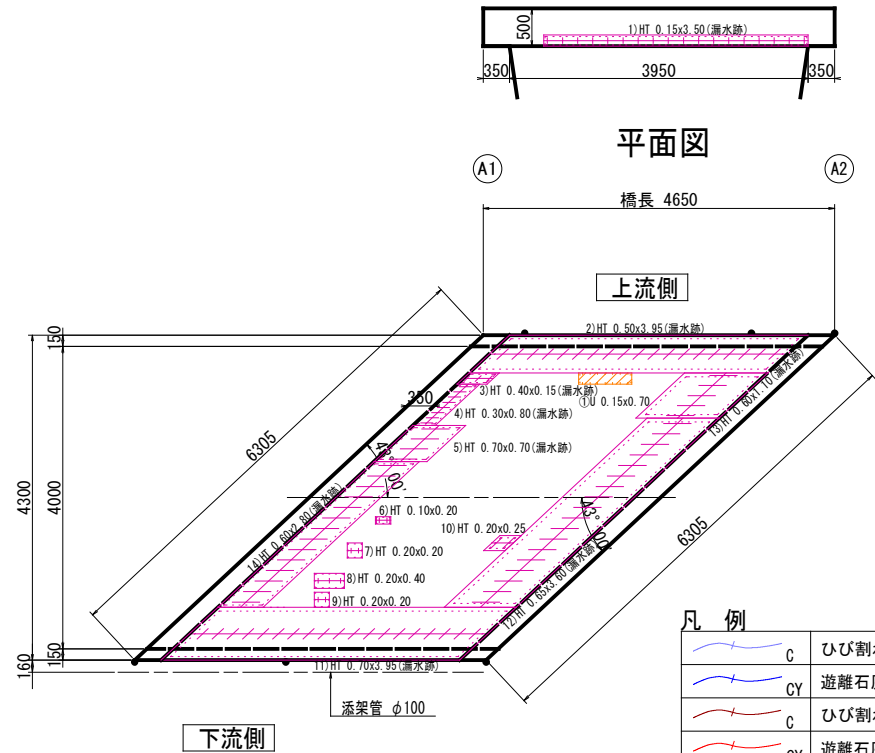


- 注記)
1. 本図面は、調査結果をもとに作成した図面である。
 2. 施工時には、天候に十分注意をすること。
 3. 補修工事に当り、寸法等は再度現地検測を行って確認すること。
 4. はつり後、鉄筋発錆がある場合は、ワイヤーブラシ等で錆を落とし防錆材塗布する。又、必要に応じて鉄筋を交換する。その後、鉄筋背面まで隙間なくコンクリートの充填を行うこと。
 5. はつり断面はフェザーエッジを形成しない様、注意すること。
 6. はく落防止として必要であればメッシュ等を配置し対応すること。
 7. 防錆材は塗り残しがないよう入念に行うこと。
 8. はつり面に凹凸がある場合は既設コンクリート面と修復材との間に空隙が残らない様に適切な処置を行うこと。
 9. コンクリートのはつり作業時において補修材及びはつり殻等の落下を防ぐよう防護すること。
 10. 表面被覆材塗布前にはケレン処理、高圧洗浄などにより、塗布面を十分に清掃し、汚れやエフロレッセンスなどを除去すること。
 11. 表面被覆材塗布前にはCo損傷部は事前に補修を施すこと。
 12. 必要塗布量を満たすように塗布すること。

八幡町31号線2号桥梁

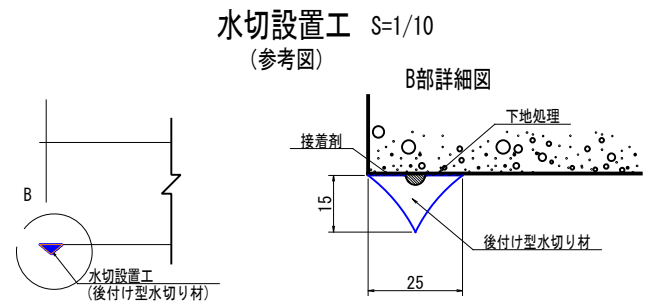
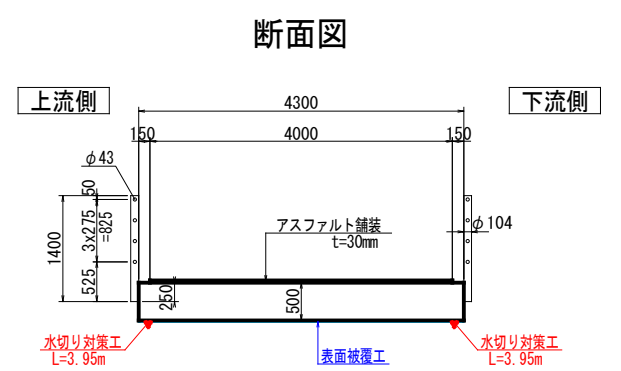
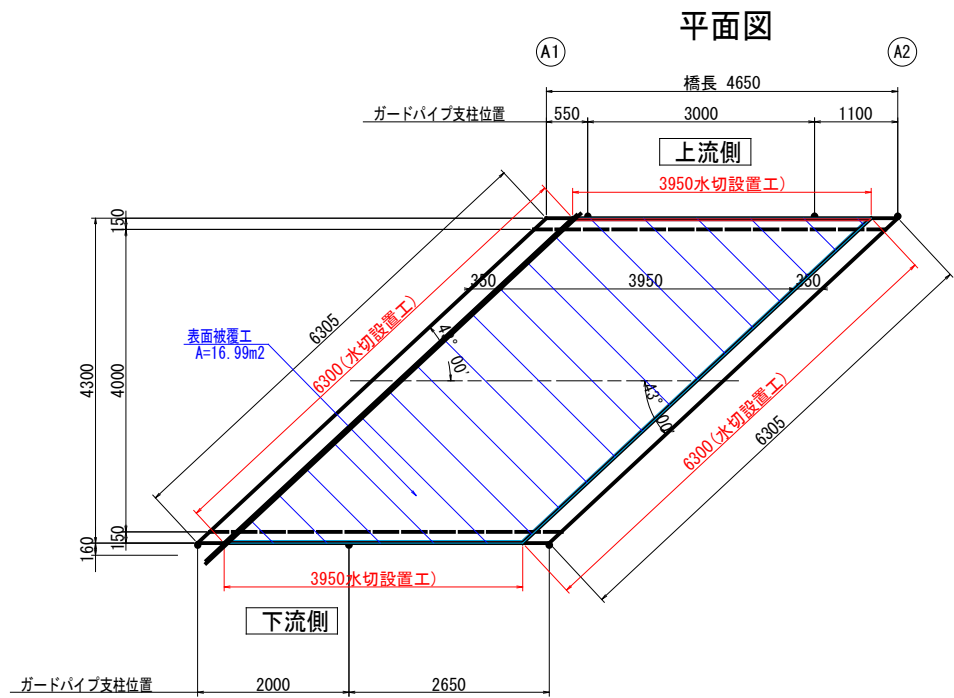
工事名	桥梁補修工事(市道須波西1号線1号橋梁外3橋)		
図面名	補修梁一般図		
場所	三原市八幡町野串		
縮尺	図示	図面番号	3-2 / 3
三原市			

(市道八幡町31号線2号桥梁) 補修図 S=1/30



凡例

C	ひび割れ (0.2~1.0mm未満)
CY	遊離石灰を伴うひび割れ (0.2~1.0mm未満)
C	ひび割れ (1.0mm以上)
CY	遊離石灰を伴うひび割れ (1.0mm以上)
U	コンクリートの浮き
H	コンクリートの剥離
HT	コンクリートの剥離・鉄筋露出
Y	遊離石灰又はエフロレッセンス
R	漏水
T	鉄筋露出
M	ジャンカ



表面含浸工 (参考図)
(中性化対策・微細なひび割れ補修等)

※ 上部Co部(地覆・床版・箱桁)を対象とする。
※ ケイ酸塩系含浸材

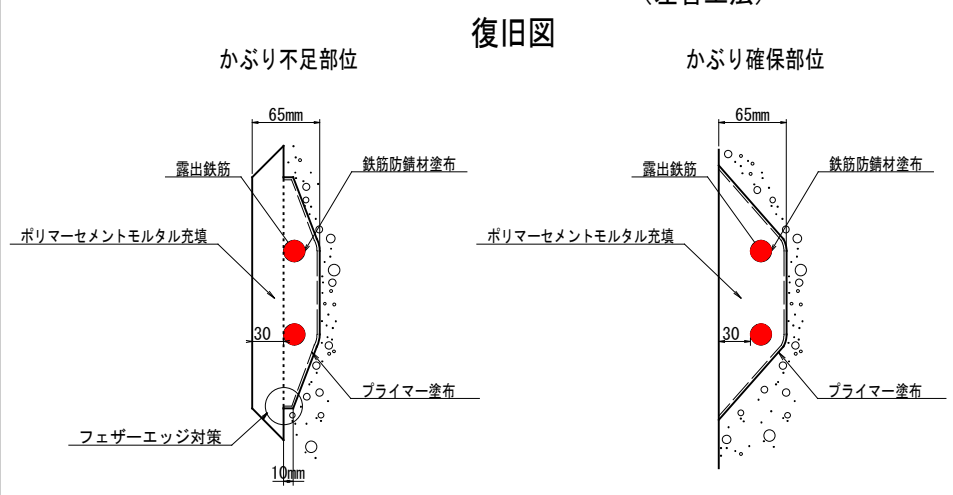
注) 含浸材は、断面修復工の有無に関わらず、主桁の下面および側面全体に対して塗布すること。

水切設置工数量表

	上流側	下流側	A1側	A2側	計
水切工	3.95m	3.95m	6.30m	6.30m	20.50m

注) 1. ディスクサンダーまたはブラシ等によるケレンを行い、コンクリート表面の塵埃、油脂等の汚れを除去すること。必要に応じてフローも併用すること。
2. 接着剤を塗った水切り材をコンクリート表面に押し付けて取り付けること。
3. コンクリート表面に汚れが残ると接着不良を起すので、下地処理は適切に行うこと。

断面修復工詳細図 (参考図)
(左官工法)



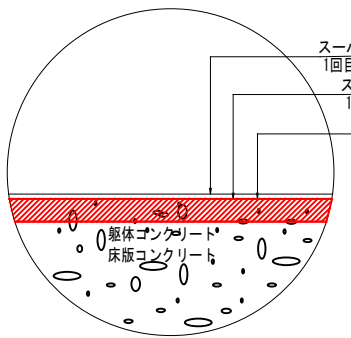
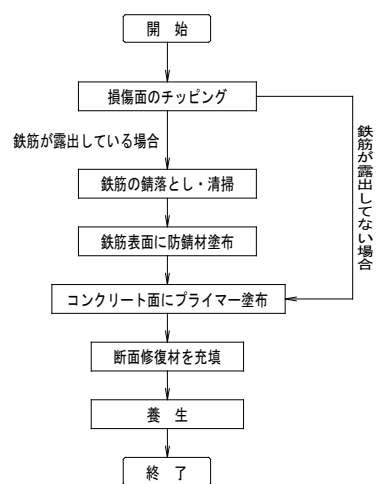
注) はつり時において鉄筋腐食が著しく断面欠損している場合には、補強鉄筋を設置する。

※1) かぶり: 30mm
※2) 65mm=30mm(かぶり)+16mm+1D (D16) 以上

材料表

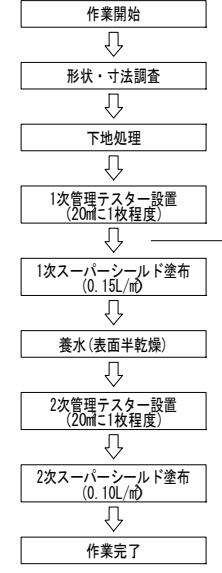
工種	仕様
プライマー	新旧打継工エポキシ系接着剤相当
鉄筋防錆材	エポキシ樹脂系錆転換形防錆剤相当 (NEXCO 鉄筋防錆剤品質規格適合)
断面修復工	ポリマーセメントモルタル材 (NEXCO 断面修復材品質規格適合)

施工フロー



※ スーパーシールド塗布はコンクリート面を湿潤状態にして行い、塗布後も含浸を促進するため散水養生すること。
※ 下地処理は基本的に散水や高圧洗浄処理で洗い流す程度であり、著しい凹凸や付着物等の含浸性を阻害する要因となるものについてはプラスト処理やケレンによって除去・清掃すること。
※ 含浸工はスーパーシールドを参考に示すが、別製製品を使用する場合は同等の機能効果を有する製品を使用し、その仕様に従うこと。

施工手順



補助工法 ストレングス剤 0.25L/m²

- 注記)
1. 本図面は、調査結果をもとに作成した図面である。
 2. 施工時には、天候に十分注意をすること。
 3. 補修工事に当たり、寸法等は再度現地検測を行って確認すること。
 4. はつり後、鉄筋発錆がある場合は、ワイヤーブラシ等で錆を落とし防錆材塗布する。又、必要に応じて鉄筋を交換する。その後、鉄筋背面まで隙間なくコンクリートの充填を行うこと。
 5. はつり断面はフェザーエッジを形成しない様、注意すること。
 6. はく落防止として必要であればメッシュ等を配置し対応すること。
 7. 防錆材は塗り残しがないよう入念に行うこと。
 8. はつり面に凹凸がある場合は既設コンクリート面と修復材との間に空隙が残らない様に適切な処置を行うこと。
 9. コンクリートのはつり作業時において補修材及びはつり殻等の落下を防ぐよう防護すること。
 10. 表面被覆材塗布前にはケレン処理、高圧洗浄などにより、塗布面を十分に清掃し、汚れやエフロレッセンスなどを除去すること。
 11. 表面被覆材塗布前にはCo損傷部は事前に補修を施すこと。
 12. 必要塗布量を満たすように塗布すること。

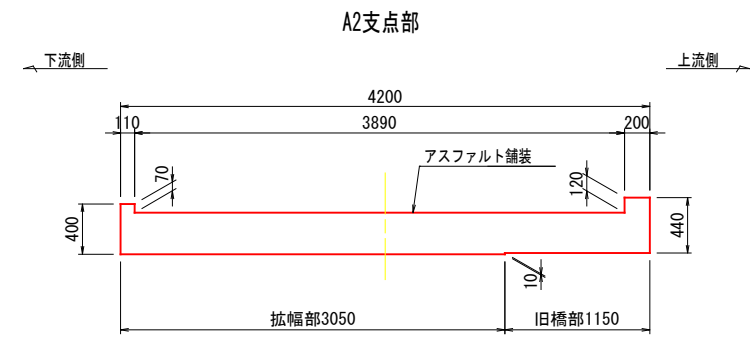
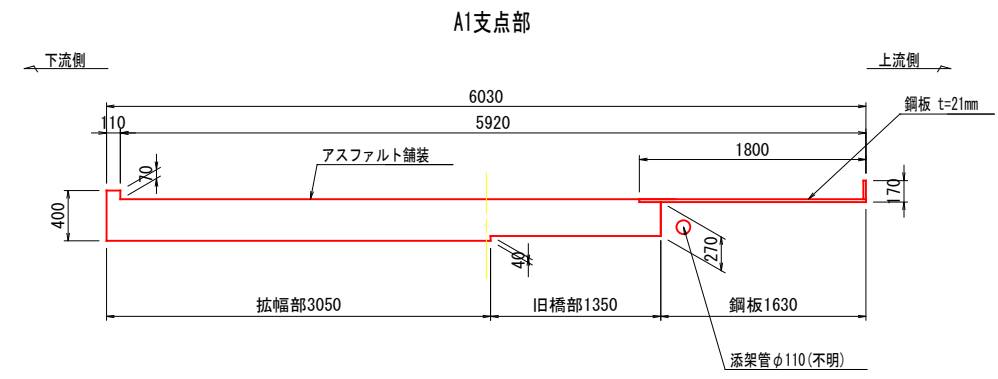
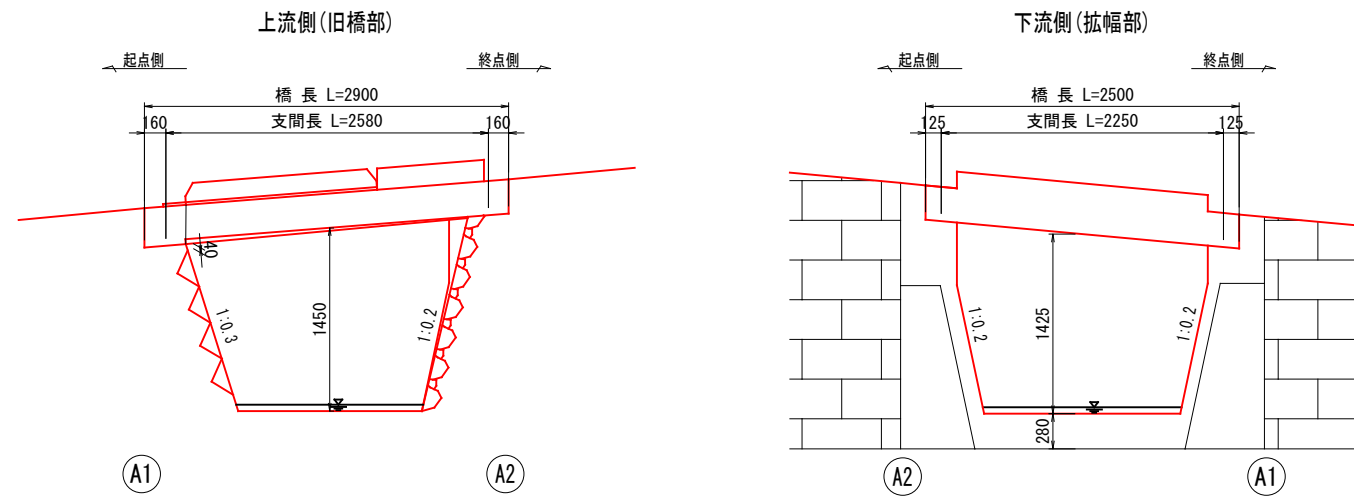
八幡町31号線2号桥梁

工事名	桥梁補修工事 (市道須波西1号線1号橋梁外3橋)
図面名	補修図
場所	三原市八幡町野串
縮尺	図示 図面番号 3-3 / 3
三原市	

市道幸崎62号線1号橋梁 橋梁一般図

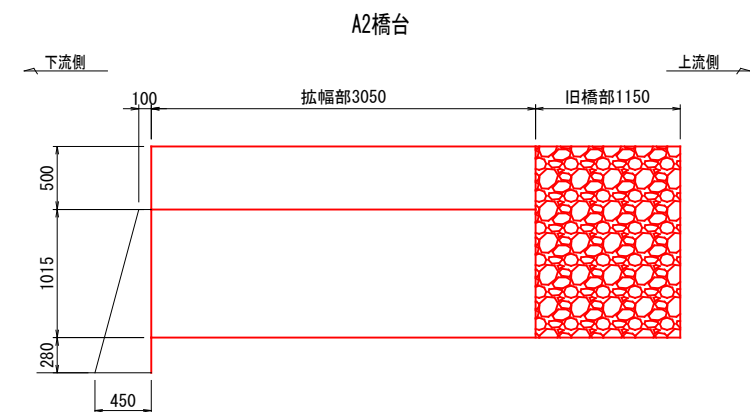
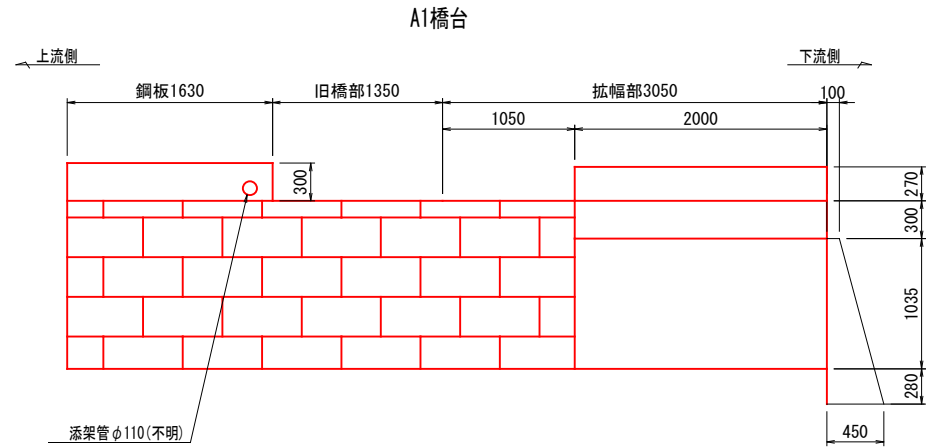
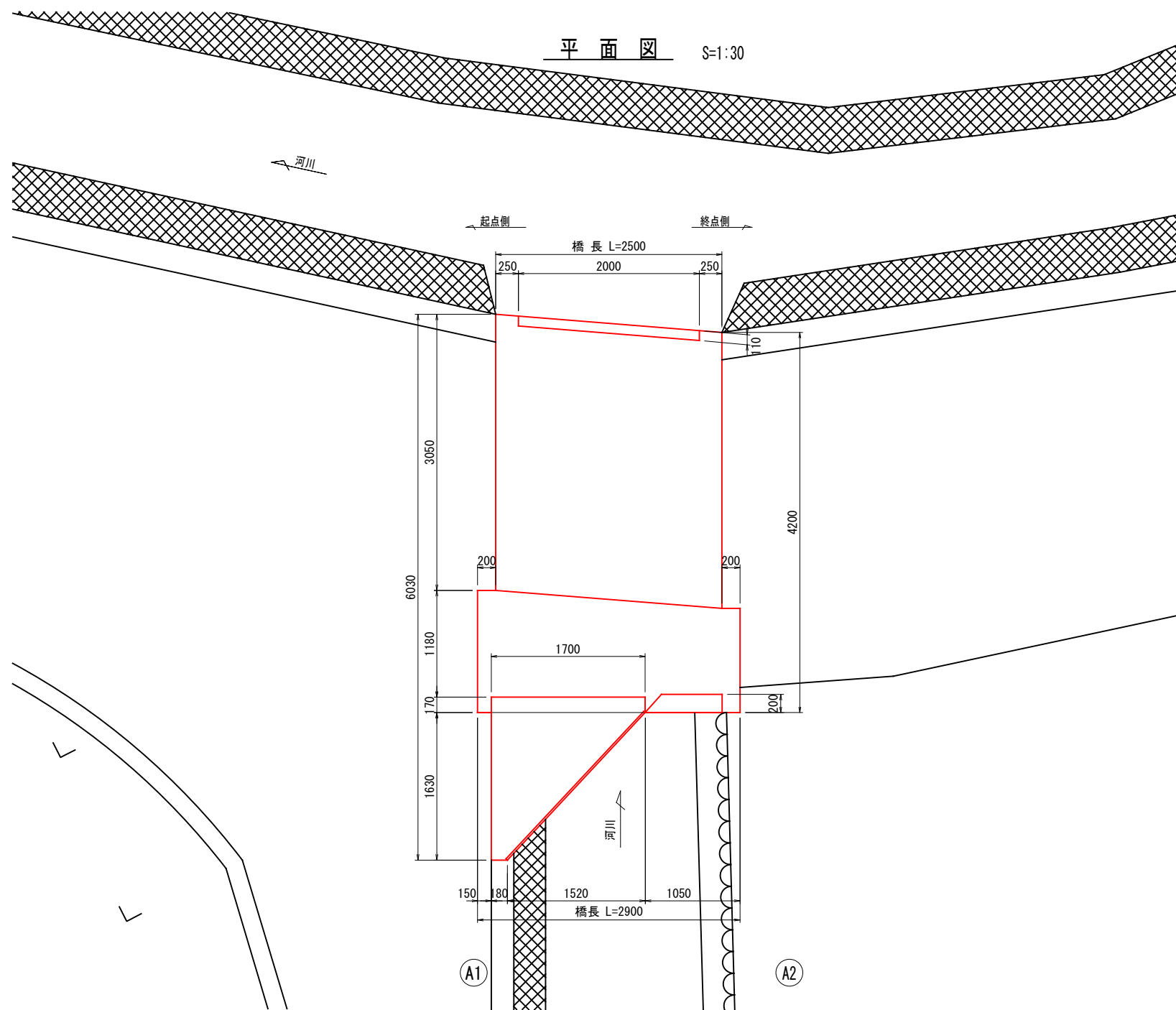
側面図 S=1:30

断面図 S=1:30



平面図 S=1:30

橋台正面図 S=1:30

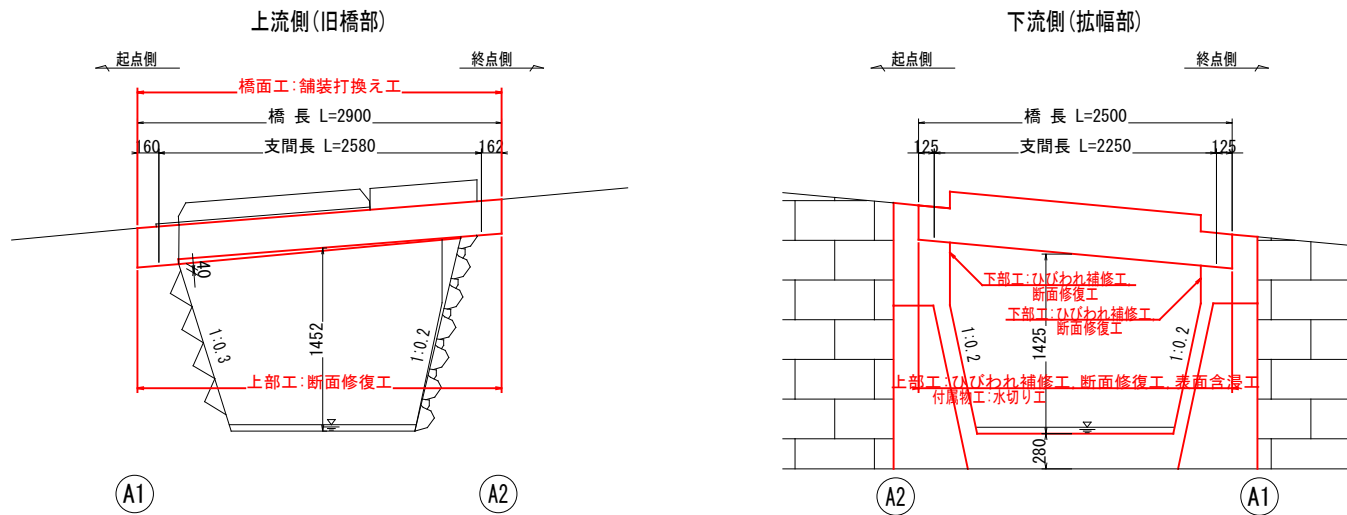


幸崎62号線1号橋梁			
工事名	橋梁補修工事 (市道須波西1号線1号橋梁外3橋)		
図面名	橋梁一般図		
場所	三原市幸崎能地七丁目		
縮尺	図示	図面番号	4-1 / 6
三原市			

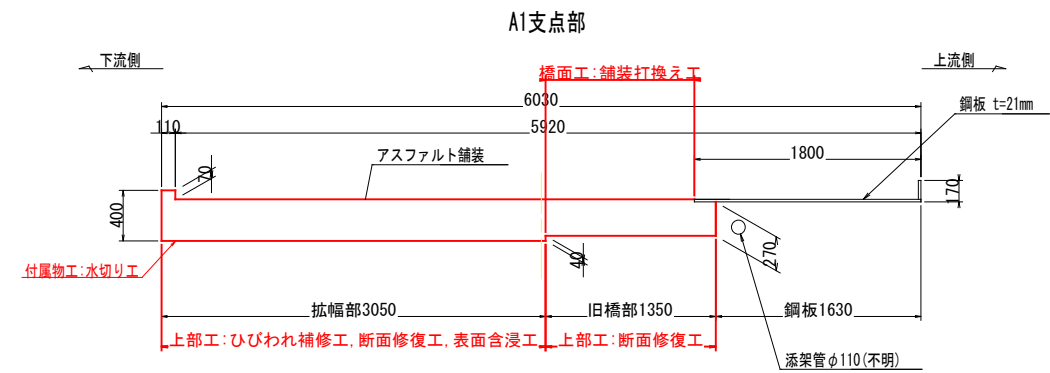
※一般図は、現地計測結果を基に作成したものである。

市道幸崎62号線1号桥梁 補修計画一般図

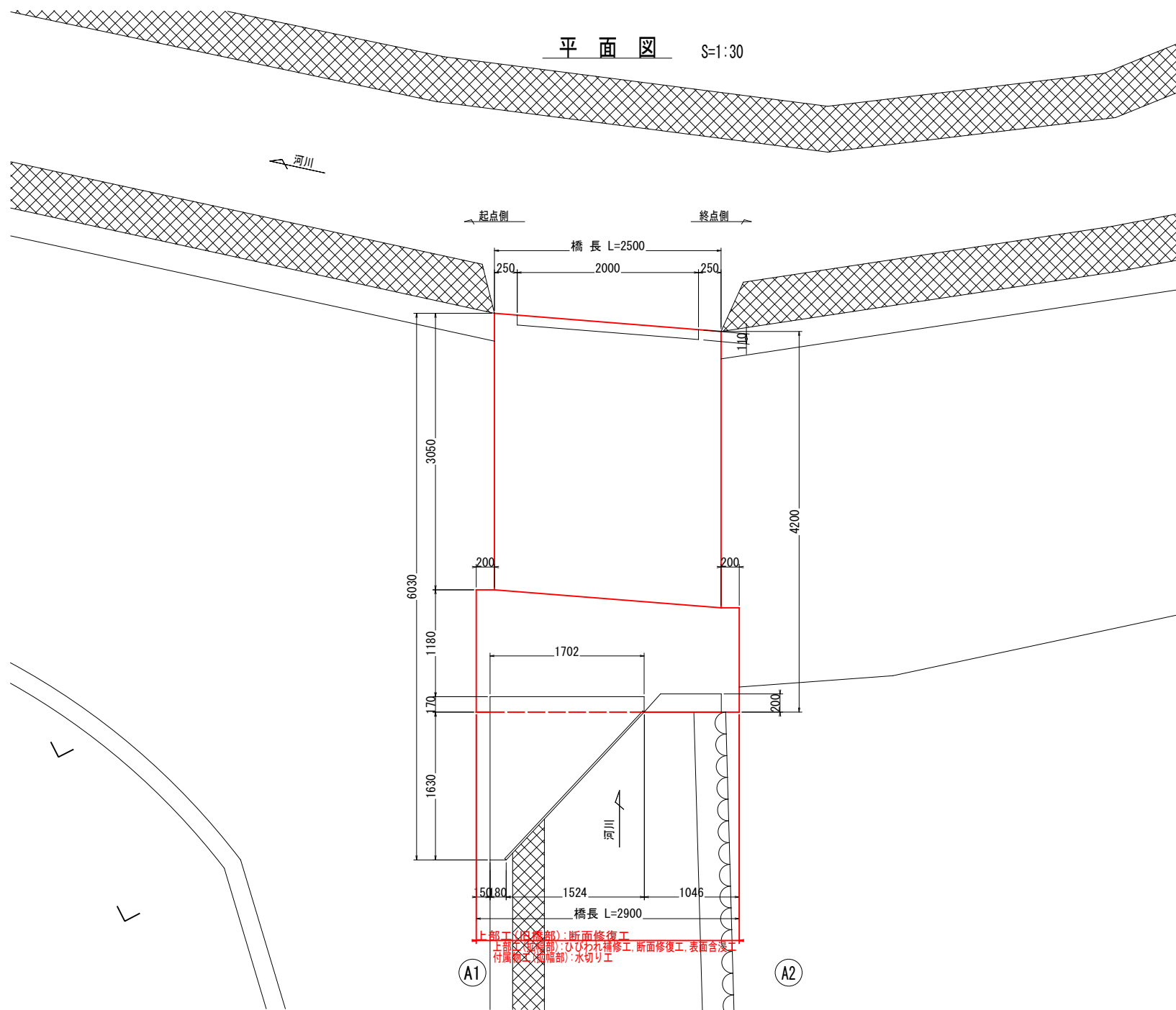
側面図 S=1:30



断面図 S=1:30



平面図 S=1:30



対策工法一覧表

- ひびわれ補修工
- 断面修復工
- 表面含浸工
- 水切り工
- 舗装打換え工
- 支保工

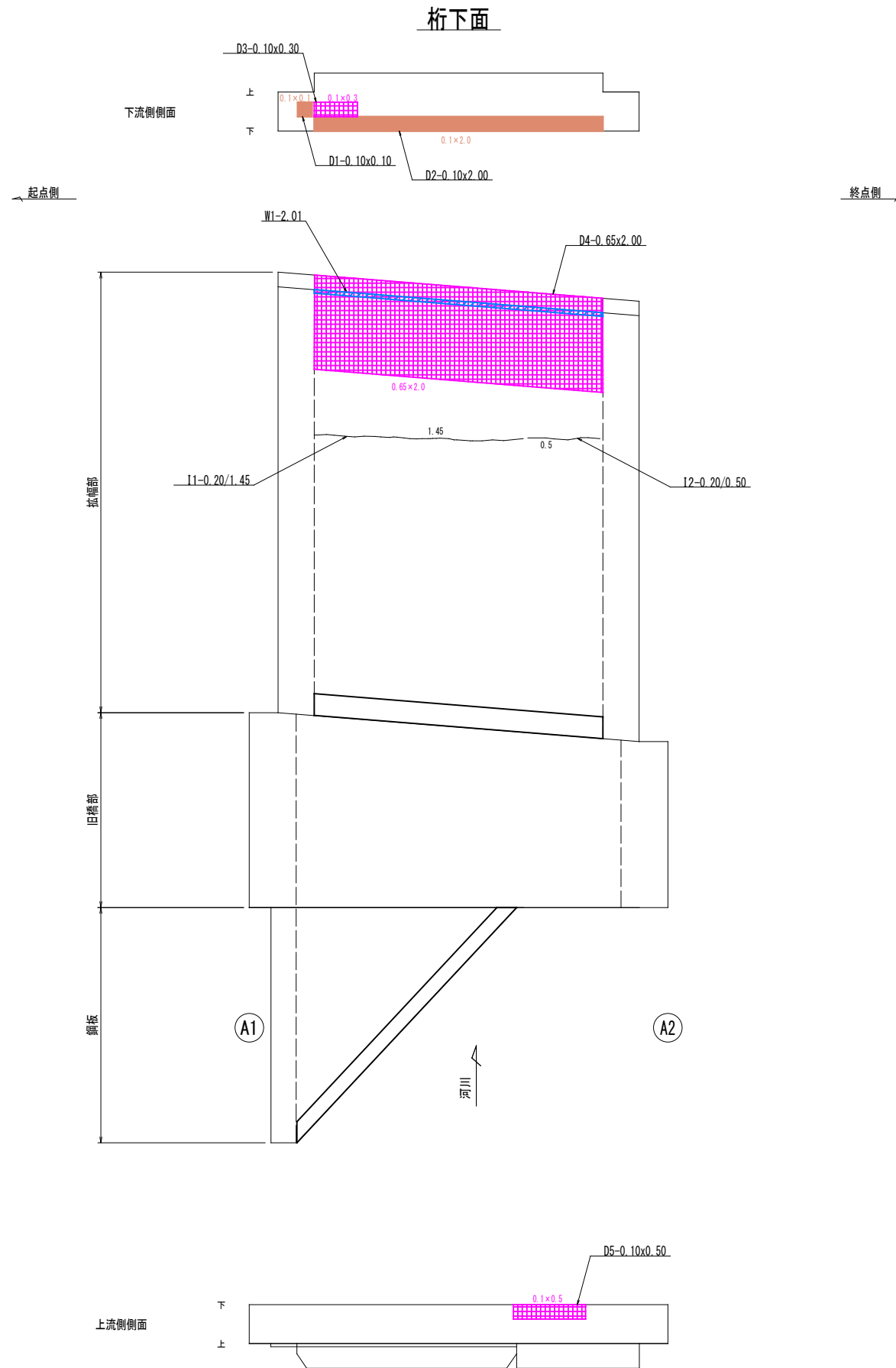
幸崎62号線1号桥梁

工事名	桥梁補修工事(市道須波町1号線1号桥梁外3橋)		
図面名	補修計画一般図		
場所	三原市幸崎能地七丁目		
縮尺	図示	図面番号	4-2 / 6
三原市			

※一般図は、現地計測結果を基に作成したものである。

1号桥梁(市道幸崎62号線) 補修図(その1)

S=1:20



凡例

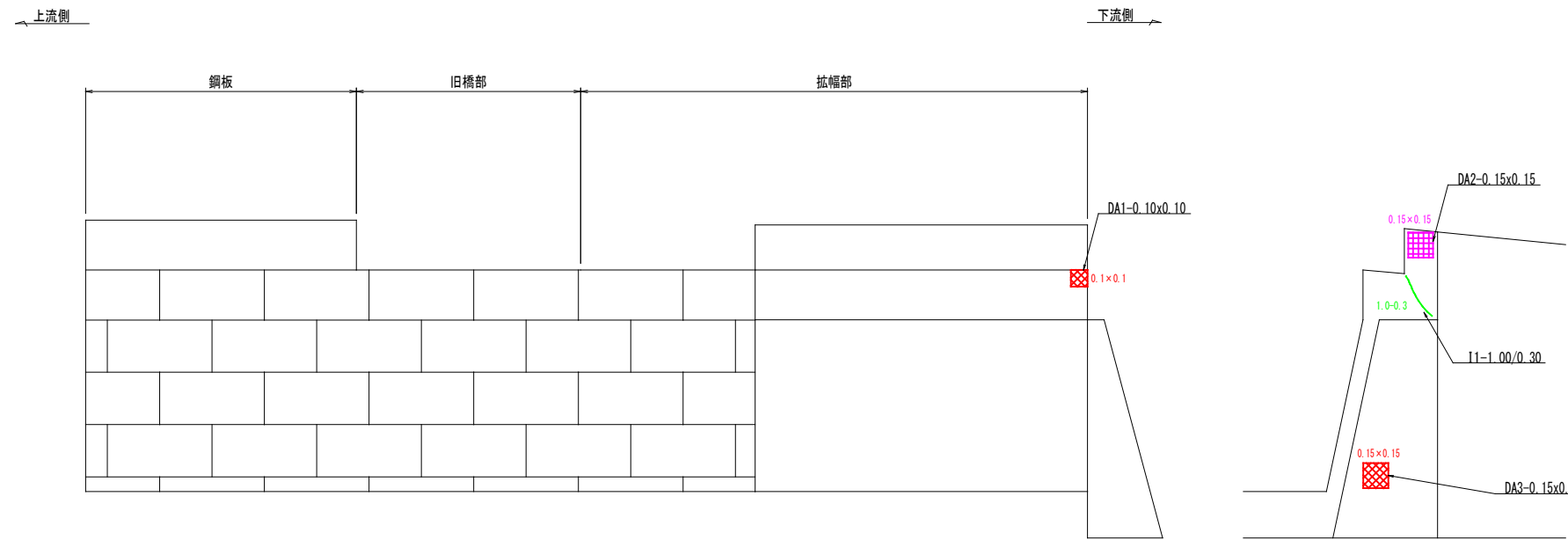
補修工法	
I	ひびわれ注入工 ($0.2mm \leq W < 1.0mm$)
D	断面修復工(左官工法)
W	水切り工
I0-0.00/0.00	補修工法 補修番号-幅/補修延長
D0-0.00x0.00	補修工法 補修番号-補修幅x補修幅
W0-0.00	補修工法 補修番号-補修延長

- ※ 本図面は、現地にて簡易な計測を行い、作成したものである。
- ※ 部材寸法は、施工前に現地に再確認のうえ、決定のこと。
- ※ 土砂堆積、植生、鳥の巣、ふん害等がある場合は、撤去を行うこと。
- ※ 取付金具やボルト等にゆるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。

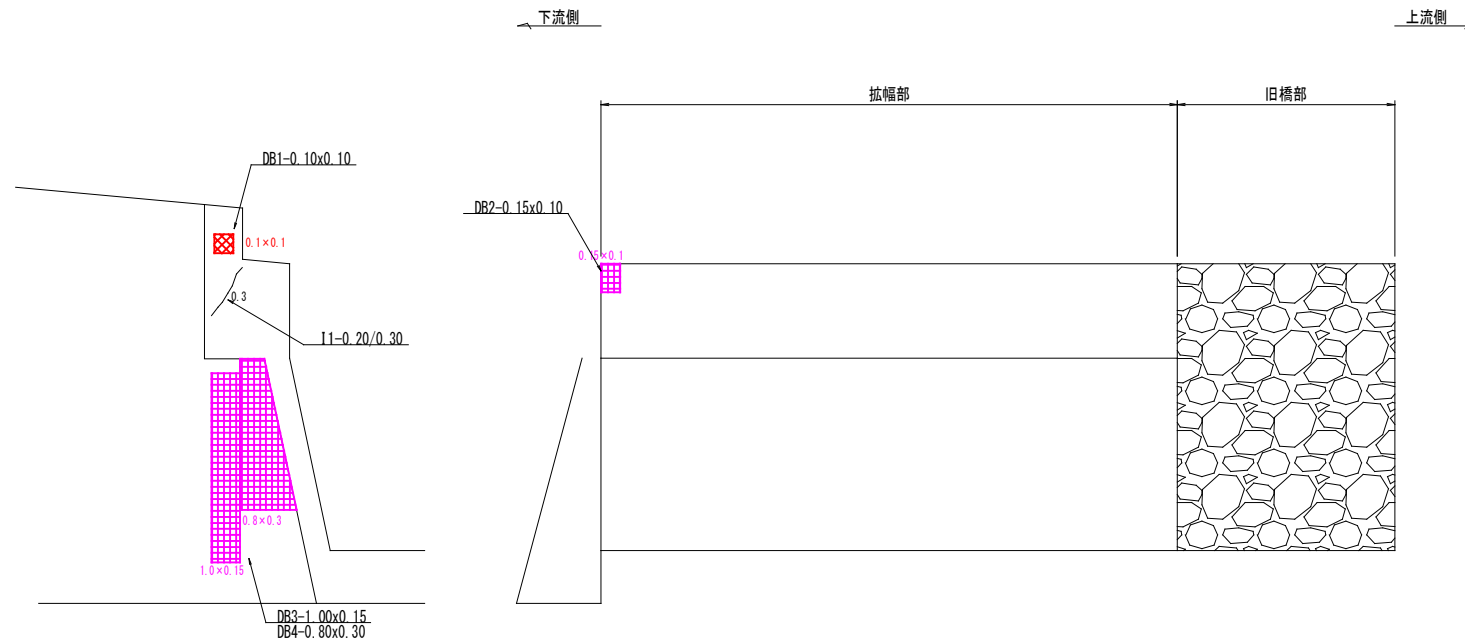
幸崎62号線1号桥梁

工事名	桥梁補修工事(市道須波西1号線1号桥梁外3橋)		
図面名	補修図その1		
場所	三原市幸崎能地七丁目		
縮尺	図示	図面番号	4-3 / 6
三原市			

A1橋台



A2橋台



凡例

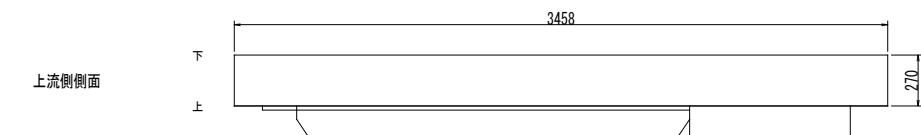
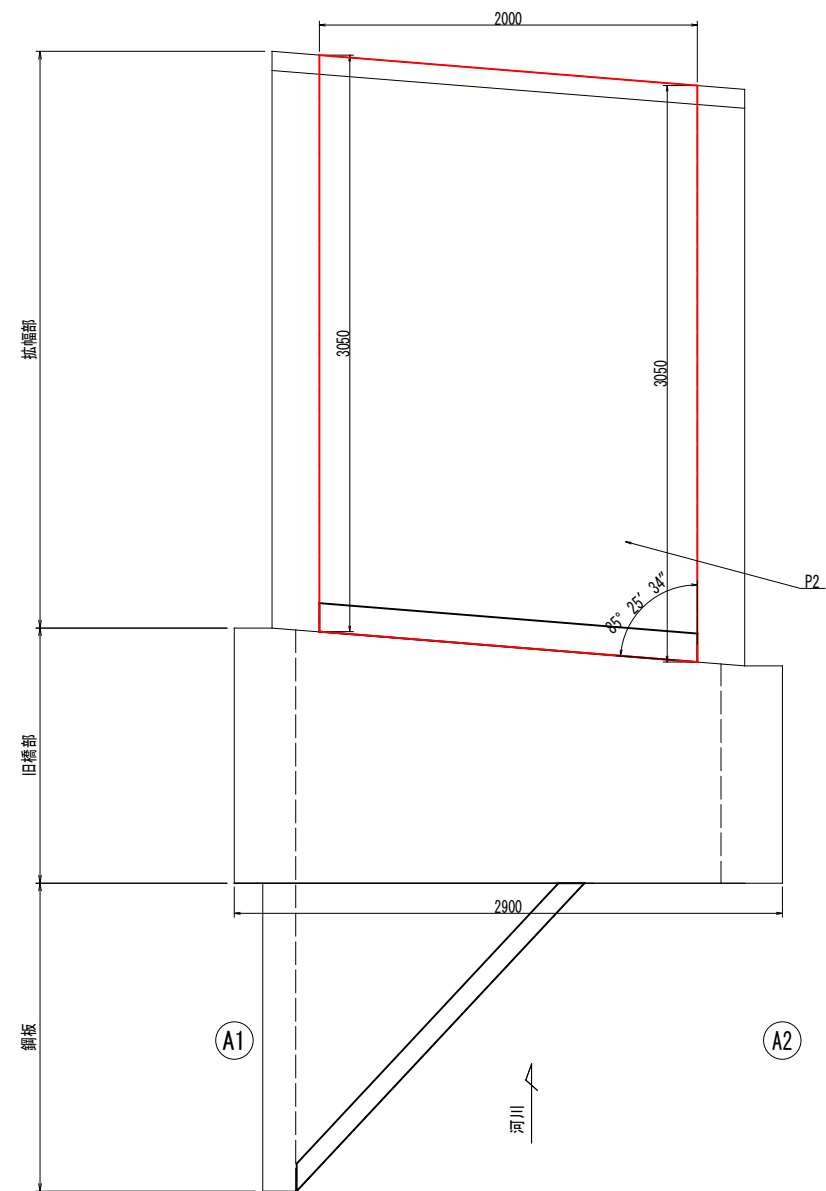
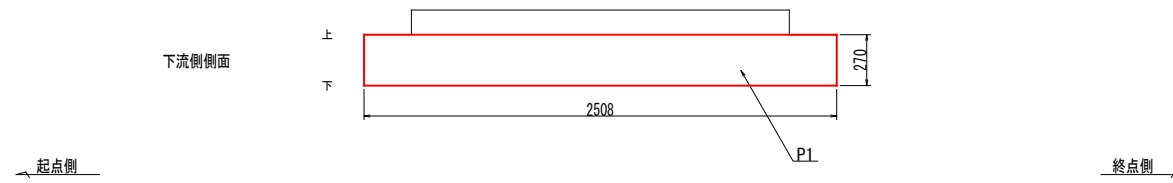
補修工法	
I	ひびわれ注入工 (0.2mm ≤ W < 1.0mm)
	ひびわれ注入工 (1.0mm ≤ W ≤ 5.0mm)
D	
断面修復工(左官工法)	
I0-0.00/0.00 補修工法 補修番号-幅/補修延長	
D0-0.00x0.00 補修工法 補修番号-補修幅x補修幅	

- ※ 本図面は、現地にて簡易な計測を行い、作成したものである。
- ※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。
- ※ 土砂堆積、植生、鳥の巣、ふん害等がある場合は、撤去を行うこと。
- ※ 取付金具やボルト等にゆるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。

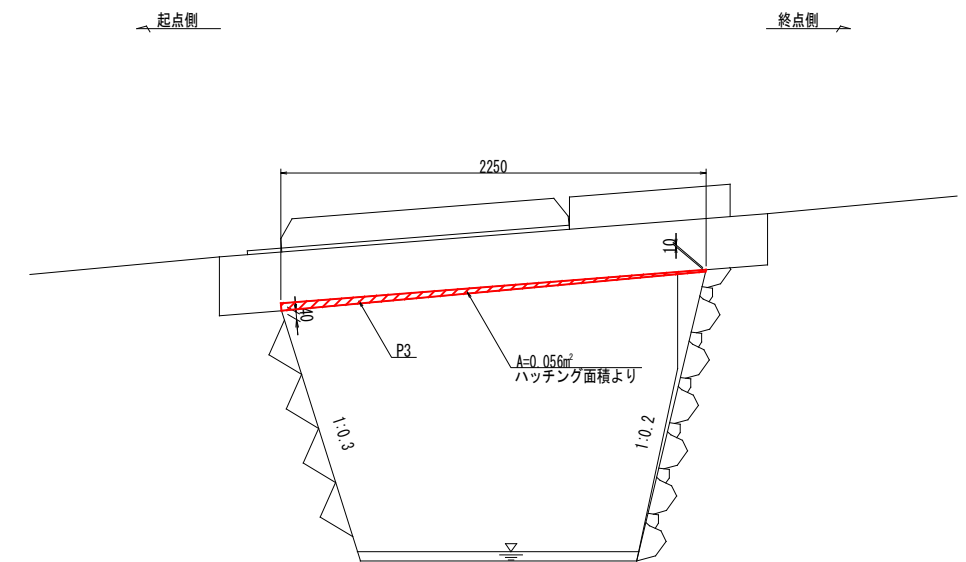
幸崎62号線1号桥梁

工事名	桥梁補修工事(市道須波西1号線1号桥梁外3橋)		
図面名	補修図その2		
場所	三原市幸崎能地七丁目		
縮尺	図示	図面番号	4-4 / 6
三原市			

桁下面



断面図
1-1



凡例

P		表面含浸工
		控除面
P0		補修工法 補修番号

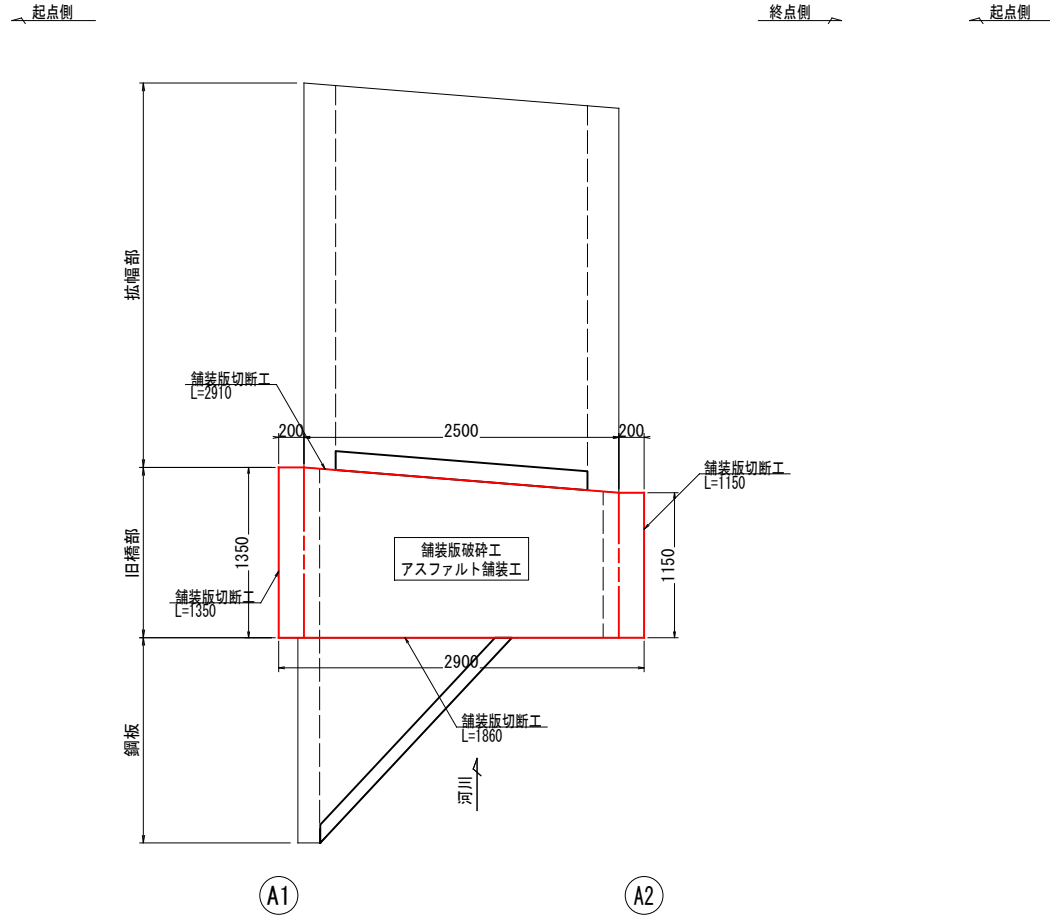
- ※ 本図面は、現地にて簡易な計測を行い、作成したものである。
- ※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。
- ※ 土砂堆積、植生、鳥の巣、ふん害等がある場合は、撤去を行うこと。
- ※ 取付金具やボルト等にゆるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。
- ※ 表面保護材はケイ酸ナトリウム系表面含浸材とする。
- ※ コンクリート表面の高圧洗浄・ケレンは十分に行うこと。
- ※ 気温0℃以下では施工しないこと。
- ※ 標準塗布量：0.25L/㎡以上とすること。
(1回目:0.15L/㎡ 2回目:0.10L/㎡)
- ※ 表面含浸材の塗布に先立って、反応促進剤を塗布すること。

幸崎62号線1号桥梁

工事名	桥梁補修工事(市道須波西1号線1号桥梁外3橋)		
図面名	補修図その3		
場所	三原市幸崎能地七丁目		
縮尺	図示	図面番号	4-5 / 6
三原市			

市道幸崎62号線1号橋梁 補修図(その4)

平面図 S=1:30
舗装撤去・復旧



舗装版切断工数量表

名称	規格	単位	数量	備考
舗装版切断工	t=50mm(想定)	m	7.270	アスファルト舗装(車道部)

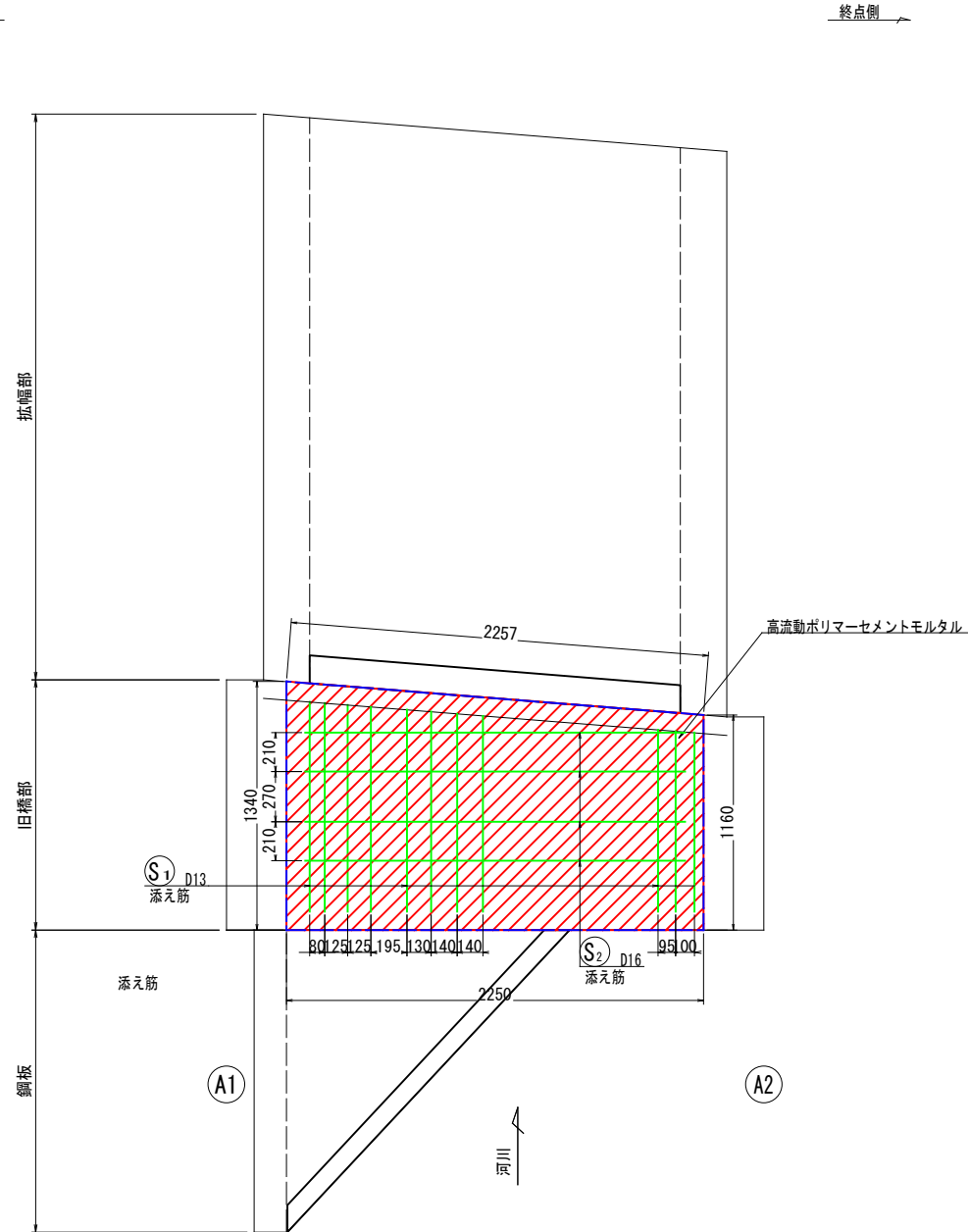
舗装版破砕工数量表

名称	規格	単位	数量	備考
舗装版破砕工	t=50mm(想定)	m ²	3.625	アスファルト舗装(車道部)
搬運搬	アスファルト塊	m ³	0.181	
処分	がれき類	m ³	0.181	

アスファルト舗装工数量表

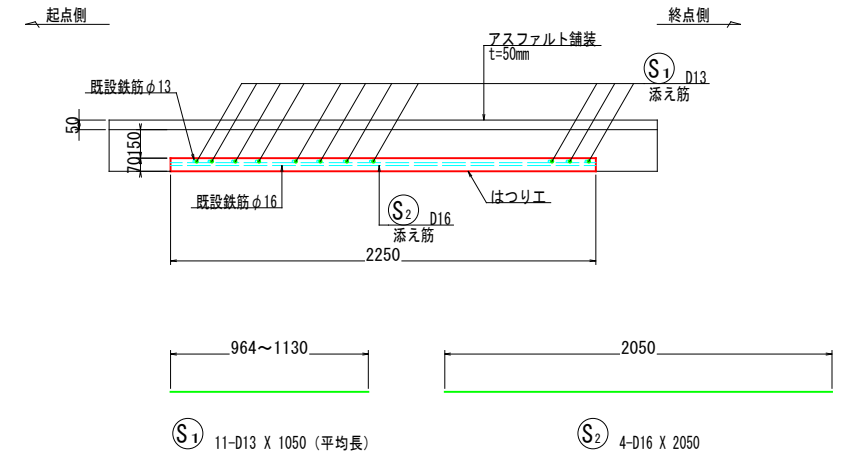
名称	規格	単位	数量	備考
表層(車道・路肩部)	密粒度As(20) タックコート t=5cm(想定)	m ²	3.625	平均幅員 1.25m

平面図 S=1:20
断面修復工(充填工法)



※ 既設床版を取壊す際は、鉄筋を切断しないよう取壊すこと。

側面図 S=1:20



鉄筋質量表

記号	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	摘要
S1	D13	1050	11	0.995	1.04	11	(平均長)
S2	D16	2050	4	1.56	3.20	13	
							24
合計				D16		13 kg	
				D13		11 kg	
総質量						24 kg	

凡例

補修工法	
	断面修復工(充填工法)

※ 本図面は、現地にて簡易な計測を行い、作成したものである。
 ※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。
 ※ 土砂堆積、植生、鳥の巣、ふん害等がある場合は、撤去を行うこと。
 ※ 取付金具やボルト等にゆるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。

幸崎62号線1号橋梁

工事名	橋梁補修工事(市道須波西1号線1号橋梁外3橋)		
図面名	補修図その4		
場所	三原市幸崎能地七丁目		
縮尺	図示	図面番号	4-6 / 6
三原市			

参 考 资 料

— 桥梁补修工事(市道须波西1号线1号桥梁外3桥) —

総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日 諸経費体系	0 59 三原市 00-04.02.01(0) 1 公共(一般)	凡例 Co … コンクリート As … アスファルト DT … ダンプトラック BH … バックホウ CC … クローラクレーン TC … トラッククレーン RTC… ラフテレーンクレーン
	当世代 41 橋梁保全工事 04 一般交通影響有り(2) 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 通常工事 0 % 00 補正無し 01 金銭的保証(0.04%)	前世代
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。		

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
橋梁保全工事 市道須波西1号線1号橋梁	1	式			Y1G03 レベル1
現場塗装工	1	式			Y1G0325 レベル2
塗膜剥離工	1	式			Y3999 レベル3
湿式塗膜剥離工	3	m2			Y4999 レベル4
塗膜剥離工	3	m2			V0003 00 単第0 -0001 表
橋梁塗装工	1	式			Y1G032501 レベル3
素地調整 3種ケレンA	3	m2			Y1G03250101 レベル4
塗替塗装 清掃・水洗い	3	m2			SDT00029 00 単第0 -0002 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
塗替塗装 素地調整	3	m2			SDT00029 00 単第0 -0003 表
塗替塗装 研削材及びケレンかす回収・積込工	3	m2			SDT00029 00 単第0 -0004 表
下塗 変性エポキシ樹脂系特殊塗料下塗	3	m2			Y1G03250102レベル4
塗替塗装 下塗り塗装	3	m2			SDT00029 00 単第0 -0005 表
中塗 弱溶剤形フッ素樹脂塗料	3	m2			Y1G03250103レベル4
塗替塗装 中塗り塗装	3	m2			SDT00029 00 単第0 -0006 表
上塗 弱溶剤形フッ素樹脂塗料	3	m2			Y1G03250104レベル4
塗替塗装 上塗り塗装	3	m2			SDT00029 00 単第0 -0007 表
橋梁補修工	1	式			Y1G0324 レベル2

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
断面修復工					Y1G032405 レベル3
	1	式			
左官工法 ポリマーセメントモルタル 鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理有					Y1G03240501 レベル4
	1	構造物			
断面修復工(左官工法) (鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含む) 修復延べ体積0.206m3					S1020041 00
	1	構造物			単第0 -0008 表
表面含浸工					Y1G032406 レベル3
	1	式			
表面含浸工 シラン系含浸材					Y1G03240601 レベル4
	8	m2			
表面含浸工					V0001 00
	8	m2			単第0 -0009 表
シラン系表面含浸材 プロテクトシルCIT相当品					F0000000013 00
	5	L			
支柱基礎対策工					Y4999 レベル4
	1	式			
支柱基礎対策工					V9001 00
	1	式			単第0 -0010 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
水切設置工					Y3999 レベル3
	1	式			
水切設置工 後付け型水切材					Y4999 レベル4
	5	m			
水切設置工 水切りアイドリップ 相当品					V0040 00
	5	m			単第0 -0013 表
構造物撤去工					Y1G0327 レベル2
	1	式			
運搬処理工					Y1G032716 レベル3
	1	式			
殻運搬 コンクリート殻					Y1G03271601 レベル4
	0.2	m3			
殻運搬 Co(無筋)構造物とりこわし DID区間有り 運搬距離10.9km以下(8.0km超)					SPK21040138 00
	0.2	m3			単第0 -0014 表
殻処分 コンクリート殻					Y1G03271602 レベル4
	0.2	m3			
【直接工事費に含まれる処分費等】					#0041

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
コンクリート殻受入費					F9001 00
	0.5	t			
運搬処理工					Y1G032716 レベル3
	1	式			
殻運搬 鉛等含有塗膜 須波西12号1号橋梁分も含む					Y1G03271601 レベル4
	1	回			
収集・運搬費					F9901 00
	1	回			
殻処分 鉛等含有塗膜 須波西12号1号橋梁分も含む					Y1G03271602 レベル4
	1	式			
【直接工事費に含まれる処分費等】					#0041
塗膜処分費 100kg未満					F9902 00
	1	式			
全工種共通仮設					Y1J01 レベル1
	1	式			
仮設工					Y1J0101 レベル2
	1	式			

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
交通管理工					Y1J010121 レベル3
	1	式			
交通誘導警備員					Y1J01012101 レベル4
	4	人			
交通誘導警備員B					R0369 00
	4	人			
** 直接工事費 ** #0020計=支給品等(材料),無償貸付					
共通仮設費率分					Z0019
計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 共通仮設費計 **					
** 純工事費 **					
現場管理費 計算情報..... 対象額..... 率.....					

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
** 工事原価 **					
一般管理費率分 計算情報..... 対象額..... 率.....					前払補正率...
契約保証費 計算情報..... 対象額..... 率.....					当初請対額 当初対象額
一般管理費計					
** 工事価格 **					
** 消費税相当額 ** 計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 工事費計 **					
** 契約保証費計 **					

施工単価表

塗膜剥離工

V0003

単第0 -0001 表

頁0 -0009

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
塗膜剥離剤塗布・塗膜除去 単独施工	1	m2			
塗膜剥離剤塗布・塗膜除去 廃材回収・積込	1	m2			
塗膜剥離剤 ネオリバー泥パックType	1.15	kg			
*** 単位当たり ***	1	m2			

1 m2 当り

施工単価表

表面含浸工

V0001

単第0 -0009 表

頁0 -0017

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.0	人			
特殊作業員	4.0	人			
普通作業員	2.0	人			
コンクリート水分計・計量器	1.0	台・日			
電動噴霧器 延長コード・取替ノズル含む	4.0	台・日			
その他資材	10	%			#01
全体割増					
*** 合計 ***	75	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			

75

m2 当り

施工単価表

鉄筋

SPK21040330

単第0 -0011 表

SD345 D13

1

t 当り

機械構成比: 0.00%

労務構成比: 77.18%

材料構成比: 22.82%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

317,350.00000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
鉄筋工	45.24%		鉄筋工		RTPC00018 RTPT00018
普通作業員	20.32%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	10.11%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
異形棒鋼<JISG3112> SD345,D13 単位質量0.995kg/m	22.82%		鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D13		TTPC00001 TTPT00001
積算単価			積算単価		EP001
A=4 SD345 D13			B=1 -(全ての費用)		

施工単価表

モルタル練
高炉

SPK21040141

単第0 -0012 表

機械構成比: 0.00% 労務構成比:

混合比1:3

材料構成比: 37.52%

市場単価構成比: 0.00%

1
標準単価:

m3 当り
37,861.00000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	62.48%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
セメント(袋) 高炉B種 25kg/袋	24.63%		セメント 高炉B 25kg袋入		TTPC00063 TTPT00063
コンクリート用砂 細目(洗い)	12.89%		砂 細目(洗い)		TTPC00066 TTPT00066
積算単価			積算単価		EP001
A=1 高炉 C=1 -(全ての費用)			B=3 混合比1:3		

施工単価表

殻運搬

SPK21040138

単第0 -0014 表

Co(無筋)構造物とりこわし

DID区間有り 運搬距離10.9km以下(8.0km超)

1

m3 当り

機械構成比: 43.38% 労務構成比:

41.88% 材料構成比: 14.74%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,871.40000

代表機劣材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機劣材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	43.38%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	41.88%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	14.74%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 Co(無筋)構造物とりこわし C=2 DID区間有り E=1 -(全ての費用)			B=1 機械積込 D=44 運搬距離10.9km以下(8.0km超)		

総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日	0 59 三原市 00-04.02.01(0)	凡例 Co … コンクリート As … アスファルト DT … ダンプトラック BH … バックホウ CC … クローラクレーン TC … トラッククレーン RTC… ラフテレーンクレーン
諸経費体系	1 公共(一般)	
	当世代 41 橋梁保全工事 04 一般交通影響有り(2) 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 通常工事 0% 00 補正無し 01 金銭的保証(0.04%)	前世代
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。		

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
橋梁保全工事 市道須波西12号線1号橋梁	1	式			Y1G03 レベル1
現場塗装工	1	式			Y1G0325 レベル2
塗膜剥離工	1	式			Y3999 レベル3
湿式塗膜剥離工	11	m2			Y4999 レベル4
塗膜剥離工	11	m2			V0003 00 単第0 -0001 表
橋梁塗装工	1	式			Y1G032501 レベル3
素地調整 3種ケレンA	11	m2			Y1G03250101 レベル4
塗替塗装 清掃・水洗い	11	m2			SDT00029 00 単第0 -0002 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
塗替塗装 素地調整	11	m2			SDT00029 00 単第0 -0003 表
塗替塗装 研削材及びケレンかす回収・積込工	11	m2			SDT00029 00 単第0 -0004 表
下塗 変性エポキシ樹脂系特殊塗料下塗	11	m2			Y1G03250102レベル4
塗替塗装 下塗り塗装	11	m2			SDT00029 00 単第0 -0005 表
中塗 弱溶剤形フッ素樹脂塗料	11	m2			Y1G03250103レベル4
塗替塗装 中塗り塗装	11	m2			SDT00029 00 単第0 -0006 表
上塗 弱溶剤形フッ素樹脂塗料	11	m2			Y1G03250104レベル4
塗替塗装 上塗り塗装	11	m2			SDT00029 00 単第0 -0007 表
橋梁補修工	1	式			Y1G0324 レベル2

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
断面修復工					Y1G032405 レベル3
	1	式			
左官工法 亜硝酸リチウム水溶液混入ポリマーセメント 鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理有					Y1G03240501 レベル4
	1	構造物			
断面修復工(左官工法) (鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含む) 修復延べ体積0.13m3					V1020041 00
	1	構造物			単第0 -0008 表
表面含浸工					Y1G032406 レベル3
	1	式			
表面含浸工 シラン系含浸材					Y1G03240601 レベル4
	15	m2			
表面含浸工					V0001 00
	15	m2			単第0 -0009 表
シラン系表面含浸材 プロテクトシルCIT相当品					F0000000013 00
	10	L			
水切設置工					Y3999 レベル3
	1	式			
水切設置工 後付け型水切材					Y4999 レベル4
	8	m			

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
水切設置工 水切りアイドリップ 相当品	8	m			V0040 00 単第0 -0010 表
橋梁付属物工	1	式			Y1G0321 レベル2
伸縮目地工	1	式			Y1G032101 レベル3
止水対策工 クラック抑制	12.5	m			Y1G03210101 レベル4
止水対策工 路面目地部	2.9	m			V0010 00 単第0 -0011 表
止水対策工 伸縮目地部	9.6	m			V0011 00 単第0 -0012 表
構造物撤去工	1	式			Y1G0327 レベル2
運搬処理工	1	式			Y1G032716 レベル3
殻運搬 コンクリート殻	0.1	m3			Y1G03271601 レベル4

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
殻運搬 Co(無筋)構造物とりこわし DID区間有り 運搬距離10.9km以下(8.0km超)	0.1	m3			SPK21040138 00 単第0 -0013 表
殻処分 コンクリート殻	0.1	m3			Y1G03271602レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】					#0041
コンクリート殻受入費	0.3	t			F9001 00
全工種共通仮設	1	式			Y1J01 レベル1
仮設工	1	式			Y1J0101 レベル2
交通管理工	1	式			Y1J010121 レベル3
交通誘導警備員	1	式			Y1J01012101 レベル4
交通誘導警備員B	6	人			R0369 00
	6	人			

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
** 直接工事費 ** #0020計=支給品等(材料),無償貸付					
共通仮設費率分					Z0019
計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 共通仮設費計 **					
** 純工事費 **					
現場管理費 計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 工事原価 **					
一般管理費率分 計算情報..... 対象額..... 率.....					前払補正率...
契約保証費 計算情報..... 対象額..... 率.....					当初請対額 当初対象額

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
一般管理費計					
工事価格					
消費税相当額 計算情報..... 対象額..... 率.....					
工事費計					
契約保証費計					

施工単価表

塗膜剥離工

V0003

単第0 -0001 表

頁0 -0009

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
塗膜剥離剤塗布・塗膜除去 単独施工	1	m2			
塗膜剥離剤塗布・塗膜除去 廃材回収・積込	1	m2			
塗膜剥離剤 ネオリバー泥パックType	1.15	kg			
*** 単位当たり ***	1	m2			

1 m2 当り

施工単価表

表面含浸工

V0001

単第0 -0009 表

頁0 -0017

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.0	人			
特殊作業員	4.0	人			
普通作業員	2.0	人			
コンクリート水分計・計量器	1.0	台・日			
電動噴霧器 延長コード・取替ノズル含む	4.0	台・日			
その他資材	10	%			#01
全体割増					
*** 合計 ***	75	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			

75

m2 当り

施工単価表

止水対策工
路面目地部

V0010

単第0 -0011 表

10 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
舗装用補修材 ファルコンHR 相当品	373	kg			
下地処理用接着剤 ファルコンゾール 相当品	1.7	kg			
土木一般世話役	1.0	人			
特殊作業員	3.0	人			
普通作業員	3.0	人			
機械損料 FCクッカー含む	1	式			
諸雑費	10	%			#01
*** 合計 ***	10	m			
*** 単位当たり ***	1	m			

施工単価表

止水対策工
伸縮目地部

V0011

単第0 -0012 表

10 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
舗装用補修材 ファルコンHR 相当品	373	kg			
下地処理用接着剤 ファルコンゾール 相当品	1.7	kg			
高機能止水材 30mm用 プライマー材含む	10.0	m			
土木一般世話役	1.0	人			
特殊作業員	3.0	人			
普通作業員	3.0	人			
機械損料 FCクッカー含む	1	式			
諸雑費	10	%			#01
*** 合計 ***	10	m			
*** 単位当たり ***	1	m			

施工単価表

殻運搬

SPK21040138

単第0 -0013 表

Co(無筋)構造物とりこわし

DID区間有り 運搬距離10.9km以下(8.0km超)

1

m3 当り

機械構成比: 43.38% 労務構成比:

41.88% 材料構成比: 14.74% 市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,871.40000

代表機劣材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機劣材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	43.38%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	41.88%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	14.74%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 Co(無筋)構造物とりこわし C=2 DID区間有り E=1 -(全ての費用)			B=1 機械積込 D=44 運搬距離10.9km以下(8.0km超)		

総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日	0 59 三原市 00-04.02.01(0)	凡例 Co … コンクリート As … アスファルト DT … ダンプトラック BH … バックホウ CC … クローラクレーン TC … トラッククレーン RTC… ラフテレーンクレーン
諸経費体系	1 公共(一般)	
	当世代 41 橋梁保全工事 04 一般交通影響有り(2) 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 通常工事 0% 00 補正無し 01 金銭的保証(0.04%)	前世代
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。		

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
橋梁保全工事 市道八幡町31号線2号橋梁	1	式			Y1G03 レベル1
橋梁補修工	1	式			Y1G0324 レベル2
断面修復工	1	式			Y1G032405 レベル3
左官工法 ポリマーセメントモルタル 鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理有	1	構造物			Y1G03240501 レベル4
断面修復工(左官工法) (鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含む) 修復延べ体積0.727m3	1	構造物			S1020041 00 単第0 -0001 表
表面含浸工	1	式			Y1G032406 レベル3
下地処理工 高压洗浄	17	m2			Y1G03240601 レベル4
下地処理工 高压洗浄	17	m2			V0001 00 単第0 -0002 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
表面含浸工 ケイ酸塩系含浸材	17	m2			Y1G03240601 レベル4
表面含浸工 ケイ酸塩系ナトリウム無機コロイドゾル	17	m2			V0002 00 単第0 -0003 表
表面含浸工 カルシウム付加, 反応促進剤	17	m2			V0003 00 単第0 -0004 表
水切設置工	1	式			Y3999 レベル3
水切設置工 後付け型水切材	21	m			Y4999 レベル4
水切設置工 水切りアイドリップ 相当品	21	m			V0040 00 単第0 -0005 表
構造物撤去工	1	式			Y1G0327 レベル2
運搬処理工	1	式			Y1G032716 レベル3
殻運搬 コンクリート殻	0.7	m3			Y1G03271601 レベル4

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
殻運搬 Co(無筋)構造物とりこわし DID区間無し 運搬距離14.4km以下(10.9km超)	0.7	m3			SPK21040138 00 単第0 -0006 表
殻処分 コンクリート殻	0.7	m3			Y1G03271602レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】					#0041
コンクリート殻受入費	2	t			F9001 00
全工種共通仮設	1	式			Y1J01 レベル1
仮設工	1	式			Y1J0101 レベル2
交通管理工	1	式			Y1J010121 レベル3
交通誘導警備員	11	人			Y1J01012101 レベル4
交通誘導警備員B	11	人			R0369 00

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
** 直接工事費 ** #0020計=支給品等(材料),無償貸付					
共通仮設費率分					Z0019
計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 共通仮設費計 **					
** 純工事費 **					
現場管理費 計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 工事原価 **					
一般管理費率分 計算情報..... 対象額..... 率.....					前払補正率...
契約保証費 計算情報..... 対象額..... 率.....					当初請対額 当初対象額

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
一般管理費計					
工事価格					
消費税相当額 計算情報..... 対象額..... 率.....					
工事費計					
契約保証費計					

施工単価表

表面含浸工

V0002

単第0 -0003 表

ケイ酸塩系ナトリウム無機コロイドゾル

30

m2 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.5	人			
特殊作業員	1.0	人			
普通作業員	1.0	人			
ケイ酸塩ナトリウム系含浸材 スーパーシールド 同等品	8.6	L			
機械賃料 薬剤噴霧器, 給水タンク外	1	式			
諸雑費	5	%			#01
*** 合計 ***	30	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			

施工単価表

表面含浸工
カルシウム付加, 反応促進剤

V0003

単第0 -0004 表

30

m2 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.5	人			
特殊作業員	1.0	人			
普通作業員	1.0	人			
カルシウム付加, 反応促進剤 ストレンクス溶液 同等品	8.6	L			
機械賃料 薬剤噴霧器, 給水タンク外	1	式			
諸雑費	5	%			#01
*** 合計 ***	30	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			

施工単価表

殻運搬

SPK21040138

単第0 -0006 表

Co(無筋)構造物とりこわし

DID区間無し 運搬距離14.4km以下(10.9km超)

1

m3 当り

機械構成比: 43.38% 労務構成比:

41.88% 材料構成比: 14.74% 市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,919.40000

代表機劣材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機劣材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	43.38%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	41.88%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	14.74%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 Co(無筋)構造物とりこわし C=1 DID区間無し E=1 -(全ての費用)			B=1 機械積込 D=50 運搬距離14.4km以下(10.9km超)		

総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日	0 59 三原市 00-04.02.01(0)	凡例 Co … コンクリート As … アスファルト DT … ダンプトラック BH … バックホウ CC … クローラクレーン TC … トラッククレーン RTC… ラフテレーンクレーン
諸経費体系	1 公共(一般)	
	当世代 41 橋梁保全工事 04 一般交通影響有り(2) 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 通常工事 0% 00 補正無し 01 金銭的保証(0.04%)	前世代
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。		

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
橋梁保全工事 市道幸崎62号線1号橋梁	1	式			Y1G03 レベル1
橋梁補修工	1	式			Y1G0324 レベル2
ひび割れ補修工	1	式			Y1G032404 レベル3
低圧注入工法 無機系	1	式			Y1G03240402 レベル4
ひび割れ補修工(低圧注入工法) 補修延べ延長25m未満の場合	1	式			S1020035 00 単第0 -0001 表
断面修復工	1	式			Y1G032405 レベル3
左官工法 ポリマーセメントモルタル 鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理有	1	式			Y1G03240501 レベル4
断面修復工(左官工法) (鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含む) 修復延べ体積0.147m3	1	式			S1020041 00 単第0 -0002 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
左官工法 高流動ポリマーセメントモルタル 鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理有	1	構造物			Y1G03240501 レベル4
断面修復工 グラウト充填工法 V=0.20m3	1	構造物			V0009 00 単第0 -0003 表
鉄筋 SD345 D13	0.01	t			SPK21040330 00 単第0 -0009 表
鉄筋 SD345 D16 ~ D25	0.01	t			SPK21040330 00 単第0 -0010 表
鉄筋探査工 下向き	1	m2			V0050 00 単第0 -0011 表
コンクリート削孔(コンクリート穿孔機) 削孔径100mm以上110mm未満 削孔深さ50mm以上200mm未満	4	孔			SPK21040108 00 単第0 -0012 表
支保 支保耐力 40kN/m2以下	4	空m3			Y1G03150407 レベル4
パイプサポート支保(小規模) 支保耐力 40kN/m2以下 総設置数量40空m3以下	4	空m3			S1050025 00 単第0 -0013 表
表面含浸工	1	式			Y1G032406 レベル3

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
下地処理工 高圧洗浄	7	m2			Y1G03240601 レベル4
下地処理工 高圧洗浄	7	m2			V0001 00 単第0 -0014 表
表面含浸工 ケイ酸塩系含浸材	7	m2			Y1G03240601 レベル4
表面含浸工 ケイ酸塩系ナトリウム無機コロイドゾル	7	m2			V0002 00 単第0 -0015 表
表面含浸工 カルシウム付加，反応促進剤	7	m2			V0003 00 単第0 -0016 表
水切設置工	1	式			Y3999 レベル3
水切設置工 後付け型水切材	2	m			Y4999 レベル4
水切設置工 水切りアイドリップ 相当品	2	m			V0040 00 単第0 -0017 表
アスファルト舗装工	1	式			Y1E020404 レベル3

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
表層(車道・路肩部) RA(20)	4	m2			Y1E02040409レベル4
表層(車道・路肩部) 平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) 1層当り平均仕上厚50mm	4	m2			SPK21040234 00 単第0 -0018 表
構造物撤去工	1	式			Y1G0327 レベル2
構造物取壊し工	1	式			Y1G032706 レベル3
舗装版切断 アスファルト舗装版	7	m			Y1G03270602レベル4
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	7	m			SPK21040302 00 単第0 -0019 表
舗装版破碎 アスファルト舗装版	4	m2			Y1G03270603レベル4
舗装版破碎積込(小規模土工)	4	m2			SPK21040018 00 単第0 -0020 表
運搬処理工	1	式			Y1G032716 レベル3

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
殻運搬 アスファルト殻	0.2	m3			Y1G03271601レベル4
殻運搬 舗装版破碎 DID区間無し 運搬距離2.5km以下(1.5km超)	0.2	m3			SPK21040138 00 単第0 -0021 表
殻処分 アスファルト殻	0.2	m3			Y1G03271602レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】					#0041
アスファルト殻受入費	0.4	t			F9001 00
殻運搬 コンクリート殻	0.3	m3			Y1G03271601レベル4
殻運搬 Co(無筋)構造物とりこわし DID区間無し 運搬距離3.3km以下(1.6km超)	0.3	m3			SPK21040138 00 単第0 -0022 表
殻処分 コンクリート殻	0.3	m3			Y1G03271602レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】					#0041

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
コンクリート殻受入費					F9002 00
	0.8	t			
全工種共通仮設					Y1J01 レベル1
	1	式			
仮設工					Y1J0101 レベル2
	1	式			
交通管理工					Y1J010121 レベル3
	1	式			
交通誘導警備員					Y1J01012101 レベル4
	6	人			
交通誘導警備員B					R0369 00
	6	人			
** 直接工事費 ** #0020計=支給品等(材料),無償貸付					
共通仮設費率分					Z0019
計算情報..... 対象額..... 率.....					

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
** 共通仮設費計 **					
** 純工事費 **					
現場管理費 計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 工事原価 **					
一般管理費率分 計算情報..... 対象額..... 率.....					前払補正率...
契約保証費 計算情報..... 対象額..... 率.....					当初請対額 当初対象額
一般管理費計					
** 工事価格 **					
** 消費税相当額 ** 計算情報..... 対象額..... 率.....					

施工単価表

ひび割れ補修工(低圧注入工法)
補修延べ延長25m未満の場合

S1020035

単第0 -0001 表

1

構造物 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.500	人			
特殊作業員	2.400	人			
普通作業員	1.800	人			
超微粒子セメント系注入材 アーマ#600 相当	0.160	kg			
可とう性エポキシシール材 E380F 相当	0.836	kg			
低圧注入器具 無機系用 5回転用	11.000	本			
諸雑費	6	%			#09
*** 単位当たり ***	1	構造物			
A=1 【F】注入材(kg) C=2 【F】シール材(kg) E=3 【F】低圧注入器具(個)			B=0.16 D=0.61 F=11	注入材の必要数量(kg/構造物) シール材の設計数量(kg/構造物) 低圧注入器具の必要数量(個/構造物)	

施工単価表

鉄筋ケレン工

V0011

単第0 -0005 表

頁0 -0014

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.0	人			
特殊作業員	2.0	人			
普通作業員	2.0	人			
ディスクサンダー	2.0	台			
発電機 2KVA	1.0	台			
燃料費等	5	%			#02
諸雑費	5	%			#01
*** 合計 ***	15	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			

15

m2 当り

施工単価表

鉄筋防錆材塗布工

V0012

単第0 -0006 表

頁0 -0015

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.0	人			
特殊作業員	2.0	人			
普通作業員	2.0	人			
亜硝酸塩系鉄筋防錆材 RPコート 相当品	1	セット			
諸雑費	5	%			#01
*** 合計 ***	25	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			

25 m2 当り

施工単価表

グラウト充填工

V0013

単第0 -0007 表

頁0 -0016

0.4 m3 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.0	人			
特殊作業員	2.0	人			
普通作業員	2.0	人			
高流動ポリマーセメントモルタル マスターエマコS300 相当品	936.0	kg			
プライマー GPプライム 相当品	0.3	kg			
発電機 2KVA	1.0	台			
モルタルミキサー 200V	1.0	台			
モルタルポンプ	1.0	台			
燃料費等	10	%			#02
諸雑費	5	%			#01
*** 合計 ***	0.4	m3			
*** 単位当たり ***	1	m3			

施工単価表

型枠設置工

V0014

単第0 -0008 表

頁0 -0017

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.0	人			
特殊作業員	1.0	人			
普通作業員	1.0	人			
型わく工	4.0	人			
型枠	20	m2			
目地材 エポキシ樹脂	4.0	セット			
諸雑費	5	%			#01
*** 合計 ***	20	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			

20 m2 当り

施工単価表

鉄筋

SPK21040330

単第0 -0009 表

SD345 D13

1

t 当り

機械構成比: 0.00% 労務構成比: 77.18% 材料構成比: 22.82% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 317,350.00000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
鉄筋工	45.24%		鉄筋工		RTPC00018 RTPT00018
普通作業員	20.32%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	10.11%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
異形棒鋼<JISG3112> SD345,D13 単位質量0.995kg/m	22.82%		鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D13		TTPC00001 TTPT00001
積算単価			積算単価		EP001
A=4 SD345 D13			B=1 -(全ての費用)		

施工単価表

鉄筋
SD345 D16 ~ D25

SPK21040330

単第0 -0010 表

1 t 当り
標準単価: 317,350.00000

機械構成比: 0.00% 労務構成比: 77.18% 材料構成比: 22.82% 市場単価構成比: 0.00%

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
鉄筋工	45.24%		鉄筋工		RTPC00018 RTPT00018
普通作業員	20.32%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	10.11%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
異形棒鋼<JISG3112> SD345, D16 ~ 25	22.82%		鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D13		TTPCD0072 TTPT00001
積算単価			積算単価		EP001
A=5 SD345 D16 ~ D25			B=1 -(全ての費用)		

施工単価表

頁0 -0021

コンクリート削孔(コンクリート穿孔機)

SPK21040108

単第0 -0012 表

削孔径100mm以上110mm未満

削孔深さ50mm以上200mm未満

1

孔 当り

機械構成比: 3.01% 労務構成比:

61.13%

材料構成比: 35.86%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

5,688.70000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリート穿孔機 電動式コアボーリングマシン 簡易仕様型最大穿孔径 25cm	1.54%		コンクリート穿孔機 電動式コアボーリングマシン 簡易仕様型最大穿孔径 25cm		MTPC00093 MTPT00093
<賃>発動発電機(ガソリン発電機) 定格容量3kVA 低騒音	0.91%		<賃>発動発電機(ガソリン発電機) 定格容量3kVA 低騒音		KTPC00042 KTPT00042
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	35.50%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	9.44%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	4.77%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
ダイヤモンドビット 外径110.0mm, 一般用 コンクリート削孔用	33.19%		ダイヤモンドビット 110mm		TTPC00235 TTPT00235
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	2.17%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014

施工単価表

表面含浸工

V0002

単第0 -0015 表

ケイ酸塩系ナトリウム無機コロイドゾル

30

m2 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.5	人			
特殊作業員	1.0	人			
普通作業員	1.0	人			
ケイ酸塩ナトリウム系含浸材 スーパーシールド 同等品	8.6	L			
機械賃料 薬剤噴霧器, 給水タンク外	1	式			
諸雑費	5	%			#01
*** 合計 ***	30	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			

施工単価表

表面含浸工
カルシウム付加, 反応促進剤

V0003

単第0 -0016 表

30

m2 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.5	人			
特殊作業員	1.0	人			
普通作業員	1.0	人			
カルシウム付加, 反応促進剤 ストレンクス溶液 同等品	8.6	L			
機械賃料 薬剤噴霧器, 給水タンク外	1	式			
諸雑費	5	%			#01
*** 合計 ***	30	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			

施工単価表

頁0 -0028

表層(車道・路肩部)

SPK21040234

単第0 -0018 表

平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)

1層当り平均仕上厚50mm

1

m2 当り

機械構成比: 0.53% 労務構成比:

46.00%

材料構成比: 53.47%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

2,376.70000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5~0.6t	0.30%		振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5~0.6t		MTPC00047 MTPT00047
振動コンパクト 前進型 運転質量40~60kg	0.16%		振動コンパクト 前進型 運転質量40~60kg		MTPC00049 MTPT00049
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	20.70%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	14.47%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	4.15%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生加熱アスファルト混合物 再生密粒度(20)	51.64%		密粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚50mm		TTPCD0038 TTPT00284
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-4タックコート用	1.65%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-4タックコート用		TTPC00027 TTPT00027

施工単価表

表層(車道・路肩部)

SPK21040234

単第0 -0018 表

平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)

1層当り平均仕上厚50mm

1

m2 当り

機械構成比: 0.53% 労務構成比:

46.00%

材料構成比: 53.47%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

2,376.70000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	0.13%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	0.03%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=1 平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) C=6 再生密粒度アスファルト混合物(20) G=1 - I=1 -(全ての費用)			B=50 1層当り平均仕上り厚(mm) E=1 PK-4 H=1 -		
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):50.000(mm)					

施工単価表

頁0 -0030

舗装版切断

SPK21040302

単第0 -0019 表

アスファルト舗装版

アスファルト舗装版厚15cm以下

1

m 当り

機械構成比: 6.24%

労務構成比:

54.57%

材料構成比: 39.19%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

562.41000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリートカッタ バキューム式・湿式 切削深20cm級ブレード径 56cm	4.22%		コンクリートカッタ バキューム式・湿式 切削深20cm級ブレード径 56cm		MTPC00056 MTPT00056
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	19.07%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	9.53%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員	8.29%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
コンクリートカッタブレード 自走式切断機用 径56cm(22インチ)	36.35%		コンクリートカッタブレード 自走式切断機用 径56cm(22インチ)		TTPC00015 TTPT00015
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	1.92%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

舗装版破碎積込(小規模土工)

SPK21040018

単第0 -0020 表

機械構成比: 23.01% 労務構成比: 69.05% 材料構成比: 7.94% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 1,524.60000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
小型バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.13/平積0.10m3	23.01%		小型バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.13/平積0.10m3		MTPC00077 MTPT00077
運転手(特殊)	69.05%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	7.94%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 -(全ての費用)					

施工単価表

殻運搬

舗装版破碎

機械構成比: 19.75% 労務構成比: 70.85%

SPK21040138

DID区間無し 運搬距離2.5km以下(1.5km超)

材料構成比: 9.40%

単第0 -0021 表

1

m3 当り

標準単価:

2,582.00000

代表機劣材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機劣材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	19.75%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00016T1 MTPT00016T1
運転手(一般)	70.85%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	9.40%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=3 舗装版破碎 C=1 DID区間無し E=1 -(全ての費用)			B=4 機械積込(小規模土工) D=10 運搬距離2.5km以下(1.5km超)		

施工単価表

殻運搬

SPK21040138

単第0 -0022 表

Co(無筋)構造物とりこわし

DID区間無し 運搬距離3.3km以下(1.6km超)

1

m3 当り

機械構成比: 43.38% 労務構成比:

41.88% 材料構成比: 14.74%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,007.70000

代表機劣材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機劣材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	43.38%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	41.88%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	14.74%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 Co(無筋)構造物とりこわし C=1 DID区間無し E=1 -(全ての費用)			B=1 機械積込 D=14 運搬距離3.3km以下(1.6km超)		

鋼床版塗装塗替工

1. 塗装塗替工 (図面参照)

(1) はくり剤工 (ネオリバー泥パック橋梁用TypeⅡ相当品)

$$A = 2.810 \qquad 2.810 \text{ m}^2$$

(2) 素地調整3種

$$A = 2.810 \qquad 2.810 \text{ m}^2$$

(3) 塗装塗替え工

$$A = 2.810 \qquad 2.810 \text{ m}^2$$

床版断面修復工

1. 断面修復工

(1) はつり殻

$$V = 0.157 + 0.026 + 0.023 = 0.206 \text{ m}^3$$

$$W = 0.206 \times 2.4 = 0.494 \text{ t}$$

(2) 断面修復工

$$V = 0.157 + 0.026 + 0.023 = 0.206 \text{ m}^3$$

2. 表面被覆工 (図面参照)

(1) 表面含浸工

$$A1 = 2.450 \times 3.100 = 7.595 \text{ m}^2$$

3. 水切対策工 (図面参照)

(1) 下地処理

$$A = 2.500 \times 0.025 \times 2 = 0.125 \text{ m}^2$$

(2) 水切設置工

$$L = 2.500 \times 2 = 5.000 \text{ m}$$

ガードパイプ

1. 支柱基礎対策工

(1) 補強鉄筋

$$W = 1.180 \times 4 \times 0.995 = 4.7 \text{ kg}$$

(2) モルタル充填工

$$V = 0.400 \times 0.400 \times 0.300 = 0.048 \text{ m}^3$$

断面修復工計算書

工種	剥離・鉄筋露出		うき		ジャンカ(豆板)		
	幅 × 長さ =	面積	幅 × 長さ =	面積	幅 × 長さ =	面積	
断面修復工	①	0.30 × 1.30 = 0.390	1)	0.50 × 0.80 = 0.400	(1)	0.50 × 0.70 = 0.350	
	②	0.15 × 0.20 = 0.030					
	③	0.15 × 0.25 = 0.038					
	④	0.15 × 1.40 = 0.210					
	⑤	0.15 × 0.30 = 0.045					
	⑥	0.15 × 0.30 = 0.045					
	⑦	0.15 × 0.80 = 0.120					
	⑧	0.70 × 2.20 = 1.540					
	合計(m2)	面積	2.418		0.400		0.350
	合計(m3)	はつり工	0.157		0.026		0.023
	合計(m3)	断面修復工	0.157		0.026		0.023

注記) 剥離・鉄筋露出部, うき部, 豆板部のはつり厚、断面修復厚は、 0.065 mとする。

鋼床版・地覆

1. 塗装塗替工 (図面参照)

1) 床版上面

$$A = 2.070 = 2.070 \text{ m}^2$$

2) 床版下面

$$A = 1.760 = 1.760 \text{ m}^2$$

3) 地覆工(I形鋼)

$$A = (0.150 \times 2 + 0.075 \times 3 - 0.0055 \times 2) \times 2.6 = 1.336 \text{ m}^2$$

4) 主材(H形鋼)

$$A = (0.150 \times 5 - 0.007 \times 2) \times (2.450 + 1.150) = 2.650 \text{ m}^2$$

5) 端部材(等辺山形鋼)

$$A = (0.100 \times 3) \times (1.050 + 0.950) = 0.600 \text{ m}^2$$

6) 横部材(溝形鋼)

$$A = (0.125 \times 2 + 0.065 \times 3 - 0.006 \times 2) \times 0.750 \times 2 = 0.650 \text{ m}^2$$

7) 合計

$$A = 9.066 \times 1.25 = 11.333 \text{ m}^2$$

(1) はくり剤工 (ネオリバー泥パック橋梁用Type II 相当品)

$$A = 11.333 = 11.33 \text{ m}^2$$

(2) 素地調整3種

$$A = 11.333 = 11.33 \text{ m}^2$$

(3) 塗装塗替え工

$$A = 11.333 = 11.33 \text{ m}^2$$

床版

1. 断面修復工 (断面修復工計算書参照)

(1) はつり殻

$$V = 0.103 + 0.027 = 0.130 \text{ m}^3$$

$$W = 0.130 \times 2.4 = 0.312 \text{ t}$$

(2) 断面修復工

$$V = 0.103 + 0.027 = 0.130 \text{ m}^3$$

2. 表面被覆工 (図面参照)

(1) 表面含浸工

$$A = 15.272 = 15.27 \text{ m}^2$$

3. 水切対策工 (図面参照)

(1) 下地処理

$$A = (4.200 + 3.400) \times 0.025 = 0.2 \text{ m}^2$$

(2) 水切設置工

$$L = 4.200 + 3.400 = 7.6 \text{ m}$$

断面修復工計算書

工種	剥離・鉄筋露出		うき		ジャンカ(豆板)		
	幅 × 長さ =	面積	幅 × 長さ =	面積	幅 × 長さ =	面積	
断面修復工	1) 0.30 × 1.30 =	0.390	① 0.10 × 0.15 =	0.015			
	2) 0.30 × 1.50 =	0.450	② 0.50 × 0.80 =	0.400			
	3) 0.20 × 1.15 =	0.230					
	4) 0.30 × 0.40 =	0.120					
	5) 0.20 × 0.80 =	0.160					
	6) 0.20 × 1.15 =	0.230					
	合計(m2)	面積	1.580		0.415		
	合計(m3)	はつり工	0.103		0.027		
	合計(m3)	断面修復工	0.103		0.027		

注記) 剥離・鉄筋露出部, うき部のはつり厚、断面修復厚は、 0.065 mとする。

伸縮目地・路面

1. 止水対策工

1) 伸縮目地部

$$L = 3.750 + 5.800 = 9.55 \text{ m}$$

2) 路面目地部

$$L = 2.900 = 2.90 \text{ m}$$

(1) カッター工

$$L = (3.750 + 5.800 + 2.900) \times 2 + 0.304 \times 3 \times 2 = 26.7 \text{ m}$$

(2) 舗装はつり工

$$V = (3.750 + 5.800 + 2.900) \times 0.300 \times 0.050 = 0.2 \text{ m}^3$$

$$W = 0.200 \times 2.3 = 0.5 \text{ t}$$

(3) 止水目地処理工

$$L = 9.550 = 9.6 \text{ m}$$

(4) 弾性材充填工

$$V = 12.450 \times 0.300 \times 0.050 = 0.2 \text{ m}^3$$

床版

1. 断面修復工 (断面修復工計算書参照)

(1) はつり殻

$$V = 0.720 + 0.007 = 0.727 \text{ m}^3$$

$$W = 0.727 \times 2.35 = 1.708 \text{ t}$$

(2) 断面修復工

$$V = 0.720 + 0.007 = 0.727 \text{ m}^3$$

2. 表面被覆工 (図面参照)

(1) 表面含浸工

$$A1 = 3.950 \times 4.300 \text{ (ストレンクス剤同等品)} = 16.99 \text{ m}^2$$

$$A2 = 3.950 \times 4.300 \text{ (ケイ酸ナトリウム系表面含浸材)} = 16.99 \text{ m}^2$$

(2) テスター設置

$$N = 16.990 \div 20 \text{ m}^2/\text{組} = 1 \text{ 組}$$

3. 水切対策工 (図面参照)

(1) 下地処理

$$A1 = 3.950 \times 0.025 \times 2 = 0.198 \text{ m}^2$$

$$A2 = 6.300 \times 0.025 \times 2 = 0.315 \text{ m}^2$$

$$\Sigma A = 0.513 \text{ m}^2$$

(2) 水切設置工

$$L1 = 3.950 \times 2 = 7.900 \text{ m}$$

$$L2 = 6.300 \times 2 = 12.600 \text{ m}$$

$$\Sigma L = 20.500 \text{ m}$$

断面修復工計算書

工種	剥離・鉄筋露出		うき		ジャンカ(豆板)	
	幅	長さ	面積	幅	長さ	面積
断面修復工	1)	0.15 × 3.50 =	0.525	①	0.15 × 0.70 =	0.105
	2)	0.50 × 3.95 =	1.975			
	3)	0.40 × 0.15 =	0.060			
	4)	0.30 × 0.80 =	0.240			
	5)	0.70 × 0.70 =	0.490			
	6)	0.10 × 0.20 =	0.020			
	7)	0.20 × 0.20 =	0.040			
	8)	0.20 × 0.40 =	0.080			
	9)	0.20 × 0.20 =	0.040			
	10)	0.20 × 0.25 =	0.050			
	11)	0.70 × 3.95 =	2.765			
	12)	0.65 × 3.60 =	2.340			
	13)	0.60 × 1.10 =	0.660			
	14)	0.60 × 2.80 =	1.680			
	15)	0.20 × 0.55 =	0.110			
合計(m2)	面積	11.075		0.105		
合計(m3)	はつり工	0.720		0.007		
合計(m3)	断面修復工	0.720		0.007		

注記) 剥離・鉄筋露出部, うき部のはつり厚、断面修復厚は、 0.065 mとする。

市道幸崎62号線1号橋梁

レベル2 工種	レベル3 種別	レベル4 細別	レベル5 規格	単位	数量	備考	
橋梁補修工	ひびわれ補修工 低圧注入工法	ひびわれ注入工 延べ施工量	超微粒子セメント系	m	2.6		
			ひびわれ注入工 1橋当り延べ延長	m	2.6		
		シーリング材	エポキシ樹脂系	kg	0.610		
		ひびわれ注入材	超微粒子セメント系	kg	0.160	ロス率37%を含む	
		注入器	低圧注入器	個	11	設置間隔：250mm間隔	
	断面修復工 左官工法	左官工法 延べ施工量	ポリマーセメントモルタル	m ³	0.147		
	断面修復工 充填工法	コンクリートはつり	橋梁上部 t=70mm	m ³	0.2		
		充填工法	高流動ポリマーセメントモルタル	m ³	0.200		
		プライマー工		m ²	3.1		
		型枠工	一般型枠 鉄筋コンクリート	m ²	3.0		
		鉄筋ケレン		m ²	2.1		
		鉄筋防錆工		m ²	2.1		
		鉄筋	SD345 D13	kg	11		
			SD345 D16以上D25以下	kg	13		
		鉄筋工（鉄筋追加）	一般構造物	kg	24		
		構造物取壊し工	鉄筋探査工	下向き	m ²	1.0	
			コンクリート削孔工	コンクリート穿孔機	孔	4	
		支保工	パイプサポート支保	H<4.0m 40kN/m ² 以下	空m ³	4.1	
	表面含浸工	下地処理工	サンダーケレン	m ²	6.8		
		含浸材塗布工	ケイ酸ナトリウム系表面含浸材	m ²	6.8		
		含浸材	ストレンクス剤同等品	ℓ	1.7	標準使用量：0.25ℓ/m ²	
			材料ロス	ℓ	0.3	ロス率：15%	
		含浸材	スーパーシールド同等品	ℓ	1.7	標準使用量：0.25ℓ/m ²	
			材料ロス	ℓ	0.3	ロス率：15%	
		テスター設置		組	1		
水切り工	水切り材	軟質PVC製水切り材	m	2.0			
舗装工	アスファルト舗装工	表層（車道・路肩部）	密粒度As(20) t=5cm	m ²	3.6	平均幅員 1.25m	
構造物撤去工	構造物取壊し工	舗装版切断	アスファルト舗装	m	7.3	車道部（t=50mm想定）	
		舗装版破碎	アスファルト舗装	m ²	3.6		
		殻運搬	アスファルト殻	m ³	0.2		
		殻処分	アスファルト殻	m ³	0.2		
				t	0.4		
		殻運搬	コンクリート殻	m ³	0.3		
		殻処分	コンクリート殻（有筋）	m ³	0.3		
		t	0.8				

1.2 ひびわれ補修工

1.2.1 低圧注入工法（ひびわれ注入工）

（1）延べ施工量

1）超微粒子セメント系

・ $0.2 \leq w < 1.0 \text{ mm}$

$$L1 = 2.25 = 2.25 \text{ m}$$

・ $1.0 \leq w \leq 5.0 \text{ mm}$

$$L2 = 0.30 = 0.30 \text{ m}$$
$$\Sigma L = 2.55 \text{ m}$$

（2）シーリング材

1）エポキシ樹脂系

$$w = 50 \text{ mm} \quad (\text{仮定})$$

$$t = 3 \text{ mm} \quad (\text{仮定})$$

$$\gamma = 1.60 \text{ kg/m}^3 \quad (\text{仮定})$$

$$W = 2.55 \times 0.050 \times 0.003 \times 1600 = 0.61 \text{ kg}$$

（3）注入材

1）超微粒子セメント系

$$w = 0.29 \text{ mm} \quad (\text{荷重平均})$$

$$t = 104 \text{ mm} \quad (\text{荷重平均})$$

$$\gamma = 1.50 \text{ kg/m}^3 \quad (\text{仮定})$$

$$W = 2.55 \times 0.00029 \times 0.104 \times 1500 \times 1.37 = 0.16 \text{ kg}$$

ロス率37%

（4）注入器（低圧注入器）

・ 設置間隔：250mm間隔

$$N = 2.55 / 0.25 = 11 \text{ 個}$$

1.3 断面修復工（左官工法）

1.3.1 左官工法（ポリマーセメントモルタル）

（1）延べ施工量

$$v = 0.147 \qquad = 0.147 \text{ m}^3$$

$$\Sigma V = 0.147 \text{ m}^3$$

1.3.2 殻運搬

（1）コンクリート構造物 人力積込

$$V = 0.147 \qquad = 0.147 \text{ m}^3$$

※ 殻数量は、断面修復数量と同量と仮定した。

1.3.3 殻処分（がれき類）

$$V = 0.147 \qquad = 0.147 \text{ m}^3$$

$$W = 0.147 \times 2.35 \text{ t/m}^3 \qquad = 0.345 \text{ t}$$

1.4 断面修復工（充填工法）

1.4.1 充填工法

（1） 充填工法 （高流動ポリマーセメントモルタル）

$$V = 1/2 \times (1.340 + 1.160) \times 2.250 \times 0.070 = 0.197 \text{ m}^3$$

（2） プライマーエ

$$a1 = 1/2 \times (1.340 + 1.160) \times 2.250 = 2.813 \text{ m}^2$$

$$a2 = 2.257 \times 0.070 = 0.158 \text{ m}^2$$

$$a3 = (1.340 + 1.160) \times 0.070 = 0.175 \text{ m}^2$$

$$\Sigma A = 3.146 \text{ m}^2$$

（3） 型枠工 （一般型枠 鉄筋コンクリート）

$$a1 = 1/2 \times (1.340 + 1.160) \times 2.250 = 2.813 \text{ m}^2$$

$$a2 = 2.250 \times 0.070 = 0.158 \text{ m}^2$$

$$\Sigma A = 2.971 \text{ m}^2$$

（4） 鉄筋ケレン

・主鉄筋	主鉄筋径=	D16		
	配筋間隔=	0.125	m →	8本/m
	補修1m ² あたり鉄筋ケレン面積=	16 / 1000 × π × 8		
	=	0.402	m ² /1m ² 当り	

・配力鉄筋	配力鉄筋径=	D13		
	配筋間隔=	0.125	m →	8本/m
	補修1m ² あたり鉄筋ケレン面積=	13 / 1000 × π × 8		
	=	0.327	m ² /1m ² 当り	

$$A = (0.402 + 0.327) \times 2.813 = 2.051 \text{ m}^2$$

（5） 鉄筋防錆工

鉄筋ケレンと同面積を計上する。

$$A = 2.051 = 2.051 \text{ m}^3$$

1.4.2 鉄筋

(1) SD345 D13

$$W = 11 = 11 \text{ kg}$$

(2) SD345 D16以上D25以下

$$W = 13 = 13 \text{ kg}$$

1.4.3 鉄筋工 (鉄筋追加) (一般構造物)

$$W = 11 + 13 = 24 \text{ kg}$$

1.4.4 鉄筋探査工 (下向き)

$$N = 4 = 4 \text{ 箇所}$$

$$A = 0.500 \times 0.500 \times 4 = 1.000 \text{ m}^2$$

1.4.5 コンクリート削孔工

(1) コンクリート穿孔機 100mm以上110mm未満 50mm以上200mm未満

1) $\phi 100$

$$N = 4 = 4 \text{ 孔}$$

$$L = 0.150 \times 4 = 0.600 \text{ m}$$

1.4.6 コンクリートはつり工 (t=70mm 橋梁上部等)

$$A = 1/2 \times (1.340 + 1.160) \times 2.250 = 2.813 \text{ m}^2$$

$$V = 2.813 \times 0.070 = 0.197 \text{ m}^3$$

1.4.7 殻運搬

(1) コンクリート構造物 人力積込

$$v1 = 0.197 \qquad \qquad \qquad = 0.197 \text{ m}^3$$

$$v2 = \frac{\pi}{4} \times 0.100^2 \times 0.150 \times 4 \qquad \qquad \qquad = 0.005 \text{ m}^3$$

$$\Sigma V = 0.202 \text{ m}^3$$

1.4.8 殻処分 (コンクリート殻)

$$V = 0.202 \qquad \qquad \qquad = 0.202 \text{ m}^3$$

$$W = 0.202 \times 2.35 \text{ t/m}^3 \qquad \qquad \qquad = 0.475 \text{ t}$$

1.5 支保工

1.5.1 パイプサポート支保

(1) H<4.0m 40kN/m²以下

$$V = \frac{1}{2} \times (1.340 + 1.160) \times 2.250 \times 1.452 = 4.084 \text{ 空m}^3$$

1.6 表面処理工（表面含浸工）

1.6.1 表面含浸工（ケイ酸ナトリウム系表面含浸材）

（1）下地処理工（サンダーケレン）

$$A = 6.833 = 6.833 \text{ m}^2$$

（2）含浸材塗布工（ケイ酸ナトリウム系表面含浸材）

$$A = 6.833 = 6.833 \text{ m}^2$$

（3）含浸材（ストレングス剤同等品以上）

$$w1 = 6.833 \times 0.25 \text{ ㏍/m}^2 = 1.708 \text{ ㏍}$$

標準使用量

$$w2 = 1.708 \times 0.15 = 0.256 \text{ ㏍}$$

ロス率15%

$$\Sigma W = 1.964 \text{ ㏍}$$

（4）含浸材（スーパーシールド同等品以上）

$$w1 = 6.833 \times 0.25 \text{ ㏍/m}^2 = 1.708 \text{ ㏍}$$

標準使用量

$$w2 = 1.708 \times 0.15 = 0.256 \text{ ㏍}$$

ロス率15%

$$\Sigma W = 1.964 \text{ ㏍}$$

（5）テスター設置（1組/20m²）

$$N = 6.833 / 20 \text{ m}^2/1 \text{ 組} = 1 \text{ 組}$$

1.6.2 表面処理工数量計算書

番号	部位	形状・寸法 (m)	個数	面積 (m ²)	備考
P	桁下面				
1		2.508 × 0.270	1	0.677	
2		2.000 × 3.050	1	6.100	
3		0.056	1	0.056	CAD計測
	小計			6.833	
	合計			6.833	

1.7 水切り工

1.7.1 水切り材 (軟質PVC製水切り材)

$$L = 2.010 = 2.010 \text{ m}$$

1.7.2 下地処理

$$A = 2.010 \times 0.025 = 0.050 \text{ m}^2$$

1.7.3 接着剤塗布 (エポキシ樹脂系接着剤)

$$A = 2.010 \times 0.025 = 0.050 \text{ m}^2$$

1.8 アスファルト舗装工

1.8.1 表層

(1) 車道・路肩部 (密粒度As(20) t=5cm タックコート)

$$a1 = 1/2 \times (1.350 + 1.150) \times 2.500 = 3.125 \text{ m}^2$$

$$a2 = 1.350 \times 0.200 = 0.270 \text{ m}^2$$

$$a3 = 1.150 \times 0.200 = 0.230 \text{ m}^2$$

$$\Sigma A = \frac{0.230 \text{ m}^2}{3.625 \text{ m}^2}$$

1.9 舗装版切断工

1.9.1 舗装版切断 (アスファルト舗装 t=15cm以下)

(1) 車道部 (t=50mm(想定))

$$L = 1.350 + 2.910 + 1.150 + 1.860 = 7.270 \text{ m}$$

1.10 舗装版破碎工

1.10.1 舗装版破碎 (アスファルト舗装 障害有り 厚4~10cm以下 積込有り)

(1) アスファルト舗装 (t=50mm(想定))

$$a1 = 1/2 \times (1.350 + 1.150) \times 2.500 = 3.125 \text{ m}^2$$

$$a2 = 1.350 \times 0.200 = 0.270 \text{ m}^2$$

$$a3 = 1.150 \times 0.200 = 0.230 \text{ m}^2$$

$$\Sigma A = 3.625 \text{ m}^2$$

1.10.2 殻運搬

(1) 舗装版破碎 機械積込

$$V = 3.625 \times 0.050 = 0.181 \text{ m}^3$$

1.10.3 殻処分 (アスファルト殻)

$$V = 0.181 = 0.181 \text{ m}^3$$

$$W = 0.181 \times 2.35 \text{ t/m}^3 = 0.425 \text{ t}$$

1.11 構造物取壊し工

1.11.1 鉄筋探査工

(1) 下向き

1) 断面修復工（充填工法）

$$A = 1.000 = 1.000 \text{ m}^2$$

1.11.2 コンクリート削孔工

(1) コンクリート穿孔機 100mm以上110mm未満 50mm以上200mm未満

1) 断面修復工（充填工法）

$$N = 4 = 4 \text{ 孔}$$

1.11.3 構造物とりこわし工

(1) コンクリートはつり

1) 断面修復工（充填工法）

$$V = 0.197 = 0.197 \text{ m}^3$$

1.12 運搬処理工

1.12.1 殻運搬

※ 運搬は、「運搬距離10km DID区間:無し」程度を想定。

(1) コンクリート構造物 人力積込

1) 断面修復工 (左官工法)

$$V = 0.147 = 0.147 \text{ m}^3$$

2) 断面修復工 (充填工法)

$$V = 0.197 = 0.197 \text{ m}^3$$
$$\Sigma V1 = 0.344 \text{ m}^3$$

(2) 舗装版破碎 機械積込

1) 舗装版破碎工

$$V = 0.181 = 0.181 \text{ m}^3$$
$$\Sigma V2 = 0.181 \text{ m}^3$$

1.12.2 殻処分 (コンクリート殻)

$$V = 0.344 = 0.344 \text{ m}^3$$

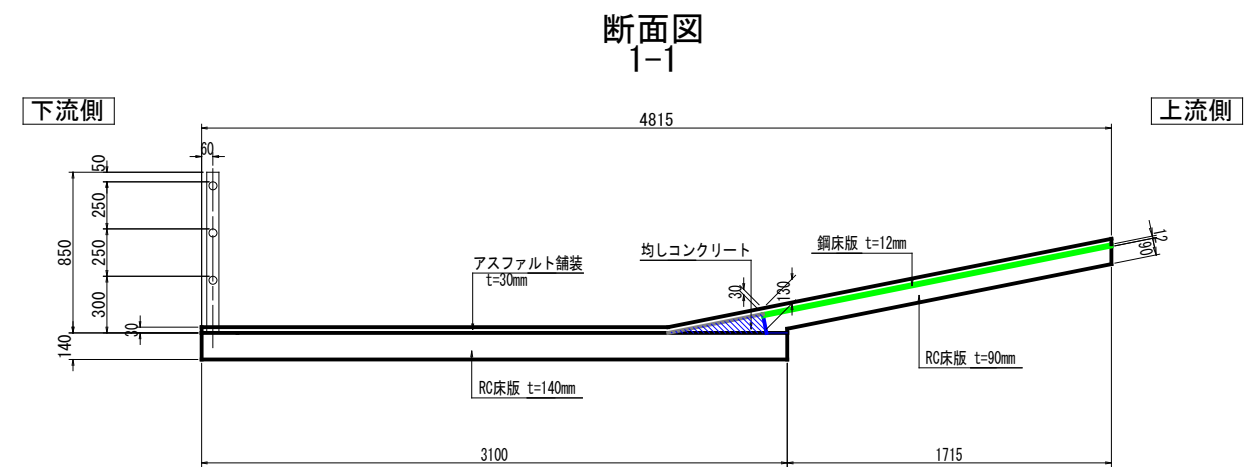
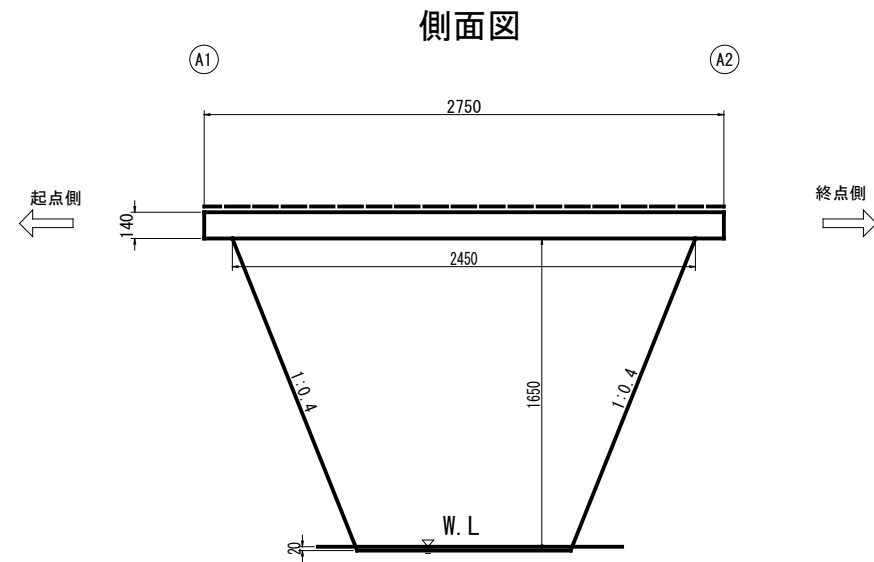
$$W = 0.344 \times 2.35 \text{ t/m}^3 = 0.808 \text{ t}$$

1.12.3 殻処分 (アスファルト殻)

$$V = 0.181 = 0.181 \text{ m}^3$$

$$W = 0.181 \times 2.35 \text{ t/m}^3 = 0.425 \text{ t}$$

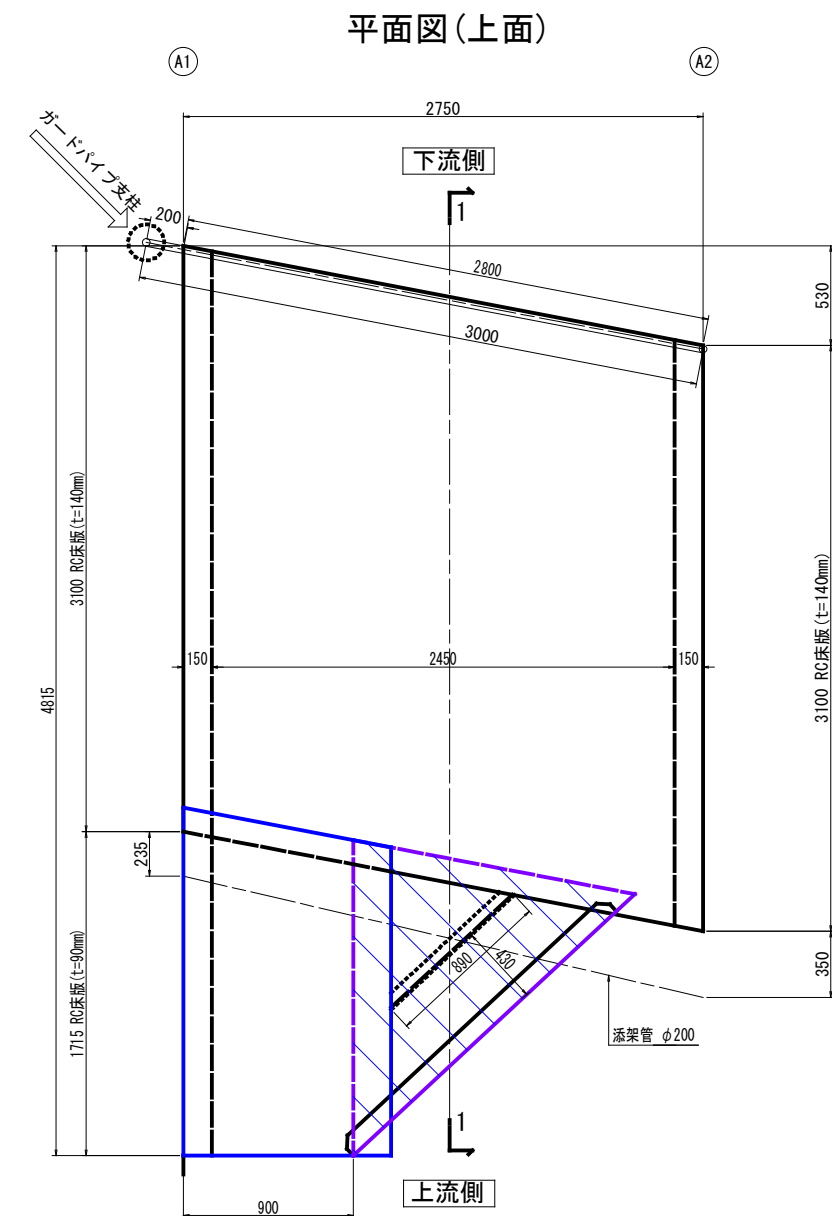
(須波西1号線1号桥梁) 損傷図 S=1/20



土中埋込



L=150mm



凡例

C	ひび割れ(0.2~1.0mm未満)
CY	遊離石灰を伴うひび割れ(0.2~1.0mm未満)
C	ひび割れ(1.0mm以上)
CY	遊離石灰を伴うひび割れ(1.0mm以上)
U	コンクリートの浮き
H	コンクリートの剥離
HT	コンクリートの剥離・鉄筋露出
Y	遊離石灰又はエフロレンス
R	漏水
T	鉄筋露出
M	ジャンカ

鋼床版背面



鋼床版上面

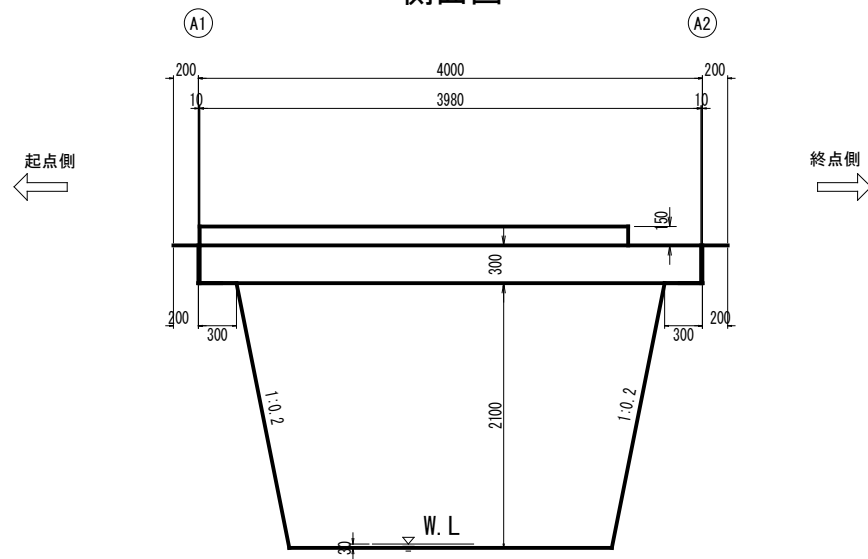


須波西1号線1号桥梁

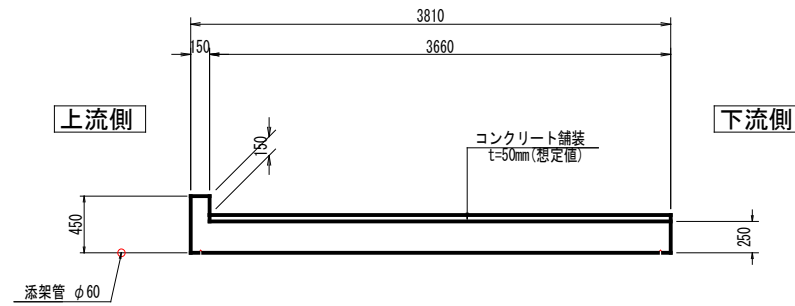
工事名	橋梁補修工事(市道須波西1号線1号橋梁外3橋)		
図面名	損傷図		
場所	三原市須波西二丁目		
縮尺	図示	図面番号	1S-1 / 1
三原市			

(須波西12号線1号桥梁) 損傷図 S=1/30

側面図



断面図



凡例

	C	ひび割れ (0.2~1.0mm未満)
	CY	遊離石灰を伴うひび割れ (0.2~1.0mm未満)
	C	ひび割れ (1.0mm以上)
	CY	遊離石灰を伴うひび割れ (1.0mm以上)
	U	コンクリートの浮き
	H	コンクリートの剥離
	HT	コンクリートの剥離・鉄筋露出
	Y	遊離石灰又はエフロレッセンス
	R	漏水
	T	鉄筋露出
	M	ジャンカ
		腐食 鋼部材腐食、塗膜はがれ

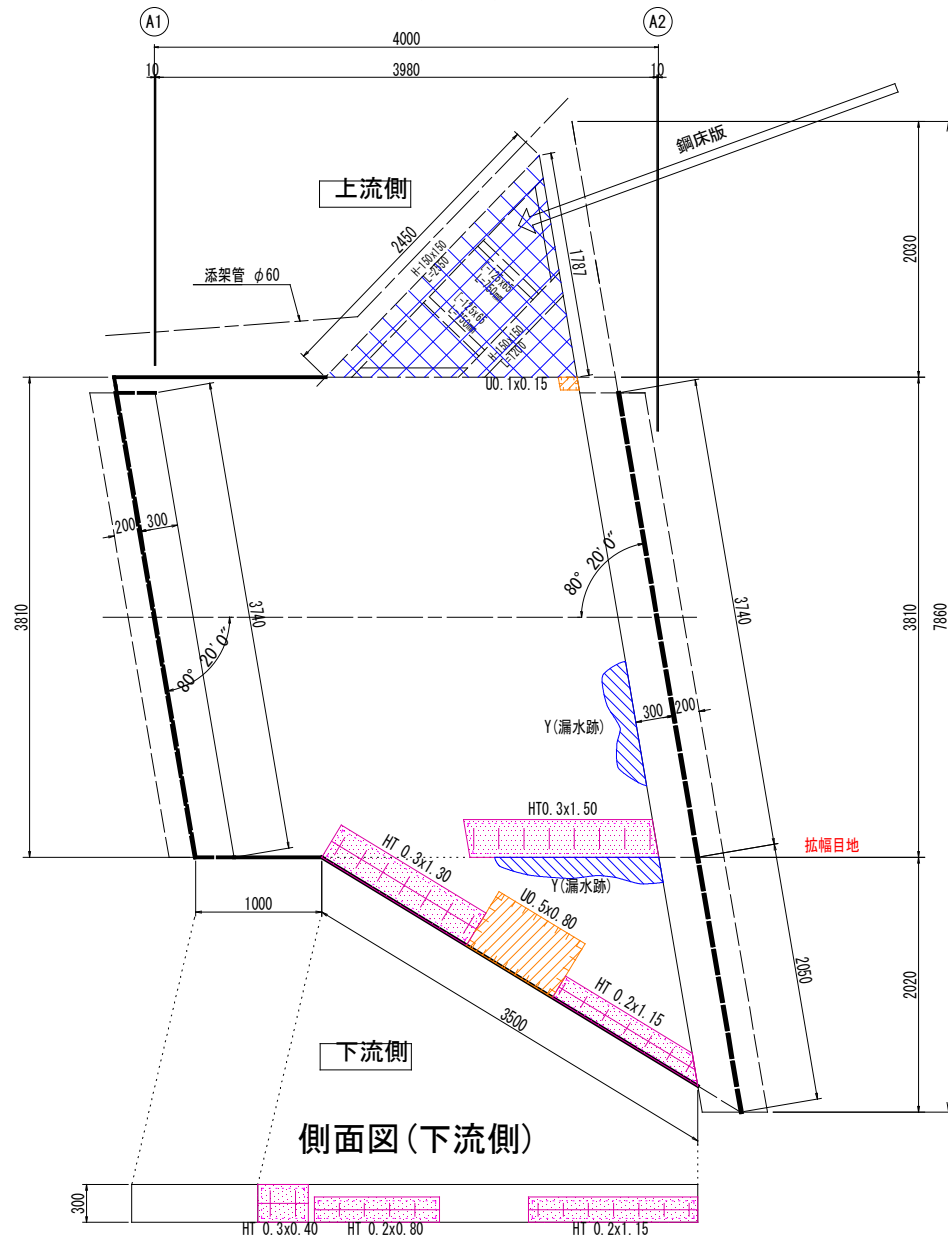
鋼床版背面



鋼床版上面

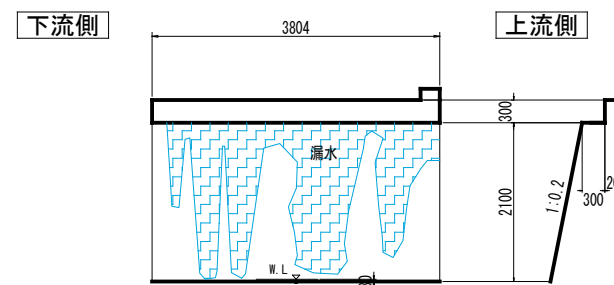


平面図 (下面)

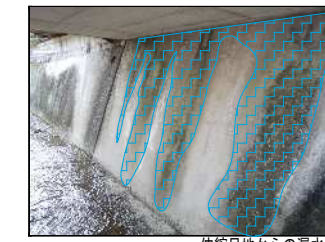


A1橋台 S=1/50

断面図 側面図



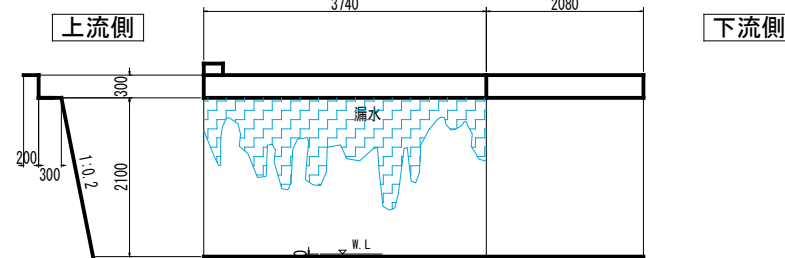
A1橋台前面



伸縮目地からの漏水跡

A2橋台 S=1/50

側面図 断面図



A2橋台前面

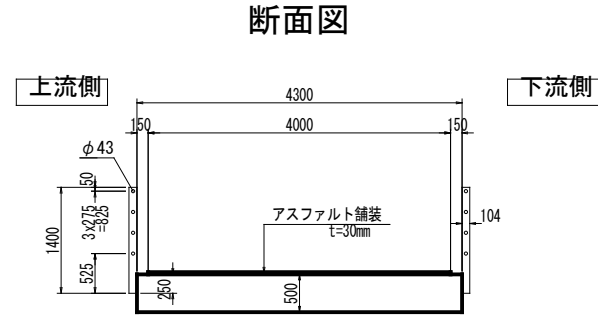
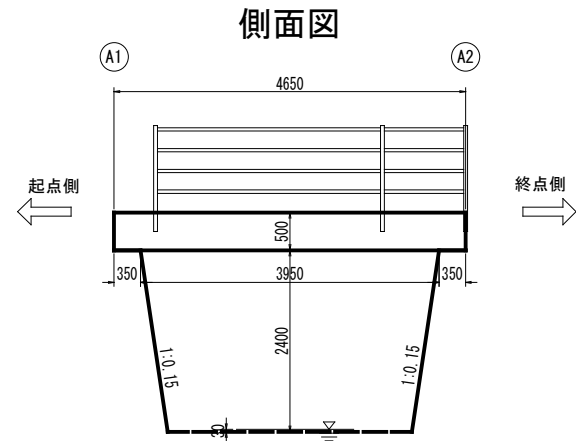


伸縮目地からの漏水跡

須波西町12号線1号桥梁

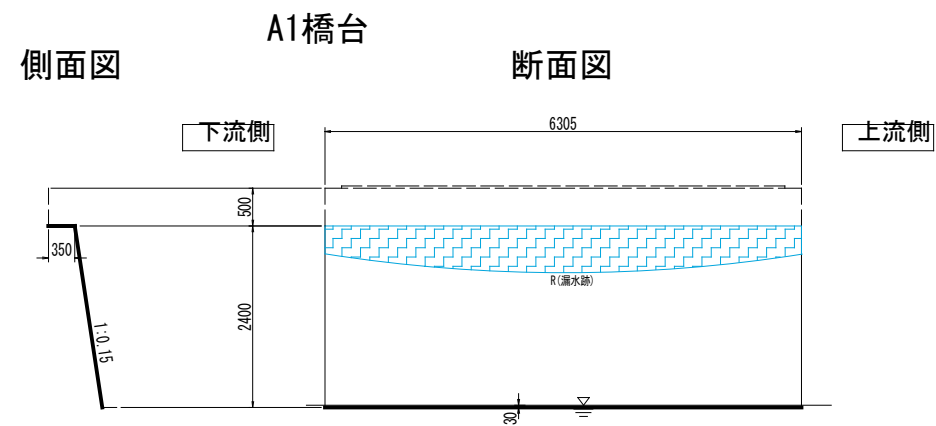
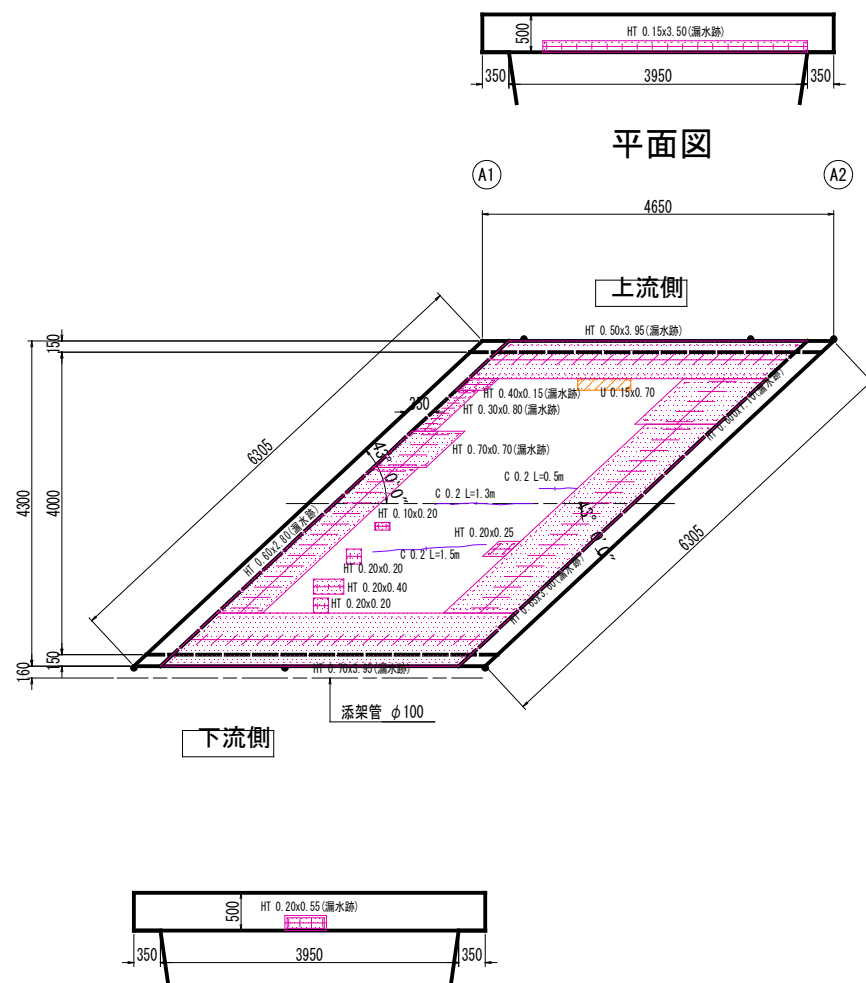
工事名	橋梁補修工事 (市道須波西1号線1号橋梁外3橋)		
図面名	損傷図		
場所	三原市須波西二丁目		
縮尺	図示	図面番号	2S-2 / 2
三原市			

(市道八幡町31号線2号桥梁) 損傷図 S=1/30

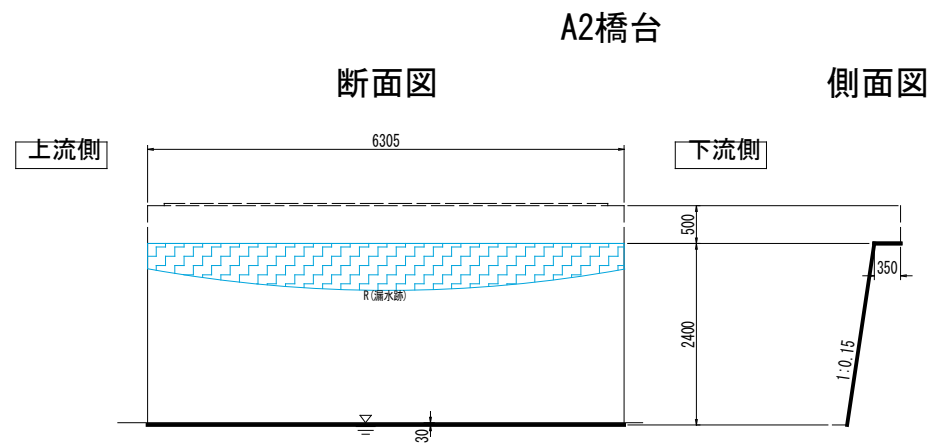
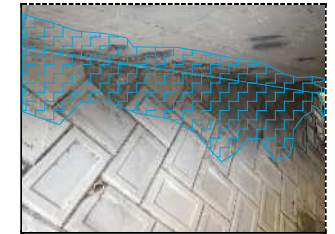


凡例

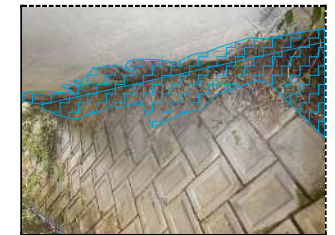
	C	ひび割れ (0.2~1.0mm未満)
	CY	遊離石灰を伴うひび割れ (0.2~1.0mm未満)
	C	ひび割れ (1.0mm以上)
	CY	遊離石灰を伴うひび割れ (1.0mm以上)
	U	コンクリートの浮き
	H	コンクリートの剥離
	HT	コンクリートの剥離・鉄筋露出
	Y	遊離石灰又はエフロレッセンス
	R	漏水
	T	鉄筋露出
	M	ジャンカ



A1橋台漏水跡



A2橋台漏水跡



八幡町31号線2号桥梁

工事名	桥梁補修工事 (市道須波西1号線1号桥梁外3橋)		
図面名	補修図		
場所	三原市八幡町野串		
縮尺	図示	図面番号	3S-1 / 1
三原市			

市道幸崎62号線1号橋梁 橋梁変状図(その1)

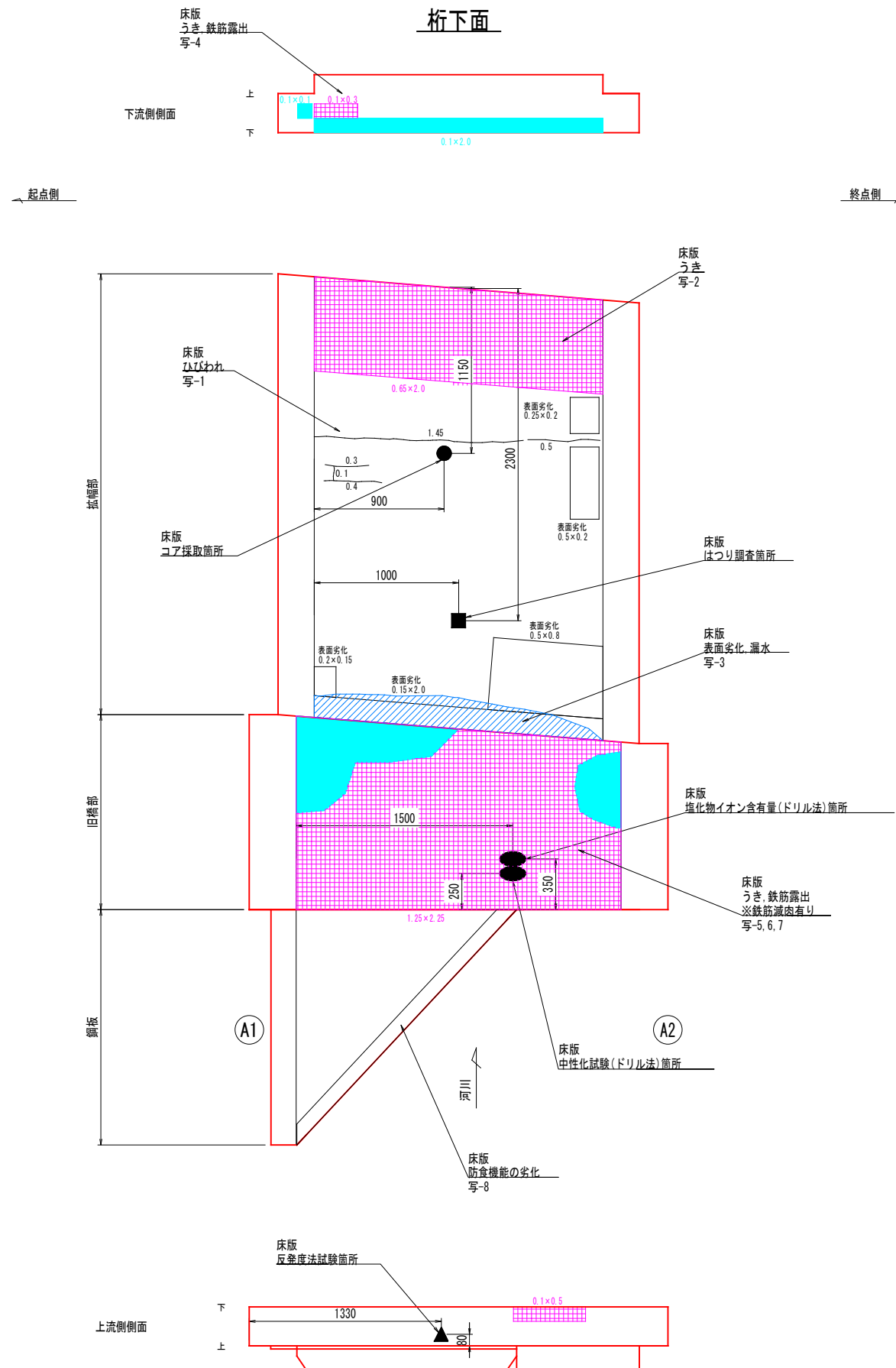
S=1:20

変状凡例

	長さ (m)	ひびわれ (開口幅0.2mm未満)
	長さ (m)	ひびわれ (開口幅0.2~1.0mm未満)
	幅・長さ (mm) (m)	ひびわれ (開口幅1.0~5.0mm未満)
	幅・長さ (mm) (m)	ひびわれ (開口幅5.0mm以上)
	長さ (m)	遊離石灰を伴うひびわれ
	縦×横 (m) (m)	うき
	縦×横 (m) (m)	剥離・欠損
	縦×横 (m) (m)	鉄筋露出
	縦×横 (m) (m)	豆板
		遊離石灰
		漏水 (伝い水)
		その他

調査凡例

	コア採取
	はつり調査
	反発度法試験
	その他試験

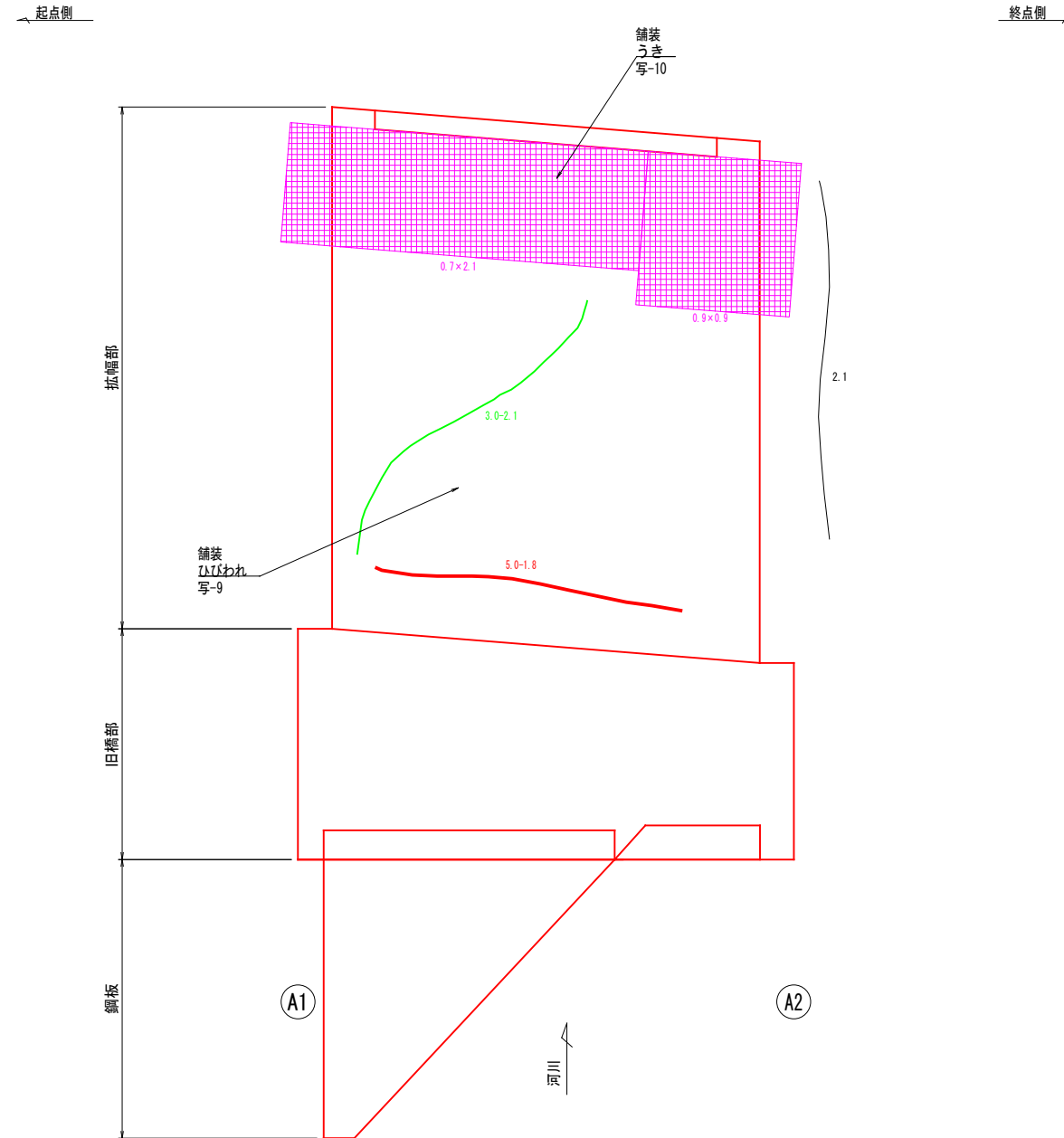


幸崎62号線1号橋梁

工事名	橋梁補修工事 (市道須波西1号線1号橋梁外3橋)		
図面名	橋梁変状図その1		
場所	三原市幸崎能地七丁目		
縮尺	図示	図面番号	4S-1 / 5
三原市			

	長さ(m)	ひびわれ (開口幅0.2mm未満)
	長さ(m)	ひびわれ (開口幅0.2~1.0mm未満)
	幅・長さ(mm)	ひびわれ (開口幅1.0~5.0mm未満)
	幅・長さ(mm)	ひびわれ (開口幅5.0mm以上)
	長さ(m)	遊離石灰を伴うひびわれ
	縦×横(m)	うき
	縦×横(m)	剥離・欠損
	縦×横(m)	鉄筋露出
	縦×横(m)	豆板
		遊離石灰
		漏水 (伝い水)
		その他

橋面

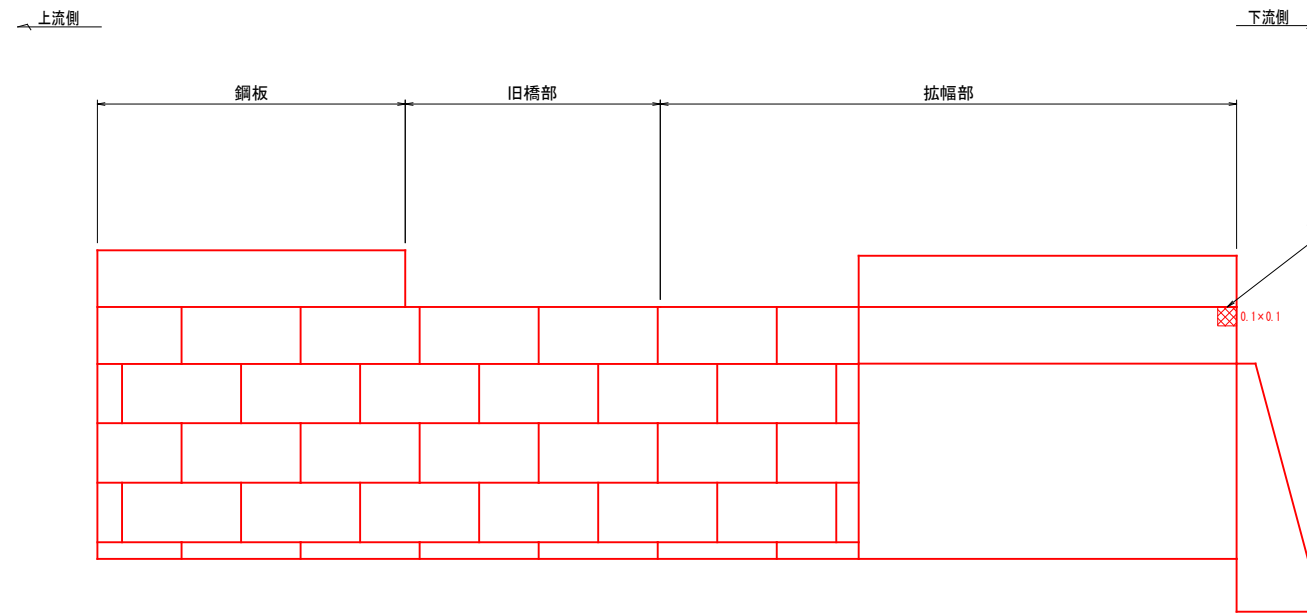


幸崎62号線1号桥梁

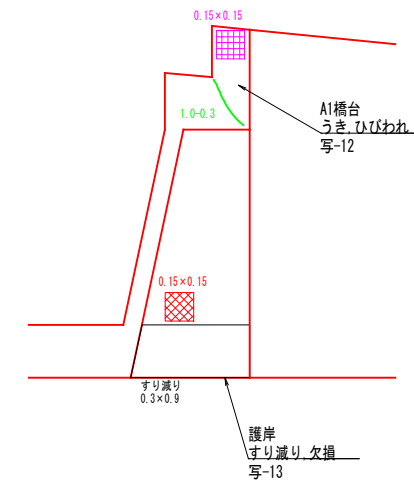
工事名	桥梁補修工事 (市道須波西1号線1号桥梁外3橋)		
図面名	桥梁変状図その2		
場所	三原市幸崎能地七丁目		
縮尺	図示	図面番号	4S-2 / 5
三原市			

	長さ (m)	ひびわれ (開口幅0.2mm未満)
	長さ (m)	ひびわれ (開口幅0.2~1.0mm未満)
	幅・長さ (mm) (m)	ひびわれ (開口幅1.0~5.0mm未満)
	幅・長さ (mm) (m)	ひびわれ (開口幅5.0mm以上)
	長さ (m)	遊離石灰を伴うひびわれ
	縦×横 (m) (m)	うき
	縦×横 (m) (m)	剥離・欠損
	縦×横 (m) (m)	鉄筋露出
	縦×横 (m) (m)	豆板
		遊離石灰
		漏水 (伝い水)
		その他

A1橋台

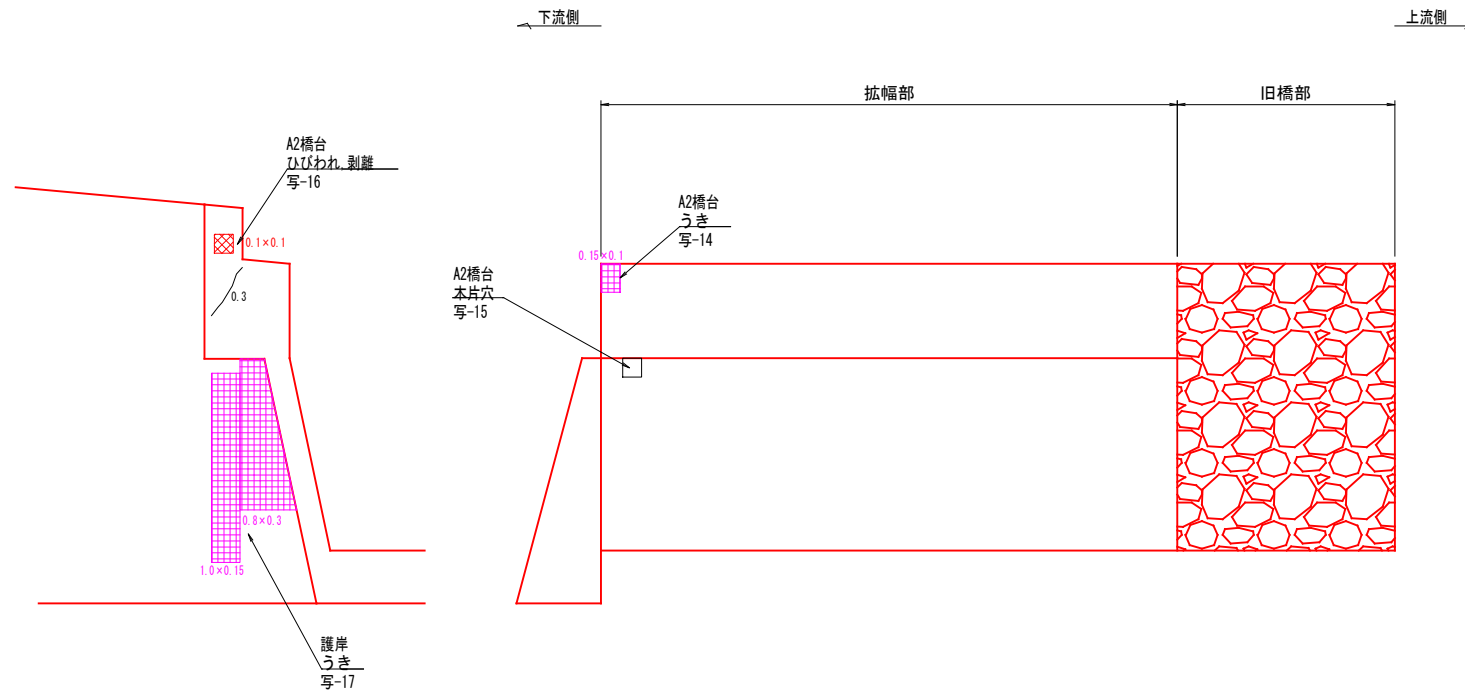


A1橋台
剥離
写-11



A1橋台
うき、ひびわれ
写-12

A2橋台



A2橋台
ひびわれ、剥離
写-16

A2橋台
うき
写-14

A2橋台
本身欠
写-15

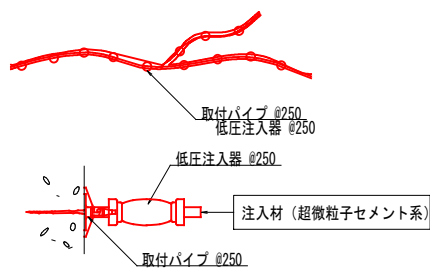
護岸
うき
写-17

幸崎62号線1号桥梁

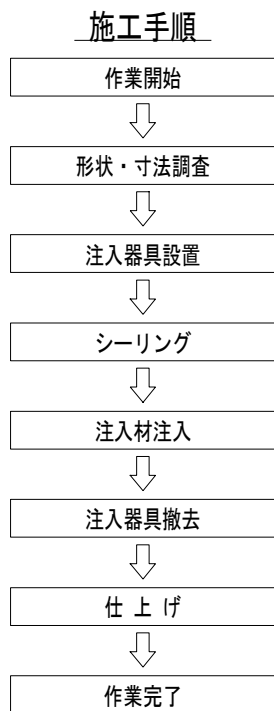
工事名	桥梁補修工事 (市道須波西1号線1号桥梁外3橋)		
図面名	桥梁変状図その3		
場所	三原市幸崎能地七丁目		
縮尺	図示	図面番号	4S-3 / 5
三原市			

市道幸崎62号線1号橋梁 補修詳細図(参考図)

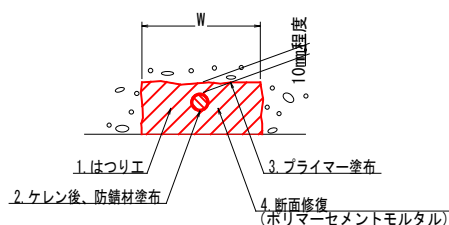
ひびわれ注入工 (参考図)



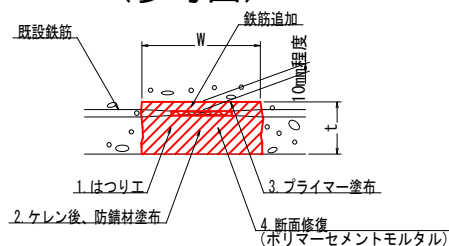
- ※ 気温5℃以下では施工しないこと。
- ※ 鉛直方向のひびわれについては、特に注入材の逸脱に注意すること。
- ※ 注入材は可使用時間内に注入を行い、可使用時間を過ぎた材料については使用しないこと。
- ※ 注入はひびわれの下方から上方に向かって、順次注入を行う。
- ※ 注入パイプ取付は25cm間隔を基本とする。



断面修復工(左官工法) (参考図)



断面修復工(鉄筋追加)(左官工法) (参考図)



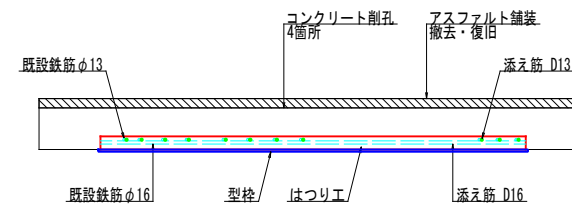
- ※ 鉄筋周辺のうきおよび劣化したコンクリートは除去すること。
- ※ 端部は、L字カットを行い、フェザーエッジとしない処理を行うこと。
- ※ 腐食鉄筋のケレンに伴い鉄筋断面が著しく減少した箇所は協議の上、対策を決定すること。
- ※ 鉄筋を追加する場合は、必要な鉄筋継ぎ手長を確保すること。
- ※ 断面修復工は、原形復旧を基本とするが、純かぶり10mm未満の箇所については、10mm以上のかぶり厚を確保させること。
- ※ 材料は可使用時間内に使用し、可使用時間を過ぎたものについては使用しないこと。

施工手順

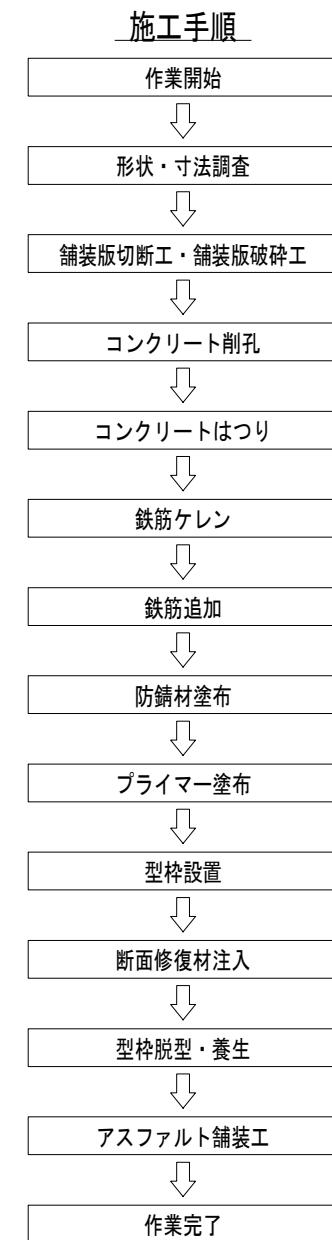
```

    graph TD
      A[作業開始] --> B[形状・寸法調査]
      B --> C[コンクリートはつり]
      C --> D[鉄筋ケレン]
      D --> E["(鉄筋追加)"]
      E --> F[防錆材塗布]
      F --> G[プライマー塗布]
      G --> H[断面修復]
      H --> I[作業完了]
    
```

断面修復工(充填工法) (参考図)



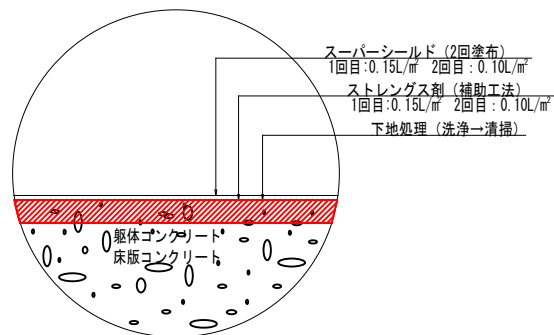
- ※ 鉄筋周辺のうきおよび劣化したコンクリートは除去すること。
- ※ 内部鉄筋の腐食状況を把握し、対策については監督員と協議を行うこと。
- ※ 端部は、L字カットを行うこと。
- ※ 断面修復工は、原形復旧を基本とする。
- ※ 材料は可使用時間内に使用し、可使用時間を過ぎたものについては使用しないこと。
- ※ 床版上面の損傷状況を確認すること。



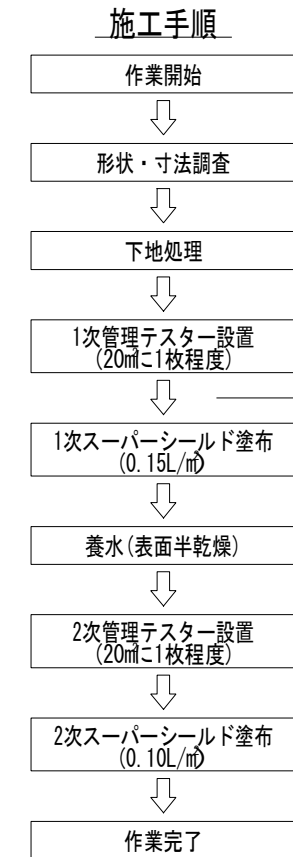
表面含浸工 (参考図)

(中性化対策・微細なひび割れ補修等)

- ※ 上部0部(地覆・床版・箱桁)を対象とする。
- ※ ケイ酸塩系含浸材

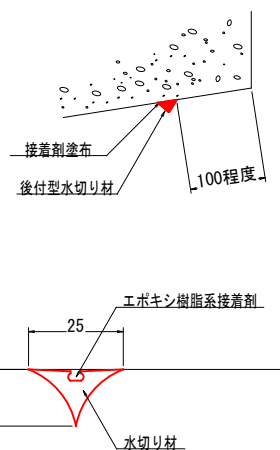


- ※ スーパーシールド塗布はコンクリート面を湿潤状態にして行い、塗布後も含浸を促進するため散水養生すること。
- ※ 下地処理は基本的に散水や高圧洗浄処理で洗い流す程度であり、著しい凹凸や付着物等の含浸性を阻害する要因となるものについてはプラスト処理やケレンによって除去・清掃すること。
- ※ 含浸工はスーパーシールドを参考に示すが、別途製品を使用する場合は同等の機能効果を有する製品を使用し、その仕様に従うこと。

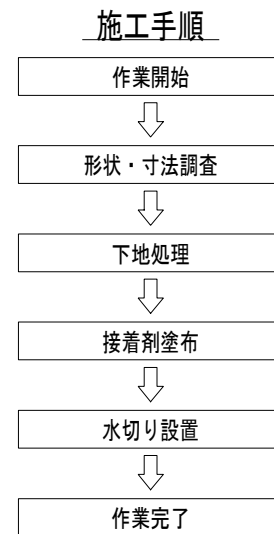


補助工法 スtrenグス剤
0.25L/㎡

水切り工 (参考図)



- ※ 水切り設置面のコンクリートは、不陸のないよう調整を行うこと。

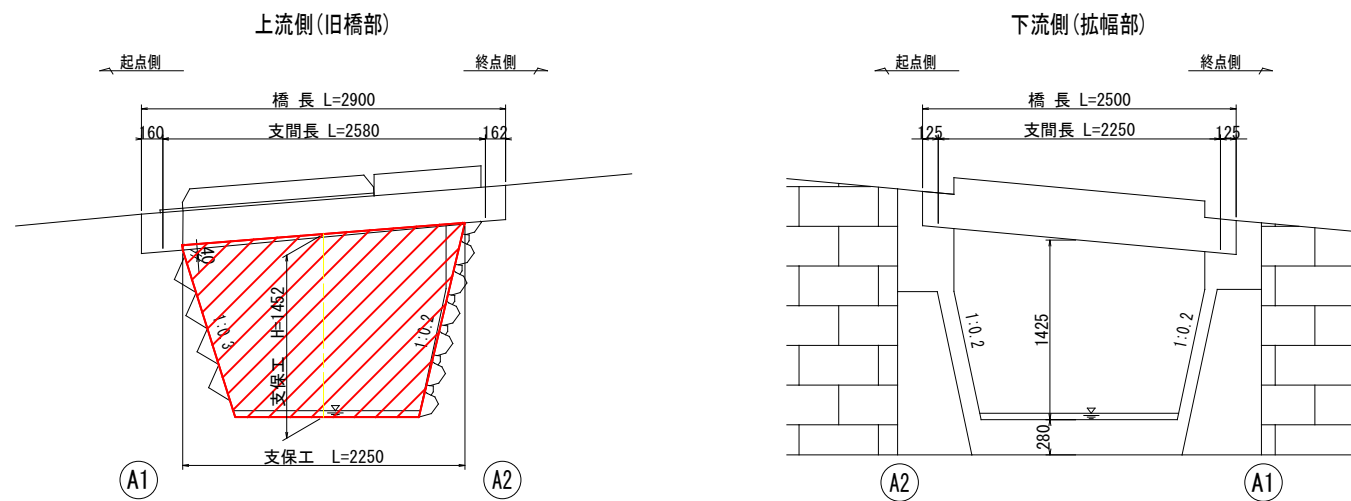


幸崎62号線1号橋梁

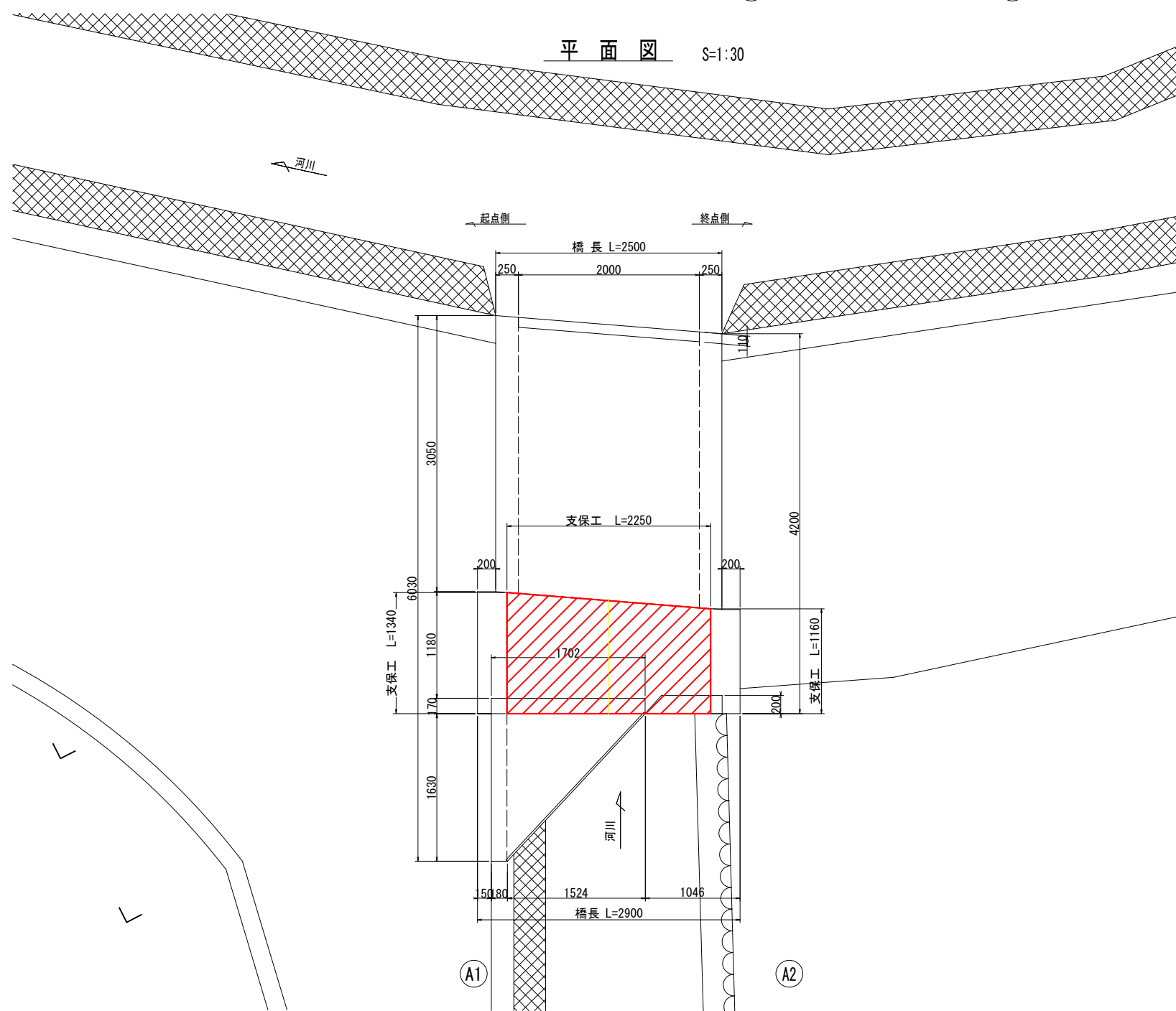
工事名	橋梁補修工事 (市道須波西1号線1号橋梁外3橋)		
図面名	補修詳細図(参考)		
場所	三原市幸崎能地七丁目		
縮尺	図示	図面番号	4S-4 / 5
三原市			

市道幸崎62号線1号桥梁 仮設図(参考図)

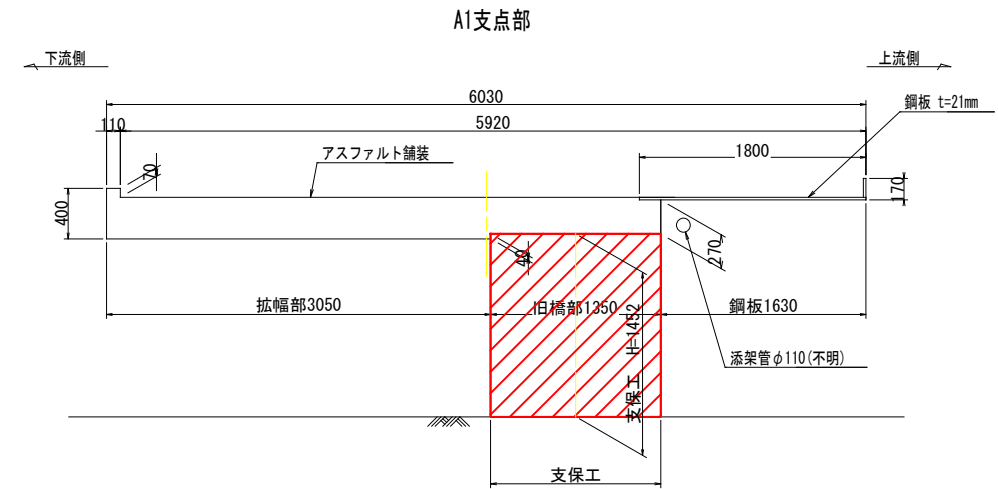
側面図 S=1:30



平面図 S=1:30



断面図 S=1:30



幸崎62号線1号桥梁

工事名	桥梁補修工事(市道須波西1号線1号橋梁外3橋)		
図面名	仮設図(参考)		
場所	三原市幸崎能地七丁目		
縮尺	図示	図面番号	4S-5 / 5
三原市			

※一般図は、現地計測結果を基に作成したものである。

位置図

